

平成24年度  
学校要覧

独立行政法人国立高等専門学校機構  
有明工業高等専門学校

COLLEGE BULLETIN  
2012

ARIAKE NATIONAL COLLEGE  
OF TECHNOLOGY

花咲く技術を  
- Here are Lights -

Ariake National College of Technology  
2013  
50周年  
50th Anniversary in 2013.

有明高専は、2013年に創立50周年を迎えます

## 概要

緒言	Introduction	1
沿革	History	2
教育理念	Educational Principle	4
学習・教育到達目標	Educational Goals	5
組織	Organization	6

## 学科

一般教育科	Department of General Education	8
機械工学科	Department of Mechanical Engineering	12
電気工学科	Department of Electrical Engineering	16
電子情報工学科	Department of Electronics and Information Engineering	20
物質工学科	Department of Chemical Science and Engineering	24
建築学	Department of Architecture	28

## 専攻科

専攻科	Advanced Engineering Course	32
生産情報システム工学専攻	Advanced Production and Information Systems Engineering Course	33
応用物質工学専攻	Advanced Chemical Science and Engineering Course	34
建築学専攻	Advanced Architecture Course	35
専攻科教育課程	Curriculum(Advanced Engineering Course)	36
「複合生産システム工学」プログラム	Production System Engineering Program	38

## 施設・組織等

図書館(マルチメディアセンター図書情報管理部)	Library	40
情報処理センター(マルチメディアセン情報化推進部)	Information Processing Center	41
地域共同テクノセンター	Regional Collaboration Center	42
教育研究技術支援センター	Technical Support Center for Education and Research	42
学生相談室, 進路支援室	Student Counseling Room, Career Support Office	43
修己館, 総合研究棟	Shuko-Kan (Students' Hall), General Research Building	44
学寮, 有友情報室	Dormitory, You-You Information Office	45

## 活動

年間行事	College Calendar	46
教員の研究活動	Research	47
地域との交流会	Regional Interchange	48
学生会	Student Council	50
各種大会成績	The Principal Records of Meets and Contests	51

## 各種データ

収入・支出決算額	Situation of Finance	53
学生	Students	54
学科別学生定員・現員	Admission Capacity and Present Number of Students	54
専攻科学生定員・現員	Admission Capacity and Present Number of Students (Advanced Engineering Course)	54
入学志願者数・倍率	Number of Applicants and Competitive Ratio of Entrance Examination	54
新入生の出身地	Hometown Classification of Students	55
学生通学状況	Students' Residence	55
徴収費用一覧	List of Collection Expenses	55
卒業生	Graduates	56
卒業生数	Number of Graduates	56
卒業者の進路状況	Employment or Academic Position of Graduates	56
大学編入学・高専専攻科進学状況	Entrance into Universities	56
就職状況一覧表	List of Employment	57
施設	Facilities	58
校舎等建物明細	Details of College Buildings	58
施設配置図	Campus Map	59
アクセスマップ, 連絡先	Location, Contact Us	60





## 緒言

## Introduction

本校は昭和38年に創立された国立の高等教育機関です。機械工学，電気工学，電子情報工学，物質工学，建築学の5学科からなり，各学科の入学定員は40名で，学生総定員は1,000名です。卒業生は6,797名にのぼり，各分野において広く社会の期待に応じて活躍しています。

高専教育の特色は，「5年間の一貫教育・基礎学力と実験実習を重んずる教育」による高度の実践的技術者の養成にあります。本校では，専門科目と一般科目を5年間にわたって有機的に配置した教育課程によって，大学工学部卒と同程度の深い専門知識と高い技術力を備えた実践的技術者の育成を目指しています。

平成13年には専攻科（生産情報システム工学専攻，応用物質工学専攻，建築学専攻）が設置され，257名の修了生を輩出し，高度な技術者育成機関として一層の充実を図っています。

本校は大牟田・荒尾の各駅から5km離れた萩尾台（福岡県大牟田市）にあり，近くに三池山・小岱山の四季の緑，遠くに有明海を隔てて雲仙・多良岳を望むことができます。寄宿舎は，学校から歩いて5分のところにありながら，熊本県荒尾市に属し，校舎と寄宿舎の所在地が福岡，熊本両県に分かれています。

学校の願いは，このような恵まれた教育環境の中で，学生が，自主的に自己形成に努めることによって，科学的知見を人間の生活に役立つ「もの」として実体化し，価値を生み出すことに喜びを感じ，技術を通じて人類の繁栄に貢献することに誇りと自負を持ち，将来の日本を背負って立つ技術者に育つことです。

The Ariake kosen (Kosen means a college of technology) was founded as a national institute of higher education in 1963 and has five departments; mechanical engineering, electrical engineering, electronics and information engineering, chemical science and engineering, and architecture.

Each department has a class which consists of 40 students and the number of students to be admitted is 1,000. The Ariake Kosen has already sent 6,797 graduates out into various fields of the industrial world. Almost all of them have been playing a very important part in society.

The college arranges effectively both specialized and general educations into an curriculum, encourages students to be equal to university students in special knowledge and capacity, and trains them to be excellent practical engineers.

The Advanced Course, consisting of Advanced Production and Information Systems Engineering Course, Advanced Chemical Science and Engineering Course, Advanced Architecture Course, was founded in 2001, and 257 students having graduated, it is making further development as an institution to educate highly skilled engineers.

The campus lies on the hill called Hagio-dai which is on the outskirts of Omuta city, Fukuoka Pref. and is about 5km away from either of Omuta Station and Arao Station. The dormitory is located in the east of Arao city, Kumamoto pref. and it is 5 minutes' walk to the campus.

The students are supposed to develop cooperativeness, activeness, and creativity. The program helps them to lead a wholesome life in mind and body: Kosen advises them to cultivate friendship, trust in others and an attitude of harmony in various extracurricular activities as well.





## 沿革

## History

昭和38年4月1日	有明工業高等専門学校（機械工学科・電気工学科・工業化学科）が設置され、初代校長に熊本大学工学部長牛尾広恵就任
4月20日	荒尾市増永の仮校舎で開校
10月23日	大牟田市東萩尾の現校地に校舎新営工事を着工
昭和39年3月25日	寄宿舎（若葉棟）竣工
3月31日	一般科目棟・管理棟竣工
昭和40年3月17日	第2期新営工事竣工（電気工学科棟・工業化学科棟・機械工場・寄宿舎青葉棟）
昭和41年3月27日	第3期新営工事竣工（機械工学科棟・体育館・寄宿舎紅葉棟）
4月1日	事務部制を実施し、庶務・会計の2課新設
10月11日	校舎落成式挙行
昭和42年11月15日	武道場竣工
昭和43年4月1日	建築学科増設
9月1日	第2代校長に元熊本大学工学部長菅田敏雄就任
昭和44年3月20日	建築学科棟・寄宿舎銀杏棟竣工
昭和45年4月1日	学生課新設
11月6日	校長菅田敏雄死去、同日付けで校長事務取扱に文部教官大石豊二郎就任
昭和46年1月20日	第3代校長に元熊本大学工学部長轟一郎就任
昭和47年2月25日	図書館棟竣工
昭和48年11月1日	創立10周年記念式典挙行
昭和49年3月30日	電子計算機室が図書館棟3階に竣工
昭和51年3月9日	L.L.（語学演習室）教室が一般科目棟に竣工
昭和52年2月28日	総合実習センター竣工
4月1日	第4代校長に九州大学工学部教授吉村虎蔵就任
昭和56年3月17日	第2体育館竣工
昭和57年3月30日	環境開発教育研究施設竣工
昭和58年3月11日	福利施設（修己館）竣工
10月29日	創立20周年記念式典挙行
昭和61年4月1日	第5代校長に九州大学工学部教授竹村哲男就任
平成元年4月1日	電子情報工学科増設
平成3年3月20日	電子情報工学科棟竣工
平成4年4月2日	第6代校長に元九州大学工学部長高松康生就任
平成5年3月25日	寄宿舎女子棟（桜棟）竣工
11月6日	創立30周年記念式典挙行
平成6年4月1日	工業化学科を物質工学科に改組
平成8年3月22日	物質工学科生物棟竣工
3月28日	学内LAN竣工
平成9年4月2日	第7代校長に元九州大学工学部長山藤 馨就任
9月1日	地域連携推進センター設置
平成11年4月1日	学生相談室設置
11月18日	セクシャルハラスメント相談室設置
平成12年3月15日	一般科目棟改修・合同教育棟・共通専門棟竣工
平成13年4月1日	専攻科（生産情報システム工学専攻・応用物質工学専攻・建築学専攻）設置
4月1日	教育研究技術支援センター設置
9月25日	機械工学科棟・物質工学科棟改修
11月30日	総合実習センター改修
平成14年1月17日	地域共同テクノセンター設置
4月1日	第8代校長に元九州大学工学部長尾崎龍夫就任
9月30日	電気工学科・建築学科・第1体育館改修及び連絡通路（一般教育棟、建築学科棟間）竣工
平成15年3月20日	総合研究棟竣工
4月19日	創立40周年・総合研究棟竣工記念式典挙行
平成16年4月1日	国立学校設置法の廃止及び独立行政法人国立高等専門学校機構法の施行に伴い、有明工業高等専門学校は、独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する国立高等専門学校へ移行
平成17年5月12日	「複合生産システム工学プログラム」がJABEE認定
6月17日	中国遼寧石油化工大学との国際交流協定締結
平成18年1月12日	大牟田病院との連携交流協定締結
3月17日	連絡通路（一般教育棟、電子情報工学科棟間）竣工
3月20日	独立行政法人大学評価・学位授与機構が実施した高等専門学校機関別認証評価認定
4月1日	マルチメディアセンター設置
7月1日	進路支援室設置
7月19日	有友情報室設置
9月28日	現代的教育ニーズ取組支援プログラム採択
平成19年3月23日	大牟田市教育委員会との連携協力協定締結
7月30日	寄宿舎（青葉棟）改修
12月28日	図書館棟改修
平成20年3月24日	大牟田市との連携協力に関する包括協定書締結
3月24日	帝京大学福岡医療技術学部と大牟田市による医工連携の推進に関する協定書締結
4月2日	第9代校長に元九州大学大学院システム情報科学研究院長立居場光生就任
平成22年6月17日	中国遼寧石油化工大学との国際交流協定更新
平成23年3月9日	荒尾市教育委員会との連携協力協定締結





## 名誉教授 Emeritus Professors

授与年月日 Date Granted	氏名 Name	前職名 Previous Position
昭和59年5月17日 May. 17. 1984	木 本 知 男 KIMOTO, Tomoo	機械工学科教授 Prof. Mechanical Engineering
昭和63年4月21日 Apr. 21. 1988	松 島 寛 治 MATSUSHIMA, Kanji	建築学科教授 Prof. Architecture
平成元年4月13日 Apr. 13. 1989	樋 口 大 成 HIGUCHI, Hiroshige	一般科目教授 Prof. General Education
平成7年4月20日 Apr. 20. 1995	成 富 孝 NARITOMI, Takashi	一般科目教授 Prof. General Education
平成8年4月18日 Apr. 18. 1996	玉 野 實 TAMANO, Minori	建築学科教授 Prof. Architecture
平成8年4月18日 Apr. 18. 1996	吉 岡 義 雄 YOSHIOKA, Yoshio	建築学科教授 Prof. Architecture
平成8年4月18日 Apr. 18. 1996	中 村 安 生 NAKAMURA, Yasutaka	一般科目教授 Prof. General Education
平成9年4月15日 Apr. 15. 1997	高 松 康 生 TAKAMATSU, Yasuo	六代校長 The sixth President of Ariake Kosen
平成14年4月18日 Apr. 18. 2002	山 藤 馨 YAMAFUJI, Kaoru	七代校長 The seventh President of Ariake Kosen
平成15年4月17日 Apr. 17. 2003	永 田 良 一 NAGATA, Ryoichi	物質工学科教授 Prof. Chemical science and Engineering
平成16年4月15日 Apr. 15. 2004	吉 武 紀 道 YOSHITAKE, Norimichi	物質工学科教授 Prof. Chemical science and Engineering
平成17年4月14日 Apr. 14. 2005	田 口 紘 一 TAGUCHI, Koichi	機械工学科教授 Prof. Mechanical Engineering
平成17年4月14日 Apr. 14. 2005	原 田 克 身 HARADA, Katsumi	建築学科教授 Prof. Architecture
平成17年4月14日 Apr. 14. 2005	石 崎 勝 典 ISHIZAKI, Katsunori	共通専門教授 Prof. Common Technical Courses
平成17年4月14日 Apr. 14. 2005	瀬 戸 洋 SETO, Hiroshi	一般科目教授 Prof. General Education
平成17年4月14日 Apr. 14. 2005	宮 川 英 明 MIYAGAWA, Hideaki	共通専門教授 Prof. Common Technical Courses
平成18年4月13日 Apr. 13. 2006	猿 渡 眞 一 SARUWATARI, Shinichi	機械工学科教授 Prof. Mechanical Engineering
平成18年4月13日 Apr. 13. 2006	松 本 和 秋 MATSUMOTO, Kazuaki	物質工学科教授 Prof. Chemical science and Engineering
平成19年4月19日 Apr. 19. 2007	新 谷 肇 一 SHINYA, Choichi	建築学科教授 Prof. Architecture
平成20年4月17日 Apr. 17. 2008	尾 崎 龍 夫 OZAKI, Tatuo	八代校長 The eighth President of Ariake Kosen
平成20年4月17日 Apr. 17. 2008	山 下 巖 YAMASHITA, Iwao	一般科目教授 Prof. General Education
平成20年4月17日 Apr. 17. 2008	仁田原 元 NITAHARA, Hajime	一般科目教授 Prof. General Education
平成20年4月17日 Apr. 17. 2008	大 山 司 朗 OHYAMA, Shiro	機械工学科教授 Prof. Mechanical Engineering
平成22年4月15日 Apr. 15. 2010	川 寄 義 則 KAWASAKI, Yoshinori	機械工学科教授 Prof. Mechanical Engineering
平成24年4月19日 Apr. 19. 2012	荒 木 眞 ARAKI, Makoto	一般科目教授 Prof. General Education
平成24年4月19日 Apr. 19. 2012	中 村 俊三郎 NAKAMURA, Shunzaburo	電子情報工学科教授 Prof. Electronics and Information Engineering

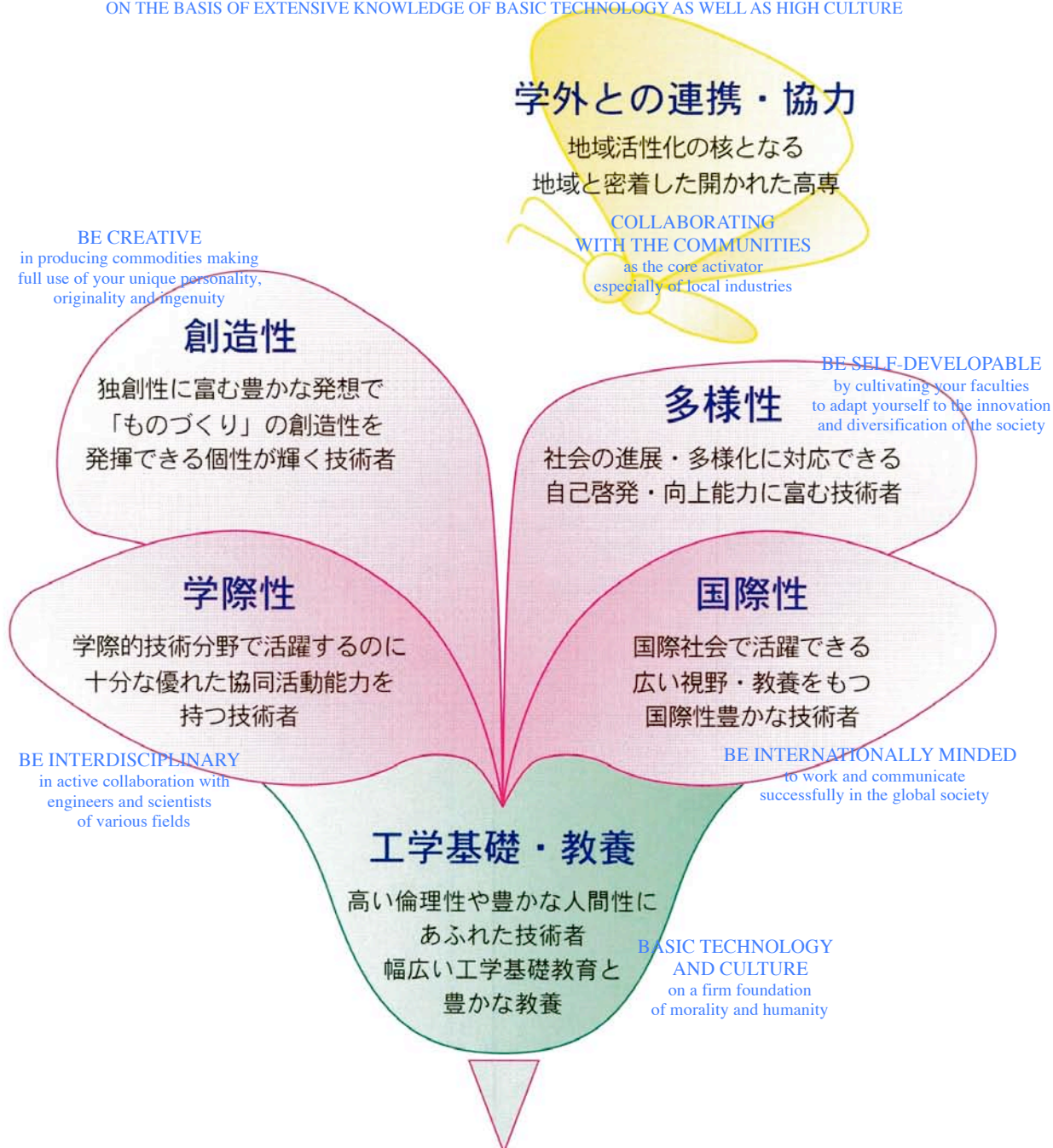


## 教育理念

## Educational Principle

幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に，創造性，多様性，学際性，国際性に富む実践的な高度技術者の育成を目指す

OUR STUDENTS SHOULD BE EDUCATED TO BE TECHNOLOGICAL ENGINEERS CHARACTERIZED BY CREATIVITY, SELF-DEVELOPMENT, INTERDISCIPLINARITY, AND INTERNATIONALITY ON THE BASIS OF EXTENSIVE KNOWLEDGE OF BASIC TECHNOLOGY AS WELL AS HIGH CULTURE



人に優しい，自然と共存できる技術の開発を目指して  
諸課題に柔軟に対応できる技術者

AIM AT COPING WITH PROBLEMS FLEXIBLY FOR THE GOAL OF DEVELOPING HUMAN FRIENDLY TECHNOLOGY HARMONIZED WITH NATURAL ENVIRONMENT





# 学習・教育到達目標

# Educational Goals

## 本科（1学年から5学年） Regular Course

- (A) 豊かな教養と国際性
    - (A-1) 考察力 地球の視野から物事を多面的に理解できること。
    - (A-2) 倫理観 社会や自然の中での技術の役割を理解し、技術者としての責任を自覚できること。
    - (A-3) コミュニケーション能力 適切かつ円滑に読解・表現ができること。
  - (B) 専門知識と学際性
    - (B-1) 基礎知識 専門分野の基礎となる内容を理解していること。
    - (B-2) 専門知識 専門分野の内容を理解していること。
    - (B-3) 実践力 実験・実習等の内容を理解・実行・考察できること。
    - (B-4) 学際的知識 様々な分野の知識と技術を理解し、複合的に活用するための視野を持っていること。
  - (C) 創造性とデザイン能力
    - (C-1) 課題探究力 自ら課題を発見し、その本質を理解できること。
    - (C-2) 課題解決力 身につけた教養と実践力を活用し、課題を解決できること。
- (A) Good education and international minds
- (A-1) Consideration: To be able to view the situation from a global and manifold perspective
- (A-2) Ethical sense: To be able to recognize the role of technology in nature or society and be aware of their social responsibilities
- (A-3) Communication skills: To be able to read and express themselves appropriately and smoothly
- (B) Discipline-specific knowledge combined with interdisciplinary understanding
- (B-1) Basic knowledge: To understand the basic subject matter of discipline-specific fields
- (B-2) Technological expertise: To understand the content of discipline-specific fields
- (B-3) Practice: To be able to understand the content of experiments or exercises to conduct them and discuss them
- (B-4) Interdisciplinary technological knowledge: To have knowledge and skills of diverse fields with a vision of applying them in a compound approach
- (C) Creativity and engineering design ability
- (C-1) Problem-exploring ability: To be able to identify problems and understand their nature
- (C-2) Problem-solving ability: To be able to solve problems using education and practical knowledge acquired

## 専攻科 Advanced Engineering Course

- (A) 豊かな教養と国際性
    - (A-1) 多面的考察力 物事を多面的に考察できること。すなわち、自然科学の素養の修得に加えて、国語・社会・語学系科目の修得を通して、豊かな教養や国際感覚を身につけ、自分自身を把握するとともに自国・他国の文化を理解し、それらを基に、物事を多面的に考察できること。
    - (A-2) 高い倫理観 技術者としての倫理観を確立できること。すなわち、社会系科目や環境関連の科目の修得を通して、一般的な倫理観はもちろんのこと、技術が自然・人間・環境に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理観を身につけ、社会における技術者の責任を自覚できること。
    - (A-3) コミュニケーション能力 日本語および外国語によるコミュニケーションを適切にできること。すなわち、発表・討議を伴う科目の修得を通して、日本語による記述・口頭発表・討議を、相手に理解できるように論理的かつ的確にできること、また、語学系科目の修得により、英語で言えばTOEIC400点相当の外国語の能力を身につけること。
  - (B) 専門知識と学際性
    - (B-1) 工学の基礎知識 工学の基礎知識を専門に応用できるまで理解できること。すなわち、数学・理科などの自然科学系科目や情報技術および基礎工学の知識の修得を通して、数学的手法・自然法則や情報技術および工学の基礎的知識の概念や理論を理解し、論理的思考力を養い、それらの知識や思考力を専門科目に活用できること。
    - (B-2) 工学の専門知識 工学の専門知識を深く理解できること。すなわち、専門分野の科目の修得を通して、専門分野の知識・技術を将来の仕事で活用できるまで理解できること。さらに、これらの学習において自発的学習方法を身につけ、生涯にわたって自分で新たな知識などを獲得し自主的に継続して学習する習慣を身につけること。
    - (B-3) 実践力 実験・実習等を確実に実践できること。すなわち、実技系科目（実験・実習・演習等）の修得を通して、実働を計画的かつ確実に実践できること。そこで得られた結果を学んだ知識と関連させて考察でき、それらの記述説明が的確にできること。
    - (B-4) 工学の学際的知識 工学の学際的知識を専門知識に活用できる程度に習得すること。すなわち、学際的資質育成科目等の修得を通して、複眼的な視野を広げ、異分野の知識・技術を専門知識に活用できるまで理解できること。
  - (C) 創造性とデザイン能力
    - (C-1) 課題探究力 現状を進展させるための課題の探求・理解が自らできること。すなわち、特別研究や特別演習・合同演習等の科目の修得を通して、現状を進展させるために創造性を発揮して自ら課題を見つけ、課題の本質を理解できること。
    - (C-2) 課題解決力 様々な問題に対処できるデザイン能力を習得すること。すなわち、特別研究や特別演習・合同演習等の科目の修得を通して、様々な問題に対して、これまで身につけた多面的考察力・工学の知識・実践力等を総合して活用し、現状での最適な解を見出すことができること。また、研究や作業を計画的に実行し完結させる力を身に付けること。さらに、他学科の学生と共同で実働する科目の修得を通して、他分野の人たちとのチームワークを実行できる能力を身に付けること。
- (A) Good education and international minds
- (A-1) Manifold view: To be able to view the situation from different perspectives
- (A-2) High ethical sense: To be able to establish ethical sense as engineers
- (A-3) Communication skills: To be able to communicate with others well in Japanese and also in foreign languages
- (B) Discipline-specific expertise and interdisciplinary understanding
- (B-1) Basic knowledge of technology: To be able to understand basic technological knowledge for the practical application in their special fields
- (B-2) Technological expertise: To be able to understand technological expertise deeply
- (B-3) Practice: To be able to conduct experiments and exercises completely
- (B-4) Interdisciplinary technological knowledge: To learn technological interdisciplinary knowledge for the practical application in discipline-specific expertise
- (C) Creativity and engineering design ability
- (C-1) Problem-exploring ability: To be able to explore and comprehend problems to improve the present situation
- (C-2) Problem-solving ability: To acquire engineering design ability to deal with various problems



## 組織

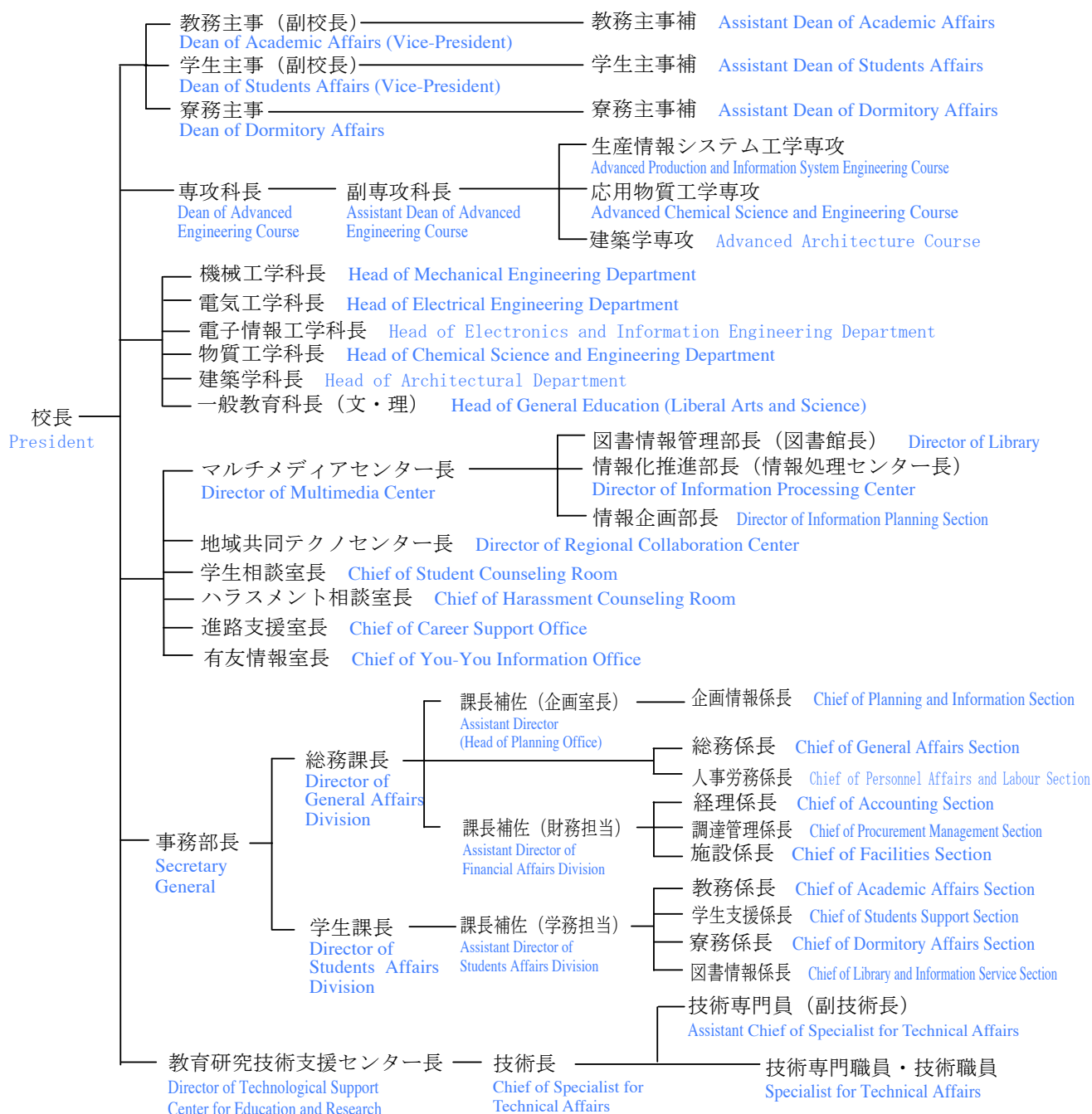
## Organization

## 定員および現員 Fixed and Present Number of Staff

区分 Classification	教育職員 Educational Personnel						事務系職員 Administ- rative Staff	合計 Grand Total
	校長 President	教授 Professor	准教授 Associate Professor	講師 Lecturer	助教 Assistant Professor	計 Total		
定員 Fixed Number	1	37	35	0	3	76	46	122
現員 Present Number	1	31	35	3	6	76	46	122

※平成 24 年 4 月 1 日現在 As of April 1, 2012

## 組織図 Chart of Administrative Organization







## 役職者名 Executive Directors

### 教育職 Educational Personnel

校長 President	立居場 光 生 TATEIBA, Mitsuo
副校長（教務主事） Vice-President (Dean of Academic Affairs)	氷 室 昭 三 HIMURO, Shozo
副校長（学生主事） Vice-President (Dean of Students Affairs)	明 石 剛 二 AKASHI, Koji
寮務主事 Dean of Dormitory Affairs	井 上 仁 志 INOUE, Hitoshi
専攻科長 Head of Mechanical Engineering Department	吉 田 正 道 YOSHIDA, Masamichi
機械工学科長 Head of Mechanical Engineering Department	南 明 宏 MINAMI, Akihiro
電気工学科長 Head of Electrical Engineering Department	塚 本 俊 介 TSUKAMOTO, Shunsuke
電子情報工学科長 Head of Electronics and Information Engineering Department	菅 沼 明 SUGANUMA, Akira
物質工学科長 Head of Chemical Science and Engineering Department	富 永 伸 明 TOMINAGA, Nobuaki
建築学科長 Head of Architectural Department	上 原 修 一 UEHARA, Shuichi
一般教育科長（文） Head of General Education (Liberal Arts)	焼 山 廣 志 YAKIYAMA, Hiroshi
一般教育科長（理） Head of General Education (Science)	坂 西 文 俊 SAKANISHI, Fumitoshi
マルチメディアセンター長 Director of Multimedia Center	坂 西 文 俊 SAKANISHI, Fumitoshi
図書館長 Director of Library	焼 山 廣 志 YAKIYAMA, Hiroshi
情報処理センター長 Director of Information Processing Center	松 野 良 信 MATSUNO, Yoshinobu
地域共同テクノセンター長 Director of Regional Collaboration Center	泉 勝 弘 IZUMI, Katsuhiro
教育研究技術支援センター長 Director of Technological Support Center for Education and Research	南 明 宏 MINAMI, Akihiro
学生相談室長 Chief of Student Counseling Room	徳 田 仁 TOKUDA, Hitoshi
ハラスメント相談室長 Chief of Harassment Counseling Room	中 島 洋 典 NAKASHIMA, Yosuke
進路支援室長 Chief of Career Support Office	上 原 修 一 UEHARA, Shuichi
有友情報室長 Chief of You-You Information Office	上 原 修 一 UEHARA, Shuichi

### 事務職 Administrative Staff

事務部長 Secretary General	田 島 英三郎 TASHIMA, Eisaburo
総務課長 Director of General Affairs Division	池 田 純 久 IKEDA, Sumihisa
学生課長 Director of Students Affairs Division	野 口 修 NOGUCHI, Osamu
課長補佐（財務担当） Assistant Director of Financial Affairs Division	月 岡 信 隆 TSUKIOKA, Nobutaka
課長補佐（企画室長） Assistant Director (Head of Planning Office)	中 川 日出光 NAKAGAWA, Hidemitsu
課長補佐（学務担当） Assistant Director of Students Affairs Division	栗 原 宏 明 KURIHARA, Hiroaki
企画情報係長 Chief of Planning and Information Section	原 賀 亮 治 HARAGA, Ryouji
総務係長 Chief of General Affairs Section	平 島 洋 一 HIRASHIMA, Yoichi
人事労務係長 Chief of Personnel Affairs and Labour Section	檜 崎 茂 NARAZAKI, Shigeru
経理係長 Chief of Accounting Section	藤 丸 今日子 FUJIMARU, Kyoko
調達管理係長 Chief of Procurement Management Section	上 田 隆 二 UEDA, Takazi
施設係長 Chief of Facilities Section	安 部 準 次 ABE, Junji
教務係長 Chief of Academic Affairs Section	奥 苑 登志子 OKUZONO, Toshiko
学生支援係長 Chief of Students Support Section	西 口 節 子 NISHIGUCHI, Setsuko
寮務係長 Chief of Dormitory Affairs Section	(兼) 栗 原 宏 明 KURIHARA, Hiroaki
図書情報係長 Chief of Library and Information Section	渡 邊 真由美 WATANABE, Mayumi

### 技術職 Technical Staff

技術長 Chief of Specialist for Technical Affairs	河 村 英 司 KAWAMURA, Eiji
技術専門員 Assistant Chief of Specialist for Technical Affairs	松 原 征 男 MATSUBARA, Seio
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	松 川 真 也 MATSUKAWA, Shinya
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	堀 田 孝 之 HORITA, Takayuki
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	岡 崎 朋 広 OKAZAKI, Tomohiro
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	池 上 勝 也 IKEGAMI, Katsuya
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	森 田 恵 一 MORITA, Keiichi
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	田 中 三 雄 TANAKA, Mitsuo
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	吉 富 貴 司 YOSHITOMI, Takashi
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	荻 島 真 澄 OGISHIMA, Masumi
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	大 木 泰 仁 OHKI, Yasuhiro
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	山 口 明 美 YAMAGUCHI, Akemi
技術専門職員 Specialist for Technical Affairs	真 島 吉 将 MASHIMA, Yoshimasa



## 一般教育科（全学科共通）

## Department of General Education

### 基礎を学び心を養う

高専の目的は広い視野をもった高度の実践的技術者を養うことであり、その基礎となる科目および豊かな教養と体力を身につけるための科目を担当しているのが一般教育科です。

高校から大学2年程度までの科目を5年間の一貫教育のなかで、学生の発達段階に応じて教授するようになっています。文系（国語・社会・外国語）11名、理系（数学・理科・体育）13名の教員が、非常勤講師とともに、それぞれ専門とする分野を担当し、各教科を通じて学生の基礎学力の養成に工夫努力しています。

The principal aim of colleges of technology is to prepare students to be able engineers equipped with the right perspective and highly advanced technical competence. Through various subjects Department of General Education helps the students to get a basic knowledge of technology, cultivate their mind, and develop their physical strength, so that they will grow up to be eager students.

In the course of the 5-year education system various subjects (from high school level to sophomore level) are taught. There are 11 teachers of the humanities (Japanese, social studies, and foreign languages ) as well as 13 of science subjects (mathematics, physics, chemistry, and physical education), making every possible effort to help the students to acquire basic knowledge and competence indispensable for their future career.

### アドミッションポリシー（求める学生像） Admission Policy

本校は、本科5年間と専攻科2年間に有機的に連携させた7年間の教育プログラムで、幅広い工学基礎と豊かな教養をもとに、夢をもち、創造性に富み、国際的に通用し、さまざまな工学の分野に果敢にチャレンジする技術者の育成を目指しています。このために、有明高専では基礎学力のある中学校卒業生等で、次のような人を求めています。

- 1) 「ものづくり」に興味がある人
- 2) 将来社会貢献したいと考えている人
- 3) チャレンジ精神のある人
- 4) 他の人と協力して作業ができる人
- 5) 物事をこつこつとやり続けることができる人

Ariake National College of Technology offers a seven-year education program by an organic combination of a five-year regular course and a two-year advanced engineering course. We aim to develop engineers ambitious, creative and internationally-minded enough to brave challenging technological fields. We need junior high graduates with basic academic ability as our Regular Course students and they are expected:

- 1) to be interested in design and manufacturing
- 2) to be motivated to contribute to society
- 3) to have fighting spirit to achieve challenging goals
- 4) to be able to collaborate with others
- 5) to be able to carry through patiently



▲文学Ⅱの授業  
Literature II Class



▲LLによる英語の授業  
English Class at Language Lab.





# 教育課程（一般科目（各学科共通）） Curriculum (General Education)

授 業 科 目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes		
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th			
必修 Required Subjects	国語 Japanese	文学Ⅰ Literature I	3	3							
		文学Ⅱ Literature II	2		2						
	数学 Mathematics	基礎解析学 Fundamental Analysis	4	4							
		解析学Ⅰ Analysis I	4		4						
		解析学Ⅱ Analysis II	3			3					
	理科 Science	基礎物理学 Fundamental Physics	5	2	3						
		化学Ⅰ Chemistry I	3	3							
		化学Ⅱ Chemistry II	2		2						
	保体 Health & Physical Education	保健体育 Health Education	5	3	2						
	外国語 Foreign Languages	英語Ⅰ English I	5	3	2						
英語Ⅱ English II		6	3	3							
小計 Subtotal			42	21	18	3	0	0			
選択 Elective Subjects	単独開講 Elective Subjects Offered Separately	国語 Japanese	文学Ⅲ Literature III	2			2				
			日本語コミュニケーションⅠ Japanese Communication I	1				1			
		社会 Social Studies	地理学 Geography	2	2						
			歴史学 History	2		2					
			社会学 Sociology, Ethics and Philosophy	2		2					
			政治学・経済学 Politics and Economics	1			1				
		数学 Mathematics	基礎数学Ⅰ Fundamental Mathematics I	2	2						
			基礎数学Ⅱ Fundamental Mathematics II	1	1						
			代数・幾何 Algebra and Geometry	3		2	1				
			数学特講 Topics in Mathematics	1			1				
			数学演習 Exercises in Mathematics	1				1			
		理科 Science	生物 Biology	1		1					
		保体 Health & Physical Education	保健体育 Health Education	2			2				
			体育実技 Physical Education	2				1		1	
		芸術 Arts	音楽 Music	1	1						
			美術 Fine Arts	1		1					
		外国語 Foreign Languages	英語コミュニケーションA English Communication A	3			3				
			英語コミュニケーションB English Communication B	2			2				
			英語 English	4				2		2	
			英会話 English Conversation	1			1				
			英語演習Ⅰ English Seminar I	1				1			
		小計 Subtotal			36	6	8	13		6	3
	並列開講 Elective Subjects Offered Simultaneously	文系選択 Humanities Elective	日本語コミュニケーションⅡ Japanese Communication II	1				1	この中から 3科目選択		
			社会科学Ⅰ Social Science I	1				1			
			環境科学Ⅰ Environmental Science I	1				1			
			人間科学Ⅰ Human Science I	1				1			
			英語演習Ⅱ English Seminar II	1				1			
			第二外国語Ⅰ Second Foreign Languages I	1				1			
		社会選択 Social Studies Elective	社会科学Ⅱ Social Science II	1						1	
			環境科学Ⅱ Environmental Science II	1						1	
			人間科学Ⅱ Human Science II	1						1	
		語学選択 Language Elective	文学特講 Lecture on Literature	1						1	
			英語演習Ⅲ English Seminar III	1						1	
			第二外国語Ⅱ Second Foreign Languages II	1						1	
		数学選択 Mathematics Elective	複素関数論 Complex Analysis	1						1	
			ベクトル解析 Vector Analysis	1						1	
			フーリエ解析 Fourier Analysis	1						1	
			統計学 Statistics	1						1	
		小計 Subtotal			16	0	0	0		6	10
		開設単位数 Total of Credits Offered			94	27	26	16		12	13
修得可能単位数 Earnable Credit			82	27	26	16	7	6			
授業外科目		ボランティア活動 Volunteer Activities	1	1							
		小計 Subtotal	1								
特別活動 Special Curricular Activities			時間数 Hours	学年別単位時間数 Credit Hours by Grades							
			90	30	30	30					



## 常勤教員 Educational Personnel

職名 Title	氏名 Name	生年度 YOB	担当教科目 Subjects	専門分野 Research Fields
教授 Professor (文学修士)	焼山 廣志 YAKIYAMA, Hiroshi	1954	文学Ⅰ, 日本語コミュニケーションⅠ,Ⅱ Literature I, Japanese Literature I,II	和漢比較文学(平安期) Comparative Literature (Heian Era)
講師 Lecturer (文学)	菱岡 憲司 HISHIOKA, Kenji	1976	文学Ⅰ,Ⅱ, 文学特講 Literature I,II, Lecture on Literature	日本近世文学 Japanese early modern Literature,
教授 Professor (学術修士)	中島 洋典 NAKASHIMA, Yosuke	1957	地理学, 環境科学Ⅰ,Ⅱ Geography, Environmental Science I,II	地形学 Geomorphology
教授 Professor (文学修士)	山口 英一 YAMAGUCHI, Eiichi	1961	社会学,人間科学Ⅰ,Ⅱ, 政治学・経済学 Sociology, Ethics and Philosophy, Human Science I,II, Politics and Economics	インド哲学史 Indian Philosophy
准教授 Associate Professor (修士(教育学))	谷口 光男 TANIGUCHI, Mitsuo	1973	歴史学, 政治学・経済学, 社会科学Ⅰ,Ⅱ History, Politics and Economics, Social Science I,II	アイルランド中世史 Medieval Irish History
教授 Professor (文学修士)	徳田 仁 TOKUDA, Hitoshi	1952		ワーズワースの研究 W. Wordsworth
教授 Professor (博士(教育学))	安部 規子 ABE, Noriko	1957		英語教育 Teaching English as a Foreign Language
教授 Professor (文学修士)	三戸 健司 MITO, Kenji	1963	英語Ⅰ,Ⅱ, 英語コミュニケーションA, B, 英会話, 英語, 英語演習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ English I,II, English Communication A,B English Conversation, English, English Seminar I,II,III	英語学 English Linguistics
教授 Professor (文学修士)	村田 和穂 MURATA, Kazuho	1965		英語文献学 English Philology
准教授 Associate Professor (哲学修士)	リチャード・グランバイン GRUMBINE, Richard	1967		英語教育 Teaching English as a Second Language, Philosophy
准教授 Associate Professor (文学修士)	山崎 英司 YAMASAKI, Eiji	1973		アメリカ文学 American Literature
教授 Professor (理学修士)	坂西 文俊 SAKANISHI, Fumitoshi	1958		解析学 Analysis
教授 Professor (博士(工学))	村岡 良紀 MURAOKA, Yoshinori	1961	基礎解析学, 基礎数学Ⅰ,Ⅱ, 解析学Ⅰ, 代数・幾何, 解析学Ⅱ, 数学特講, 応用数学Ⅰ,Ⅱ, 数学演習 Fundamental Analysis, Fundamental Mathematics I,II, Analysis I,II, Algebra and Geometry, Topics of Mathematics, Applied Mathematics I,II, Exercises in Mathematics	多変数複素関数論 Function Theory in Several Complex Variables
准教授 Associate Professor (博士(数理学))	西山 治利 NISHIYAMA, Harutoshi	1968		統計物理学 Statistical Physics
准教授 Associate Professor (博士(工学))	田中 彰則 TANAKA, Akinori	1971		数理統計学 Mathematical Statistics
准教授 Associate Professor (博士(工学))	高本 雅裕 TAKAMOTO, Masahiro	1975		統計物理学 Statistical Physics
助教 Assistant Professor (博士(理学))	青影 一哉 AOKAGE, Kazuya	1980		代数学 Algebra
准教授 Associate Professor (博士(工学))	松尾 明洋 MATSUO, Akihiro	1971	化学Ⅰ,Ⅱ Chemistry I,II	化学 Chemistry
准教授 Associate Professor (博士(工学))	酒井 健 SAKAI, Takeshi	1970		固体物理学 Solid State Physics
准教授 Associate Professor (博士(工学))	鮫島 朋子 SAMESHIMA, Tomoko	1975	基礎物理学, 応用物理学 Fundamental Physics, Advanced Physics	非線形物理学 Non linear Physics
准教授 Associate Professor (博士(工学))	竹内 伯夫 TAKEUCHI, Norio	1977		プラズマ物理学 Plasma Physics
教授 Professor	河村 豊實 KAWAMURA, Toyomi	1949	情報論理学, 情報処理基礎, 数学演習 Propositional Logic and First-order Logic, Computer Literacy, Exercises in Mathematics	情報工学 Computer Science
教授 Professor	塚本 邦重 TSUKAMOTO, Kunishige	1950	保健体育, 体育実技 Health and Physical Education	方法学 Physical Education
教授 Professor	井上 仁志 INOUE, Hitoshi	1958		方法学 Physical Education
嘱託教授 Part-time Professor (博士(数理学))	荒木 眞 ARAKI, Makoto	1948		解析学 Analysis



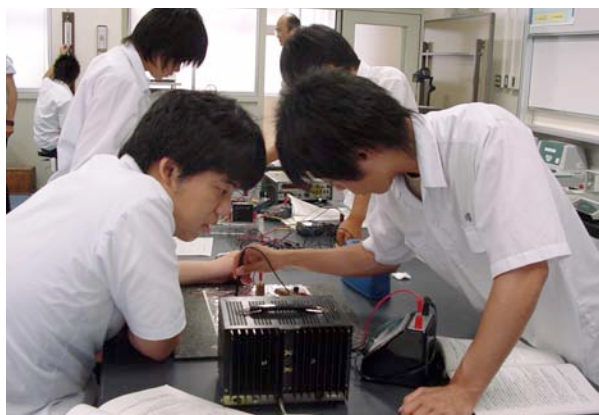


## 非常勤教員 Part-time Instructors

氏名 Name	担当教科目 Subjects	備考 Notes
藤 崎 祐 二 FUJISAKI, Yuji	文学Ⅲ Japanese LiteratureⅢ	高校非常勤講師 Part-time Instructor of High School
山 田 尚 子 YAMADA, Naoko	日本語コミュニケーションⅠ，文学Ⅲ Japanese Communication I	大学非常勤講師 Part-time Instructor of University
水 元 洋 MIZUMOTO, You	応用数学Ⅱ，応用物理学Ⅱ Applied Mathematics, Advanced Physics II	(株)C・R・S講師 Lecturer of C.R.S
中 村 良 一 NAKAMURA, Ryoichi	基礎数学Ⅰ Fundamental Mathematics I	元県立高等学校教諭 Former High School Teacher
池 見 公 芳 IKEMI, Kimiyoshi	化 学Ⅰ Chemistry I	熊本大学助教 Assistant Professor, Kumamoto University
山 崎 顕 治 YAMASAKI, Kenji	化 学Ⅱ Chemistry II	元県立高等学校教諭 Former High School Teacher
大津山 佳 子 OHTSUYAMA, Yoshiko	音 楽 Music	元私立短期大学助教授 Former Associate Prof. of Private Junior College
喜多條 鮎 子 KITAJOU, Ayuko	生 物 Biology	九州大学学術研究員 Postdoctoral Fellow, Kyushu University
福 村 憲 二 FUKUMURA, Kenji	美 術 Fine Arts	県立高等学校非常勤講師 Part-time Instructor of High School
藤 木 幸 子 FUJIKI, Sachiko	英 語Ⅰ English I	県立高等学校非常勤講師 Part-time Instructor of High School
五 島 民 子 GOTO, Tamiko	英 語Ⅰ English I	元県立高等学校教諭 Former High School Teacher
山 下 和 美 YAMASHITA, Kazumi	英語コミュニケーションA English Communication A	元県立高等学校教諭 Former High School Teacher
仁田原 元 NITAHARA, Hajime	保健体育 Health and Physical Education	有明高専名誉教授 Prof. Emeritus, Ariake Kosen
藤 吉 洋 子 FUJIYOSHI, Youko	保健体育 Health and Physical Education	中学校非常勤講師 Part-time Instructor of Junior High School
中 村 昌 彦 NAKAMURA, Masahiko	第二外国語Ⅰ,Ⅱ（中国語） Second Foreign Language I, II	帝京大学教授 Professor, Teikyo University
小 櫻 昇 KOZAKURA, Noboru	技術者倫理 Engineering Ethics	(株)三井化学 Mitsui Chemicals Inc.
穂 坂 真 吾 HOSAKA, Shingo	技術者倫理 Engineering Ethics	(株)三井化学 Mitsui Chemicals Inc.

## 実験設備 Educational and Research Equipment

室名	主な設備
物理実験室	ヤング率測定器，表面張力測定器，分光計，電気回路実験器，アナログ記録計，オシロスコープ，電位差計，放射線測定器，電子天秤，－85℃冷凍庫，線膨張測定器
化学実験室	水の電解装置，電導度計，pH計，電子天秤，ドラフトチャンバ



▲物理学の実験  
Physics Experiments



▲2年生の研修  
School Trip of 2nd Year Students



## 機械工学科

## Department of Mechanical Engineering

### 機械の力は人の知から

機械工学は近代工業のあらゆる分野におよんでいます。本学科は、設計法、材料力学、熱・流体工学、制御工学、材料学、工作法、コンピュータ、メカトロニクスなど広い範囲にわたる科目が修得できます。本学科では、講義と多くの演習によって専門知識を修得するとともに、技術を体得するために実験、実習、CAD製図などに多くの時間を設け、その指導には教員10名と技術職員5名があたっています。さらに、5年間で10数社におよぶ工場見学、特に、4年次では2週間程度の夏季学外企業実習を体験して、企業の実態を学ぶことができます。5年次では、近年の技術革新とその多様化に対応するために、システム制御工学、基礎塑性力学、生産システム工学などを選択履修できるようにしています。

また、大学教授や業界の専門技術者による特別講義を開講して学生の視野を広げる教育も行っています。最後に、5年間の総仕上げとして、1～2人の学生が一组となり教員の指導のもとに卒業研究を行い、論文の作成および発表により創造力と総合的な能力を養っています。

The mechanical engineering has extended its range to the various fields in modern industries. For the mechanical engineers to make substantial contribution to various fields, the department provides students with many subjects such as mechanical design, strength of materials, thermal and fluid engineering, control engineering, materials, manufacturing process, computer, mechatronics, etc. The department affords the students technical knowledge by lectures and many exercises, and students spend a lot of school hours on experiments, workshop practices and mechanical drawing with CAD. For these educational objectives there are ten teaching staff and five technical officials in the department. To know the realities of the factories, there are many tours through them and practical exercises in certain factories during the summer vacation. The department has also provided some subjects such as system control engineering, basic plastic working production system engineering and so on to consider the technological innovation and its variety.

In addition, special lectures are given by professors from universities and executive technical engineers from factories. The students are expected to foster creativity and well-qualified capability through graduation research.

### 教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 機械工学及びその関連分野において、様々な問題を論理的に分析し自分の力で解決できる能力を持った技術者の育成
  - (2) 倫理観を持ち環境にやさしく人類のためになる創造的のものづくりができる能力を持った技術者の育成
  - (3) 常に向上心を持ち高い目標へ挑戦できる能力を持った技術者の育成
- (1) To develop practical engineers with the ability to analyze and solve difficult problems independently in mechanical engineering and its related fields.
  - (2) To develop practical engineers with a high ethical sense and the ability to create useful and environmental-friendly products.
  - (3) To develop practical engineers who are motivated to make constant progress and achieve challenging goals.

### アドミッションポリシー（求める学生像） Admission Policy

機械工学科では、豊かで便利な社会を作り、人類の夢をかなえるためにぜひとも必要となるすばらしい機械（もの）を創り出す技術者になることを目指して、いろいろなことを学びます。そのため、本学科では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 機械（もの）の仕組みや働きに興味があり、さらに勉強したいと思っている人
- 2) ものづくりが好きで、自分のアイデアでものを作ってみたいと思っている人
- 3) 人のために役に立ち、地球に優しいものづくりに関心のある人

In this department, you have an opportunity to learn a variety of subjects in order to be engineers who can design and manufacture machinery essential to make society better and more convenient, finally realizing human dreams. The students who enter this department are expected:

- 1) to be motivated in pursuing their interest in the mechanism and movement of machinery
- 2) to be interested in manufacturing products based on their own ideas
- 3) to be interested in creating useful and eco-friendly products



## 教育課程（専門科目）

## Curriculum

授 業 科 目 Subjects				単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes
					1 年 1st	2 年 2nd	3 年 3rd	4 年 4th	5 年 5th	
必修 Required Subjects	工学基礎 Basic Engineering	工学基礎Ⅰ	Basic Engineering I	1	1					
		工学基礎Ⅱ	Basic Engineering II	1	1					
		工学基礎Ⅲ	Basic Engineering III	2		2				
		情報処理基礎	Basic Computer Science	2	2					
		応用物理学Ⅰ	Applied Physics I	3		3				
		工業力学	Engineering Dynamics	2		2				
		応用数学Ⅰ	Applied Mathematics I	2			2		30H+15H/単位	
		応用数学Ⅱ	Applied Mathematics II	2			2		30H+15H/単位	
	専門基礎 Specialized Subjects	材料力学Ⅰ	Strength of Materials I	2		2				
		熱力学	Thermodynamics	2			2		30H+15H/単位	
		水力学	Hydraulics	2			2		30H+15H/単位	
		計測制御Ⅰ	Measurement and Control I	2			2		30H+15H/単位	
		メカトロニクス基礎	Basic Mechatronics	2			2		30H+15H/単位	
	総合 Composition	機械基礎製図	Mechanical Basic Design	6		3	3			
		機械基礎設計	Exercises of Basic Design	5				2	3	45H+0H/単位
機械基礎実習		Mechanical Shop Basic Practice	6	3	3					
機械創造実習		Mechanical Shop Creative Practice	3			3				
機械工学実験		Experiments in Mechanical Engineering	4				2	2	45H+0H/単位	
卒業研究		Graduation Research	6					6		
小計		Subtotal	55	7	8	13	16	11		
選択 Elective Subjects	単独開講 Elective Subjects Offered Separately	工学基礎 Basic Engineering	応用物理学Ⅱ	Applied Physics II	1			1		30H+15H/単位
			工業英語	Technical English	1				1	30H+15H/単位
			工学倫理	Engineering Ethics	1				1	30H+15H/単位
		構造 Structure	材料学	Materials	3		1	2		30H+15H/単位
			材料力学Ⅱ	Strength of Materials II	4			4		15H+30H/単位
			機械振動学Ⅰ	Mechanical Vibrations I	1				1	30H+15H/単位
			機構と要素	Mechanism and Elements	2		2			
			機械要素設計	Design of Machine Elements	2			2		30H+15H/単位
		加工 Working	溶融加工	Melting and Fusion Processing	2				2	30H+15H/単位
			精密加工	Precision Manufacturing	2		2			
		エネルギー Energy	伝熱工学	Heat Transfer Engineering	2				2	30H+15H/単位
			流体工学	Fluid Engineering	2				2	30H+15H/単位
		制御 Control	コンピューター工学	Computer Engineering	1			1		30H+15H/単位
			数値計算法	Numerical Computation	1				1	30H+15H/単位
			電気電子工学	Electrical-Electronics Engineering	2			2		30H+15H/単位
			計測制御Ⅱ	Measurement and Control II	1				1	30H+15H/単位
			メカトロニクス応用	Applied Mechatronics	2				2	30H+15H/単位
		小計		Subtotal	30	0	0	5	12	13
	並列開講 Elective Subjects Offered Simultaneously	機械選択 Mechanical Engineering	流体機械	Fluid Machinery	2				2	この中から 3科目選択 15H+30H/単位
			システム制御工学	Systems and Control Engineering	2				2	
			機械振動学Ⅱ	Mechanical Vibrations II	2				2	
			基礎塑性力学	Basic Mechanics of Plasticity	2				2	
			熱機関工学	Heat Engine Engineering	2				2	
			生産システム工学	Production System Engineering	2				2	
		小計		Subtotal	12	0	0	0	0	12
開設単位数 Total of Credits Offered				97	7	8	18	28	36	授業外科目を除く
修得可能単位数 Earnable Credit				91	7	8	18	28	30	
授業外科目		学外実習	Extramural Practice	1(2)				1(2)		
		課題研究	Exercises on Engineering	1			1			
		特別講義	Special Lecture	1			1			
		小計		Subtotal	3(4)					

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。





## 常勤教員 Educational Personnel

職名 Title	氏名 Name	生年度 YOB	担当教科目 Subjects	専門分野 Research Fields
教授 Professor (技術士(機械部門))	堀田 源 治 HOTTA, Genji	1953	機械要素設計, 機械基礎設計, 工学倫理 Design of Machine Elements, Mechanical Basic Design, Engineering Ethics	設計工学 Design Engineering
教授 Professor (博士(工学))	吉田 正 道 YOSHIDA, Masamichi	1955	熱力学, 伝熱工学 Thermodynamics, Heat Transfer Engineering	伝熱工学 Heat Transfer Engineering
教授 Professor (博士(工学))	南 明 宏 MINAMI, Akihiro	1960	材料学, 基礎塑性力学 Materials, Basic Mechanics of Plasticity	塑性加工 Plastic Working
教授 Professor (博士(工学))	明 石 剛 二 AKASHI, Koji	1963	精密加工, 機械基礎設計 Precision Manufacturing, Mechanical Basic Design	精密加工 Precision Manufacturing
准教授 Associate Professor (工学修士)	原 慎 真 也 HARAMAKI, Shinya	1961	メカトロニクス基礎・応用 Basic Mechatronics, Applied Mechatronics	ロボット工学 Robotics
准教授 Associate Professor (博士(工学))	柳 原 聖 YANAGIHARA Kiyoshi	1968	計測制御Ⅰ・Ⅱ, 機械振動学Ⅰ・Ⅱ Measurement and Control I・II, Mechanical Vibration I・II	計測制御工学 Measurement and control Engineering
准教授 Associate Professor (博士(工学))	坪 根 弘 明 TSUBONE, Hiroaki	1973	水力学, 流体工学 Hydraulics, Fluid Engineering	流体工学 Fluid Engineering
准教授 Associate Professor (博士(工学))	岩 本 達 也 IWAMOTO, Tatsuya	1979	材料力学Ⅰ・Ⅱ, 機械基礎製図 Strength of Materials I・II, Mechanical Basic Design	材料力学 Strength of Materials
講 師 Lecturer (博士(工学))	篠 崎 烈 SHINOZAKI, Akira	1980	工学基礎Ⅲ, 機械基礎実習 Basic Engineering III, Mechanical shop Basic Practice	精密加工 Precision Manufacturing
助 教 Assistant Professor (博士(工学))	福 永 道 彦 FUKUNAGA, Michihiko	1984	機械工学実験 Experiments of Mechanical Engineering	設計工学 Design Engineering



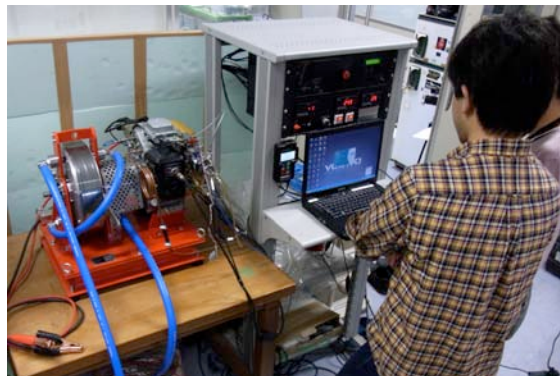
▲教室での授業風景  
Education at Class Room



▲3D-CAD演習  
3D-CAD Practice



▲材料実験  
Experiment of Mechanical Materials



▲卒業研究  
Graduation Research



## 主な実験・実習設備 Educational and Research Equipment

室名	主な設備
精密測定実験室 (恒温室)	万能測長器, 表面性状測定器, 真円度測定器, 歯車試験機, 精密石定盤, 工具顕微鏡, 電気マイクロメータ, 空気マイクロメータ, 精密定盤, 万能投影機, マイクロスコープ, ダイアルゲージ検定機, オートコロメータ, 表面粗さ計
材料実験室	走査電子顕微鏡 (X線分析装置付属), 万能塑性加工機, 万能試験機, オートグラフ, 電解研磨装置, 各種硬度試験機, 熱処理用電気炉, 金属顕微鏡, 超音波パルスレーザ
材料強度実験室	PSPC 微小部 X 線応力測定装置, 電動油圧式疲労試験機
熱工学実験室	内燃機関性能総合試験装置, 自動蒸留水製造装置
流体実験室	送風機性能試験装置, 水車実験装置, 圧力計検定装置, ポンプ実験装置, オリフィス検定装置, 高速度ビデオカメラ
機械力学制御 工学実験室	振動試験機, 動釣合試験機, 油圧サーボ実験装置, マイクロロボットシステム, 3D プリンタ, FFT アナライザ, 燃料噴射制御実験システム, マイクロコンピュータ, 自動計測制御解析システム, 3D-CAD
機械工作実験室	横形マシニングセンタ, 高速旋盤, 切削抵抗測定装置, ドリル切削抵抗測定装置

## 実習工場 Workshop

室名	主な設備
機械工作室	CNC旋盤, NCワイヤー放電加工機, 普通旋盤, 万能フライス盤, NCフライス盤, 立てフライス盤, プラノミラー, 万能円筒研削盤, 平面研削盤, マシニングセンタ, 工具研削盤, 直立ボール盤, ホブ盤, 歯車形削盤, 放電加工機
鋳造・塑性加工室	モールドイングマシン, 重油炉, 20t油圧プレス
溶接室	溶接ロボット, 交流アーク溶接機, TIG溶接機, スポット溶接機, ガス溶接機, 電動切断機, 半自動溶接機, エアープラズマ切断機

## 修学・進路選択に係る支援 Support of Study and Career Choice

就職は学科長, 進学は5年担任が主に担当しています。4年生では数学, 英語, SPI, 専門科目(7教科)の計10教科を対象とした就職・進学推薦認定試験(年3回程度)を実施しており, 全ての教科目を合格した学生のみ推薦の資格を与えるようにしています。また, 3, 4年生が卒業生の仕事等の話を聞く機会や4年生を対象とした進路セミナー等も随時開催しています。

## 卒業生の主な就職先(最近5年間) List of Principal Employment

旭化成㈱, オムロンリレーアンドデバイス㈱, ㈱オーレック, 花王㈱, 川崎重工業㈱, 関西電力㈱, キヤノン㈱, 九州電力㈱, 京セラ㈱川内, キリンビール㈱, コニカミノルタビジネスソリューションズ㈱, JFE スチール㈱西日本, 新日本製鐵㈱, セイコーエプソン㈱, 第一精工㈱, ダイキン工業㈱, ダイハツ工業㈱, 武田薬品工業㈱, デンソーテクノ㈱, 東海旅客鉄道㈱, TOTO㈱, トヨタ自動車九州㈱, ㈱トヨタプロダクションエンジニアリング, 西日本旅客鉄道㈱, ㈱日産テクノ, 日本ビソー㈱, 日本たばこ産業㈱, パナソニックコミュニケーションズ㈱, ㈱福岡多田精機, 富士重工業㈱, ブラザー工業㈱, 本田技研工業㈱, マキシス工業, マキノジェイ㈱, 三井金属鉱業㈱, ㈱三井ハイテック, ㈱三井三池製作所, 三菱重工業㈱高砂製作所, 三菱重工業㈱長崎造船所, 三菱電機ビルテクノサービス㈱, ㈱室町ケミカル, ヤマハモーターエンジニアリング㈱, ヤンマー建機㈱, 雪印メグミルク㈱, ㈱ユニバーサル造船。

※平成23年度卒業生の就職先は p57, 進学先は p56。



## 電気工学科

## Department of Electrical Engineering

### 電気をいかして明るい未来

近年の情報化社会の進展からも、また、エネルギー分野においても電気工学は技術革新の先導的役割を担っているのと同時に、より豊かな社会をつくる技術的な意味での原動力になっています。それゆえに本学科の学生が電子工学、情報工学、制御工学、電力システム工学のような基本技術を修得できるように配慮しています。さらに、電気電子工学実験や卒業研究を通してこれらの理論や現象に対する理解を深めることができます。このように本学科は技術分野の革新に耐えうる電気技術者の育成に努めています。

As we can see from the progress of the recent information-oriented society, electrical engineering is now taking the lead in the technological innovation. Its leading role is also prominent in the field of energy. Electrical engineering has turned out to be a technological driving force to create a more affluent society. The students in the department, therefore, are to study such basic subjects as electronic engineering, computers, control and power system engineering. The department helps the students to deepen the understanding of theories and phenomena in electrical engineering through laboratory experiments and graduation research. The curriculum is organized to train the students into the electrical engineers who are capable of satisfying the requirements for the innovation in technology.

### 教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 基礎学力に育まれた豊かな創造性と電気電子工学から情報工学までの幅広い専門知識により、新しい技術や課題に柔軟に対応できる能力を有する人材の育成
  - (2) エネルギー問題や環境問題など現代社会の抱えるさまざまな課題に対して、これらを正しく評価できる分析能力と問題解決能力を有する人材の育成
  - (3) 人間社会における技術のあり方を深く理解し、環境にやさしい電気電子情報技術を積極的に開拓するという向上心と倫理観を有する人材の育成
- (1) To develop persons who are able to creatively handle new technology and solve problems with both basic knowledge and technical knowledge from electrical to information engineering.
- (2) To develop persons who are able to correctly analyze and solve various issues in the present world, such as energy problems and environmental problems.
- (3) To develop persons who deeply understand the roles technology plays in society, and have aspiration and ethics to invent eco-friendly electrical and electronic technology.

### アドミッションポリシー（求める学生像） Admission Policy

電気工学科では、文明社会を支えているさまざまな科学技術に不可欠なエネルギー・電子・情報の三つの分野を中心に、電気に関することがらを学びます。そのため、本学科では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 電気・電子やコンピュータに関心がある人
- 2) 電子工作や電気実験に興味がある人
- 3) 地球の環境問題やエネルギー問題に関心がある人

In this department, you have an opportunity to learn a various subjects concerning electricity, focusing on the three fields of energy, electronics and information, essential for technology which supports this civilized society. The students who enter this department are expected:

- 1) to be interested in electricity, electronics and computer
- 2) to be interested in electronics handicrafts and electrical experiments
- 3) to be interested in environmental problems and energy issues





## 教育課程（専門科目）

## Curriculum

授 業 科 目 Subjects				単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes	
					1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th		
必修 Required Subjects	工学基礎 Basic Engineering	工学基礎Ⅰ	Basic Engineering I	1	1						
		工学基礎Ⅱ	Basic Engineering II	1	1						
		工学基礎Ⅲ	Basic Engineering III	2		2					
		情報処理基礎	Basic Computer Science	2	2						
		応用物理学Ⅰ	Applied Physics I	3			3				
		応用数学Ⅰ	Applied Mathematics I	2				2		30H+15H/単位	
	電気工学基礎 Basic Electrical Engineering	応用数学Ⅱ	Applied Mathematics II	2				2		30H+15H/単位	
		電気基礎	Electric Fundamentals	1	1						
		電気製図	Electrical Drawing	1	1						
		電気磁気学	Electromagnetics	5		1	2	2		15H+30H/単位	
		電気回路	Electric Circuits	7		1	2	4		15H+30H/単位	
		電気電子計測	Electrical and Electronic Measurements	3			2	1		30H+15H/単位	
		制御工学	Control Engineering	2				2		30H+15H/単位	
		電気電子基礎演習	Exercises in Electrical Engineering and Electronics	1	1						
		電気電子工学演習	Exercises in Electrical Engineering and Electronics	1				1		30H+15H/単位	
	電力工学系 Electric Power Engineering	電気電子工学実験	Experiments in Electrical Engineering and Electronics	12		3	3	4	2	45H+0H/単位	
		電気機器	Electric Machinery	4			2	2		30H+15H/単位	
	電子工学系 Electronic Engineering	電子デバイスⅠ	Electronic Devices I	2			2				
		電子回路Ⅰ	Electronic Circuits I	2				2		30H+15H/単位	
	情報工学系 Computer Engineering	情報処理	Computer Science	5		1	2	2		15H+30H/単位	
		卒業研究	Graduation Research	6					6		
		小計	Subtotal	65	7	8	18	24	8		
選択 Elective Subjects	単独開講 Elective Subjects Offered Separately	工学複合・総合 Interdisciplinary Subjects	応用物理学Ⅱ	Applied Physics II	1				1		30H+15H/単位
			システム制御	System Control	2					2	30H+15H/単位
			機械工学概論	Introduction to Mechanical Engineering	2					2	30H+15H/単位
		電力工学系 Electric Power Engineering	高電圧工学	High Voltage Engineering	1					1	30H+15H/単位
			パワーエレクトロニクス	Power Electronics	1					1	30H+15H/単位
			電力輸送工学	Electric Power Transmission Engineering	2					2	30H+15H/単位
		電子工学系 Electronic Engineering	電力発生工学	Electrical Power Generation Engineering	2					2	30H+15H/単位
			電子デバイスⅡ	Electronic Devices II	1				1		30H+15H/単位
			電子回路Ⅱ	Electronic Circuits II	2					2	30H+15H/単位
		情報通信工学系 Computer and Communication Engineering	電子物性	Solid-State Physics	2				2		30H+15H/単位
			通信工学Ⅰ	Communication Engineering I	2					2	30H+15H/単位
			計算機工学	Computer Engineering	2					2	15H+30H/単位
	論理回路		Logic Circuits	1				1		30H+15H/単位	
			小計	Subtotal	21	0	0	0	5	16	
	並列開講 Elective Subjects Offered Simultaneously	電力工学系 Electric Power Engineering	電気材料	Electrical Materials	1					1	30H+15H/単位
			電気法規	Laws and Regulations on Electrical Facilities	1					1	30H+15H/単位
			電気応用	Applied Electrical Engineering	1					1	30H+15H/単位
			電気設計	Electric Machine Design	2					2	30H+15H/単位
		電子情報工学系 Electronic and Computer Engineering	計算機工学特論	Advanced Computer Engineering	1					1	30H+15H/単位
			電子工学特論	Advanced Electronic Engineering	1					1	30H+15H/単位
通信工学Ⅱ			Communication Engineering II	1					1	30H+15H/単位	
電子設計			Electronic Circuit Design	2					2	30H+15H/単位	
		小計	Subtotal	10	0	0	0	0	10		
開設単位数				Total of Credits Offered	96	7	8	18	29	34	授業外科目を除く
修得可能単位数				Earnable Credit	91	7	8	18	29	29	
授業外科目				学外実習	Extramural Practice	1(2)				1(2)	
				課題研究	Exercises on Engineering	1				1	
				特別講義	Special Lecture	1				1	
				小計	Subtotal	3(4)					

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



## 常勤教員 Educational Personnel

職名 Title	氏名 Name	生年度 YOB	担当教科目 Subjects	専門分野 Research Fields
教授 (博士 (工学) ) Professor	永 守 知 見 NAGAMORI, Tomomi	1952	電気機器, 電気材料 Electric Machinery, Electrical Materials	電気材料 Electrical Materials
教授 (博士 (工学) ) Professor	塚 本 俊 介 TSUKAMOTO, Shunsuke	1954	電気回路, 電力輸送工学 Electric Circuits, Electric Power Transmission Engineering	高電圧工学 High Voltage Engineering
教授 (博士 (工学) ) Professor	泉 勝 弘 IZUMI, Katsuhiro	1956	電気磁気学, 電気電子工学実験 Electromagnetics, Experiments in Electrical and Electronic Engineering	パワーエレクトロニクス Power Electronics
教授 (博士 (工学) ) Professor	石 丸 智 士 ISHIMARU, Satoshi	1966	電子物性, 電子デバイス Solid-State Physics, Electronic devices	半導体物性, 光電気化学 Semiconductor Physics, Photo-electrochemistry
准教授 (博士 (工学) ) Associate Professor	河 野 晋 KONO, Susumu	1969	高電圧工学, パワーエレクトロニクス High Voltage Engineering, Power Electronics	パルスパワー Pulsed Power
准教授 (博士 (情報工学) ) Associate Professor	尋 木 信 一 TAZUNEKI, Shinichi	1973	情報処理, 計算機工学 Computer Science, Computer Engineering	ソフトウェア工学, 教育システム情報 Software Engineering, Information and Systems in Education
准教授 (博士 (工学) ) Associate Professor	高 松 竜 二 TAKAMATSU, Ryuji	1976	電子回路, 電気電子計測 Electronic Circuits, Electrical and Electronic Measurements	電子材料, センサ工学 Electronic Materials, Sensor Engineering
准教授 (博士 (工学) ) Associate Professor	池之上 正 人 IKENOUE, Masato	1977	制御工学, 電気電子工学実験 Control Engineering, Experiments in Electrical and Electronic Engineering	制御工学 Control Engineering
講 師 (博士 (工学) ) Lecturer	森 山 賀 文 MORIYAMA, Yoshifumi	1980	情報処理, 電気電子工学実験 Computer Science, Experiments in Electrical and Electronic Engineering	ソフトウェア工学 Software Engineering
助 教 (博士 (工学) ) Assistant Professor	清 水 暁 生 SHIMIZU, Akio	1983	電子回路, 電気電子工学実験 Electronic Circuits Experiments in Electrical and Electronic Engineering	電子回路 Electronic Circuits

## 非常勤教員 Part-time Instructors

氏名 Name	担当教科目 Subjects	備考 Notes
山 下 猛 YAMASHITA, Takeshi	電力発生工学 Electric Power Generation Engineering	西日本技術開発 (株) West Japan Engineering Consultants Co., INC.
岩 切 哲 哉 IWAKIRI, Tetsuya		西日本環境エネルギー (株) West Japan Environmental Energy Co., INC.
豊 田 常 国 TOYODA, Tsunekuni		九州電力 (株) Kyushu Electric Power Co., INC.
大 許 賢 一 OOTOMO, Kenichi		(株)NTT西日本一九州 NTT West Kyushu Corporation



▲制御実験

Experiments in Control Engineering



▲高電圧実験

Experiments in High Voltage Engineering



## 主な実験・実習設備 Educational and Research Equipment

室名	主な設備
電子基礎実験室	直流電位差計, キャパシタンスブリッジ, 万能ブリッジ, 磁力計, 磁束計, 電圧計, 電流計, 精密級抵抗器, エレクトロニクス検流計, 標準信号発生器, 低周波発振器, パルスジェネレータ, ファンクションジェネレータ, デジタルマルチメータ, オシロスコープ, インピーダンスアナライザ, 周波数カウンタ, 電子電圧計, 定電圧電源, カーブトレーサ, ひずみ率計, 利得位相計, マイクロ波実験装置, 電界強度測定装置, 騒音計, パーソナルコンピュータ
電子応用実験室	電圧計, 電流計, ファンクションジェネレータ, オシロスコープ, 周波数カウンタ, 電子電圧計, 定電圧電源, ワイドスweepジェネレータ, パーソナルコンピュータ
電気機械実験室	各種直流電動機・発電機, 三相同期発電機, 三相誘導電動機, 直流電気動力計, 渦流制動型動力計, サイリスタ式直流電流, PWM インバータ
電力工学実験室	各種継電器, 各種単相変圧器, 各種三相変圧器, 総合負荷装置
高電圧実験室	高電圧パルスパワー実験装置, 試験用変圧器, 衝撃電圧発生器, デジタルオシロスコープ, シールドルーム
光工学実験室	ベンチ光度計, ウルブリヒト球形光束計, 照度計, 各種照明器具
制御実験室	倒立振り子, 制御実験シミュレータ, メモリハイコーダ, デジタルオシロスコープ
電気情報処理演習室	パーソナルコンピュータ, サーバ, レーザプリンタ, 液晶プロジェクタ, 各種 LAN機器

## 修学・進路選択に係る支援 Support of Study and Career Choice

学科長と5年担任で連携をとりながら対応しています。4年生の年度末に個別の面談やSPI試験を行っています。また、3・4年生が卒業生の仕事等の話を聞く機会を設けています。

## 卒業生の主な就職先（最近5年間） List of Principal Employment

アイシン精機㈱, 旭化成㈱, 出光興産㈱, ㈱NTTデータ, 大阪ガス㈱, 大塚製薬㈱, 川崎重工業㈱, 関西電力㈱, キヤノン㈱, 九州電力㈱, 九州グリコ㈱, 鳥栖キューピー㈱, サントリーホールディングス㈱, 九州旅客鉄道㈱, 西日本旅客鉄道㈱, 東海旅客鉄道㈱, ㈱ディスコ, ダイハツ工業㈱, 電気化学工業㈱, ㈱東芝, 東燃ゼネラル石油㈱, 中部電力㈱, 中外製薬工業㈱, TOTO㈱, 東レ㈱, ㈱トッパンテクノ, ㈱ニコン, 日産自動車㈱, ㈱半導体エネルギー研究所, 久光製薬㈱, P&Gジャパン㈱, 富士ゼロックス㈱, 富士通㈱, 富士電機システムズ㈱, 本田技研工業㈱, マツダ㈱, 三菱重工業㈱, 三菱電機㈱, ㈱ヤクルト, ㈱安川電機。

※平成23年度卒業生の就職先は p57, 進学先は p56。



▲電子回路実験

Experiments in Electronic Circuit



▲アンテナ指向性実験

Experiments in Electromagnetic Wave Engineering





## 電子情報工学科

## Department of Electronics and Information Engineering

### 情報を的確に

科学技術の発展は、たくさんの人々が互いに物や情報を交換しあって快適な生活を営むことができるような社会の存在を可能としました。特に電子工学や情報工学の発達は目覚ましく、これらの技術は人々にたくさんの素晴らしい可能性を示し続けています。しかし、社会が高度化し複雑化するにつれて様々な技術的問題や社会的問題が生じています。したがって現在では、例えば次のようなシステムの開発が重要になってきています。それらは、効率的で安全性の高い信号変換や信号伝達を行うプロセッシングシステム、論理演算や数値シミュレーションを高速に行うコンピューティングシステム、環境の計測などを行うセンシングシステム、あるいはまた、人間と機械とのコミュニケーションを円滑に行うためのインタフェースシステムなどです。これらを実現するための技術の基礎はもちろん電子工学と情報工学にあります。

電子情報工学科における専門科目の教育課程は、工学基礎、電子情報基礎、電子工学系、情報工学系、総合領域の5つの領域で構成されています。それぞれの領域において本学科の学生は、基礎から最新技術に関する応用までをバランス良く学ぶことができます。本学科では、電子情報工学を幅広い視野から存分に活用して、様々な種類の問題を解決することができる創造的な技術者の育成を目指しています。

Progress in science and technology have made possible that there exists a society in which many people can live comfortably by exchanging materials and information. Especially, electronics and information engineering have been showing people a lot of kinds of wonderful possibilities. However, there arise various technical and social problems because our society has been increasing its sophistication and complexity. Therefore, at present, it will be very important for us to develop followings such as processors for converting and transmitting signals with high efficiency and high-level security, computational systems for high-speed logical calculations and numerical simulations, sensor systems for monitoring environment, interface systems for person-machine communication, and so on. Technologies for realizing these kinds of systems are certainly based on electronics and information engineering.

In the department of Electronics and Information Engineering, the curriculum consists of five areas: Basics of Engineering, Fundamentals of Electronics and Information Engineering, Electronics, Information Engineering, and Interdisciplinary Subjects. Students in the department can learn subjects from fundamentals to applications concerning up-to-date technologies in each area. The aim of the department is to provide creative engineers who have an ability to bring excellent solutions for various kinds of problems by using knowledge and techniques of electronics and information engineering with their global view.

### 教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 社会を支える情報通信技術を維持・発展させるための電子工学・情報工学の専門知識を総合的に身につけた人材の育成
  - (2) 電子工学・情報工学分野における多様な課題に対する分析能力と問題解決能力を有する人材の育成
  - (3) 豊かな創造力と技術者としての高い倫理観を有する人材の育成
- (1) To develop persons who have comprehensive technical knowledge in electronics and information engineering necessary to maintain and develop information communication technology.
  - (2) To develop persons who have analytical and problem-solving ability to tackle diverse issues in the areas of electronics and information engineering.
  - (3) To develop persons who are equipped with creativity and an ethical sense essential for engineers.

### アドミッションポリシー(求める学生像) Admission Policy

電子情報工学科では、コンピュータに代表される電子情報技術に関連する幅広い分野の内容を学び、人々の暮らしを便利に豊かにする技術者になることをめざします。そのため、本学科では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) コンピュータや携帯電話を動かす原理や仕組みに興味や関心のある人
- 2) 数学や理科や語学が好きで、自発的に努力できる人
- 3) 将来、いろいろな作業をコンピュータにさせる仕事をしたい人

In this department, you have an opportunity to learn subjects concerning diverse fields of electronic and information engineering in order to be experts making people's livelihood comfortable and wealthy. The students who enter this department are expected:

- 1) to be interested in the principle and the mechanism governing computers and cell phones
- 2) to be interested in studying mathematics, science and language and to be willing to make efforts spontaneously
- 3) to be willing to get jobs in the future to let computer execute various tasks.



## 教育課程（専門科目）

## Curriculum

授 業 科 目 Subjects				単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes
					1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
必修 Required Subjects	工学基礎 Basic Engineering	工学基礎Ⅰ Basic Engineering I	1	1						
		工学基礎Ⅱ Basic Engineering II	1	1						
		工学基礎Ⅲ Basic Engineering III	2		2					
		情報処理基礎 Computer Literacy	2	2						
		応用物理学 Applied Physics	3			3				
		応用数学Ⅰ Applied Mathematics I	2				2	30H+15H/単位		
		応用数学Ⅱ Applied Mathematics II	2				2	30H+15H/単位		
	電子情報基礎 Fundamentals of Electronic and Information Engineering	電子工学基礎Ⅰ Fundamentals Electronic I	2	2						
		電子工学基礎Ⅱ Fundamentals Electronic II	1		1					
		プログラミングⅠ Programming I	1		1					
		プログラミングⅡ Programming II	1			1				
		電子情報工学演習 Electronic and Information Engineering Exercises	1	1						
	電子工学系 Electronics	論理回路 Logic Circuits	2			2				
		電磁気学 Electromagnetism	2				2	30H+15H/単位		
		電気回路Ⅰ Electric Circuits I	2			2				
		電子回路Ⅰ Electronic Circuits I	4				4	15H+30H/単位		
		電子工学演習 Electronics Exercises	2		2					
		電子工学実験Ⅰ Electronics Experiment I	3			3				
		電子工学実験Ⅱ Electronics Experiment II	2				2	45H+0H/単位		
	情報工学系 Information Engineering	電子工学実験Ⅲ Electronics Experiment III	2				2	45H+0H/単位		
情報論理学 Propositional Logic and First-order Logic		2			2					
情報理論 Information Theory		2				2	30H+15H/単位			
アルゴリズム Algorithms and Data Structures		2				2	30H+15H/単位			
情報工学演習Ⅰ Information Engineering Exercises I		2		2						
情報工学演習Ⅱ Information Engineering Exercises II		2			2					
総合領域 Interdisciplinary Subjects	情報工学演習Ⅲ Information Engineering Exercises III	2				2	30H+15H/単位			
	計算機工学 Computer Engineering	2				2	30H+15H/単位			
	卒業研究 Graduation Research	8					8			
小計 Subtotal		60	7	8	15	20	10			
選択 Elective Subjects	単独開講 Elective Subjects Offered Separately	電子工学系 Electronics	電気回路Ⅱ Electric Circuits II	2				2	30H+15H/単位	
			電子回路Ⅱ Electronic Circuits II	2					2	30H+15H/単位
			電気電子計測 Electric and Electronic Measurements	2			2			
			半導体工学 Semiconductor Devices	2				2		30H+15H/単位
			電子製図 Drawing for Electronics	1					1	30H+15H/単位
		情報工学系 Information Engineering	システムプログラム Operating System	1				1		30H+15H/単位
			言語処理系 Language Translation Systems	2					2	30H+15H/単位
			数値計算法 Numerical Computation	2				2		30H+15H/単位
			情報ネットワーク Information Network	2					2	30H+15H/単位
			ソフトウェア工学 Software Engineering	2					2	30H+15H/単位
			デジタルデータ処理 Digital Data Processing	2					2	30H+15H/単位
			データベース Introduction to Database Systems	2					2	30H+15H/単位
		総合領域 Interdisciplinary Subjects	情報処理システム Information Processing Systems	1			1			
			通信工学 Communication Engineering	2					2	30H+15H/単位
			制御工学Ⅰ Control Engineering I	2				2		30H+15H/単位
			制御工学Ⅱ Control Engineering II	2					2	30H+15H/単位
			小計 Subtotal	29	0	0	3	9	17	
		並列開講 Elective Subjects Offered Simultaneously	電子工学系 Electronics	光エレクトロニクス Optoelectronics	2					2
	情報工学系 Information Engineering		人工知能 Artificial Intelligence	2					2	
	小計 Subtotal		4	0	0	0	0	4		
開設単位数 Total of Credits Offered			93	7	8	18	29	31	授業外科目を除く	
修得可能単位数 Earnable Credit			91	7	8	18	29	29		
授業外科目	学外実習 Extramural Practice		1(2)				1(2)			
	課題研究 Exercises on Engineering		1				1			
	特別講義 Special Lecture		1				1			
	小計 Subtotal		3(4)							

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



## 常勤教員 Educational Personnel

職名 Title	氏名 Name	生年度 YOB	担当教科目 Subjects	専門分野 Research Fields
教授 Professor (理学博士)	内 海 通 弘 UCHIUMI, Michihiro	1955	デジタルデータ処理, 電磁気学 Digital Data Processing, Electromagnetism	信号処理工学 Signal Processing Engineering
教授 Professor (工学博士)	菅 沼 明 SUGANUMA, Akira	1961	数値計算法, 言語処理系 Numerical Computation, Language Translation Systems	ソフトウェア工学 Software Engineering
教授 Professor (博士 (工学))	松 野 哲 也 MATSUNO, Tetsuya	1964	システム情報モデル Modeling for Information Processes	計算物理 Computational Physics
准教授 Associate Professor (博士 (学術))	森 紳太郎 MORI, Shintaro	1962	光エレクトロニクス, 情報理論 Optoelectronics, Information Theory	光導波路 Optical Waveguide
准教授 Associate Professor (修士 (工学))	松 野 良 信 MATSUNO, Yoshinobu	1968	プログラミング, 計算機工学 Programming, Computer Engineering	情報ネットワーク Information Network Engineering
准教授 Associate Professor (博士 (工学))	宮 崎 浩 一 MIYAZAKI, Koichi	1968	制御工学, 電気回路II Control Engineering, Electric Circuits II	プラズマ工学 Plasma Engineering
准教授 Associate Professor (博士 (情報工学))	嘉 藤 学 KATO, Manabu	1969	アルゴリズム, 情報ネットワーク Introduction to Algorithms and Data Structures, Information Networks	情報通信工学 Information Network Engineering
准教授 Associate Professor (博士 (工学))	嘉 藤 直 子 KATO, Naoko	1971	ソフトウェア工学, 情報処理基礎 Software Engineering, Computer Literacy	ソフトウェア工学 Software Engineering
准教授 Associate Professor (博士 (工学))	原 武 嗣 HARA, Takeshi	1977	電気回路 I, 電子工学基礎 Electric Circuits I, Fundamentals Electronic	電子材料工学 Electronic Materials Engineering
准教授 Associate Professor (博士 (工学))	石 川 洋 平 ISHIKAWA, Yohei	1978	電気電子計測, 電子回路 I・II Electrical and Electronic Measurements, Electronic Circuits I,II	電子回路 Electronic Circuits
助教 Assistant Professor (博士 (工学))	森 山 英 明 MORIYAMA, Hideaki	1983	システムプログラム Operating System	基本ソフトウェア System Software

## 非常勤教員 Part-time Instructors

氏名 Name	担当教科目 Subjects	備考 Notes
岡 崎 泰 久 OKAZAKI, Yasuhisa	人工知能 Artificial Intelligence	佐賀大学 准教授 Associate Professor, Saga University
佐々木 伸 一 SASAKI Shinichi	通信工学 Communication Engineering	佐賀大学 准教授 Associate Professor, Saga University
深 井 澄 夫 FUKAI, Sumio	ディジタル回路設計 Digital Circuits design	佐賀大学 准教授 Associate Professor, Saga University
高 橋 将 徳 TAKAHASHI, Masanori	制御工学 II Advanced Control Engineering II	九州東海大学 准教授 Associate Professor, Kyushu Tokai University
大 曲 新 矢 OHMAGARI, Shinya	半導体工学 Semiconductor Engineering	日本学術振興会 特別研究員 (九州大学) JSPS Research Fellow (Kyushu University)

▲情報工学演習  
Computer Practice▲電子情報工学実験  
Electronics Experiment





## 主な実験・実習設備 Educational and Research Equipment

室名	主な設備
情報工学演習室	パーソナルコンピュータ（50台）、レーザプリンタ（1台）、視聴覚教育装置
プログラミング室	パーソナルコンピュータ（46台）、レーザプリンタ（1台）
電子工学実験室	ファンクションジェネレータ、パルスジェネレータ、電子電圧計、デジタルマルチメータ、指示計器（直流/交流、電圧/電流/電力）、オシロスコープ、ロジックアナライザ、万能ブリッジ、磁束計、オプティカルパワーメータ、各種直流電源、スライド抵抗、スライダック、半導体実習装置、論理回路実習装置、パルス回路実験装置、リレー回路実験装置、プログラマブルコントローラ実験装置、光通信実験装置、オペアンプ回路実験装置、マイクロコンピュータ実験装置、FPGA実験装置
電子情報設計製作実験室	デスクドリル、板金折り曲げ機、シャーシパンチ、ベンチバイス、ノギス、電動ドリル、振動ドリル、電動カンナ、マイクロメータ、ソルダクリーナ、ケーブルカッタ、ワイヤストリッパ、バンドソー、精密卓上旋盤、プリント基板加工装置、ナノスパーク
電子情報基礎実験室	パーソナルコンピュータ、サーバ
電子情報応用実験室	LSI設計CAD、ファンクションジェネレータ、スペクトラムアナライザ、レーザプリンタ、マイクロ波パワーメータ、回路シミュレータ、ボードレイアウト、ネットワークシミュレータ、デジタルオシロスコープ、高感度エレクトロメータ、プログラマブル電源、周波数カウンタ、FPGA開発プラットフォーム、任意波形発生器、LCRメータ、高分解能デジタルマルチメータ、マニュアルプローバ
情報伝送実験室	パーソナルコンピュータ、デジタルカメラ、プロジェクタ、三次元姿勢計測器
半導体デバイス実験室（クリーンルーム）	スパッタリング装置、マスクアライナ、スピンコータ、オーブン、マイクロ天秤、クリーンベンチ、ドラフトチャンバ
電子物性実験室	パーソナルコンピュータ
応用物性実験室	ドラフトチャンバ、電子材料薄膜作製用真空チャンバー、アークプラズマガン、基板温度加熱機構、ターボ分子ポンプ、ロータリーポンプ、ピラニー真空計、電離真空計、超音波洗浄機、デシケータ、実験用太陽電池、パーソナルコンピュータ
電子工学精密実験室	He-Ne レーザ、色素レーザ、ICCD カメラ、Nd:YAG レーザ、OPO レーザ、デジタルオシロスコープ、波長計、超音波洗浄機、デシケータ

## 修学・進路選択に係る支援 Support of Study and Career Choice

就職は学科長、進学は5年担任が主に担当しています。4年生の12月から担任が進路面談を行い、就職か進学希望か調査します。SPI 試験を行い、自分の適性について考えさせます。2月ころには、学科長が就職希望者全員に対して面談を行い、希望する会社を調査します。3月に入ると、アポなしで個別に希望学生と面談を繰り返し、希望する会社を決定します。また3月には募集の早い会社に対して、応募を開始します。その間、担任は履歴書、エントリーシートの書き方を指導し、面接の練習を行います。面接に自信のない学生に関しては更に別の教授が面接の指導を行うようにしています。

## 卒業生の主な就職先（最近5年間） List of Principal Employment

(株)有明ねっとこむ、(株)アルバック、一井工業(株)、エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)、西日本電信電話(株)、(株)NTT ネオメイト、オムロンリレーアンドデバイス(株)、(株)九州 DTS、(株)九州テン、九州電力(株)、KDDI テクニカルエンジニアリングサービス(株)、西肥情報サービス(株)、三興コントロール(株)、(株)CSK ホールディング、信号電材(株)、スタンレー電気(株)、ソニー EMCS(株)木更津テック、大電(株)、中外製薬工業(株)、デンソーテクノ(株)、東海旅客鉄道(株)、東京エレクトロン九州(株)、(株)東洋新薬、ドコモエンジニアリング九州(株)、(株)トッパン・テクニカル・デザインセンター、パナソニック電工(株)、(株)日立メディコ、BPA、(株)富士通九州システムズ、マツダ(株)、森永製菓(株)、ユニチカ(株)、横河シカデン(株)、(株)リコー、リコーテクノシステムズ(株)。

※平成23年度卒業生の就職先は p57、進学先は p56。



## 物質工学科

## Department of Chemical Science and Engineering

### 環境にやさしく

最近の化学技術の進歩は、マテリアルサイエンスとバイオテクノロジーの分野を除いては考えられません。化学におけるこれらの分野の拡大と技術の革新に対応するために、本校では平成6年度に工業化学科を物質工学科に改組しました。

物質工学科では、美しい環境を守りながら、地球の資源やエネルギーを活用して人間の生活に有用な製品をつくり、今後の情報、文化、生命、健康の基盤となる新しい材料、医薬などを開発、製造する技術者の養成を目指します。

そのため、1学年から3学年までは化学と生物に関する基礎科目を履修し、4学年からは「物質コース」と「生物コース」のいずれかのコースを選択し、それぞれの専門科目を履修するとともに両コースに関連した共通専門科目を履修できるようになっています。

The latest remarkable progress in chemical technology would not have been achieved without development in the fields of material science and biotechnology. In order to correspond to these new enlarged branches of chemistry and the innovation in chemical technology, we have renamed our department the Department of Chemical Science and Engineering and changed part of the curriculum.

The aim of the new department is to bring up engineers who will produce commodities really useful for human life. The engineers develop and manufacture new materials, medicines and other products which will assist in the further development of the future information technology, biotechnology, health, and culture of the people by utilizing natural resources. They also serve society in improving the environment by reducing and eliminating pollution.

In order to accomplish these objectives, basic subjects concerning chemistry and biology are taught from the first to the third year. In the fourth and fifth year, students can choose either “material engineering course” or “biological engineering course” and take other elective subjects as well as their own major ones.

### 教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 化学、生物に関する基礎的・専門的知識の習得により、新しい技術と課題に対応できる能力をもつ技術者の育成
- (2) 様々な問題を論理的に解析し、その問題を解決できる能力を持つ技術者の育成
- (3) 現場での実践的コミュニケーション能力を持つ技術者の育成

- (1) To develop engineers with the ability to deal with new technology and issues by acquiring basic knowledge and expertise in chemistry and biology.
- (2) To develop engineers with the ability to logically analyze and solve diverse issues.
- (3) To develop engineers equipped with practical communication ability at work.

### アドミッションポリシー(求める学生像) Admission Policy

物質工学科では、美しい環境を守りながら、地球の資源やエネルギーを活用して人の生活に有用な製品をつくる実践的技術者になるための学習をします。そのため、本学科では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 数学や理科への勉学の意欲が高く、実験が好きな人
- 2) さまざまなことがらに科学的な興味をもつことができる人
- 3) 学習目標を達成する強い意志を有している人

In this department, you have an opportunity to learn subjects necessary to be practical engineers who create products useful for human life and also friendly to the environment, utilizing natural resources and energy on the earth. The students who enter this department are expected:

- 1) to be motivated to study mathematics and science, and interested in experimental studies
- 2) to be able to take a scientific interest in a variety of matters
- 3) to be determined to achieve academic goals



## 教育課程（専門科目）

## Curriculum

授 業 科 目 Subjects				単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes	
					1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th		
必修 Required Subjects	共通 Common	工学基礎 Basic Subjects	工学基礎Ⅰ Basic Engineering I	1	1						
			工学基礎Ⅱ Basic Engineering II	1	1						
			工学基礎Ⅲ Basic Engineering III	2		2					
			情報処理基礎 Basic Computer Science	2	2						
			応用物理学Ⅰ Applied Physics I	3			3				
			応用数学Ⅰ Applied Mathematics I	2				2	30H+15H/単位		
			応用数学Ⅱ Applied Mathematics II	2				2	30H+15H/単位		
		専門基礎 Specialized Subjects	設計製図 Design and Drawing	2	2						
			分析化学 Analytical Chemistry	2		2					
			無機化学 Inorganic Chemistry	3			3				
			有機化学Ⅰ Organic Chemistry I	2			2		30H+15H/単位		
			有機化学Ⅱ Organic Chemistry II	2				2	30H+15H/単位		
			物理化学Ⅰ Physical Chemistry I	2			2		15H+30H/単位		
			物理化学Ⅱ Physical Chemistry II	4				4	30H+15H/単位		
			物理化学Ⅲ Physical Chemistry III	1				1			
			生物化学 Biological Chemistry	2			2				
			化学工学Ⅰ Chemical Engineering I	2				2	30H+15H/単位		
			化学工学Ⅱ Chemical Engineering II	2					2	15H+30H/単位	
		専門基礎 実験 Basic Experiments	分析化学実験 Experiments in Analytical Chemistry	2		2					
			無機化学実験 Experiments in Inorganic Chemistry	2			2				
			有機化学実験 Experiments in Organic Chemistry	2			2				
			物理化学実験 Experiments in Physical Chemistry	2				2	45H+0H/単位		
			機器分析実験 Experiments in Instrumental Analysis	2				2	45H+0H/単位		
	物質コース Materials Engineering Course	実験 Experiments	反応工学実験 Experiments in Chemical Reaction Engineering	1				1	45H+0H/単位 物質コース ・生物コースの いずれかを選択		
			物質工学実験 Experiments in Materials Engineering	2				1		1	
	生物コース Biological Engineering Course	実験 Experiments	生物反応工学実験 Experiments in Bioreaction Engineering	1				1			
			生物工学実験 Experiments in Biological Engineering	2				1		1	
	卒業研究 Graduation Research				12				3	9	
	小計 Subtotal				62	6	6	16	21	13	
選択 Elective Subjects	単独開講 Elective Subjects Offered Separately	工学基礎 Basic Subjects	情報処理 Computer Literacy	2		1			1	30H+15H/単位	
			工業英語 Technical English	2		1			1	30H+15H/単位	
			応用物理学Ⅱ Applied Physics II	1				1		30H+15H/単位	
			電気工学基礎 Basic Electrical Engineering	2					2	30H+15H/単位	
			機械工学基礎 Basic Mechanical Engineering	2					2	30H+15H/単位	
			品質管理 Quality Control	1					1	30H+15H/単位	
		専門基礎 Specialized Subjects	物質工学基礎演習 Chemical Engineering Practice	1	1						
			専門展開 Advanced and Applied Subjects	機器分析学 Instrumental Analysis	2				2		15H+30H/単位
				生物学基礎 Basic Biological Engineering	1				1		
				材料工学基礎 Basic Materials Engineering	1				1		
	並列開講 Elective Subjects Offered Simultaneously	専門展開 Advanced and Applied Subjects	環境化学 Environmental Chemistry	1					1	30H+15H/単位 6科目選択	
			高分子化学 Polymer Chemistry	1					1		
			物理化学特論 Topics of Physical Chemistry	1					1		
			分析化学特論 Topics of Analytical Chemistry	1					1		
			化学工学特論 Topics of Chemical Engineering	1					1		
			食品工学 Food Engineering	1					1		
			生物資源工学 Engineering of Biological Resources	1					1		
			エネルギー工学 Power Engineering	1					1		
			小計 Subtotal	23	1	2	2	3	15		
	物質コース Materials Engineering Course	機能材料工学Ⅰ Functional Materials Engineering I	2				2		15H+30H/単位 このうちから 3科目以上選択		
		機能材料工学Ⅱ Functional Materials Engineering II	2					2			
		プロセス工学 Process Engineering	2				2				
		反応工学 Chemical Reaction Engineering	2					2			
		物質工学演習 Exercises in Materials Engineering	2					2	30H+15H/単位		
	生物コース Biological Engineering Course	生体触媒工学 Biocatalytic Engineering	2				2		15H+30H/単位 このうちから 3科目以上選択		
		生物工学 Biological Engineering	2				2				
		微生物工学 Microbiological Engineering	2					2			
		生体高分子工学 Biopolymer Engineering	2					2			
		生物工学演習 Exercises in Biotechnology	2					2	30H+15H/単位		
小計 Subtotal				10	0	0	0	4	6		
開設単位数 Total of Credits Offered				95	7	8	18	28	34	授業外科目を除く	
修得可能単位数 Earnable Credit				93	7	8	18	28	32		
授業外科目		学外実習 Extramural Practice	1(2)					1(2)			
		課題研究 Exercises on Engineering	1				1				
		特別講義 Special Lecture	1					1			
		小計 Subtotal	3(4)								

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。





## 常勤教員 Educational Personnel

職名 Title	氏名 Name	生年度 YOB	担当教科目 Subjects	専門分野 Research Fields
教授 Professor (工学博士)	宮 本 信 明 MIYAMOTO, Nobuaki	1953	無機化学, 無機化学実験 Inorganic Chemistry, Experiments of Inorganic Chemistry	無機化学 Inorganic Chemistry
教授 Professor (工学博士)	川 瀬 良 一 KAWASE, Ryoichi	1953	機能材料工学Ⅱ, 設計製図 Functional Materials Engineering II, Design and Drawing	溶射工学 Thermal Spray Engineering
教授 Professor (博士(工学))	氷 室 昭 三 HIMURO, Shozo	1955	物理化学, 工学基礎Ⅰ Physical Chemistry, Basic Engineering I	物理化学 Physical Chemistry
教授 Professor (薬学博士)	富 永 伸 明 TOMINAGA, Nobuaki	1962	生物学演習, 生物学 Exercises of Biotechnology, Biological Engineering	生化学 Biochemistry
教授 Professor (博士(工学))	劉 丹 RYU, Tan	1962	物理化学, 分析化学 Physical Chemistry, Analytical Chemistry	分析化学, 環境工学 Analytical Chemistry, Environmental Engineering
准教授 Associate Professor (博士(工学))	小 林 正 幸 KOBAYASHI, Masayuki	1967	生物化学, 生体高分子工学 Biological Chemistry, Biopolymer Engineering	生物物理化学 Biophysical Chemistry
准教授 Associate Professor (博士(工学))	田 中 康 徳 TANAKA, Yasunori	1971	機能材料工学Ⅰ, 情報処理 Functional Materials Engineering I, Information Processing	溶射工学, 無機材料化学 Thermal Spray Engineering, Inorganic Materials Science
准教授 Associate Professor (博士(工学))	出 口 智 昭 DEGUCHI, Tomoaki	1972	微生物工学, 食品工学 Microbiological Engineering, Food Engineering	微生物工学 Microbiological Engineering
准教授 Associate Professor (博士(人間・環境学))	藤 本 大 輔 FUJIMOTO, Daisuke	1975	有機化学, 有機化学実験 Organic Chemistry, Experiments of Organic Chemistry	有機化学 Organic Chemistry
准教授 Associate Professor (博士(工学))	近 藤 満 KONDO, Mitsuru	1974	プロセス工学, 反応工学 Process Engineering, Chemical Reaction Engineering	化学工学 Chemical Engineering
助教 Assistant Professor (博士(工学))	大河平 紀司 OKOBIRA, Tadashi	1979	高分子化学, 機器分析学 Polymer Chemistry, Instrumental Analysis	高分子工学, 計算化学 Polymer Science and Engineering, Computational Chemistry

## 非常勤教員 Part-time Instructors

氏名 Name	担当教科目 Subjects	備考 Notes
杉 崎 良 香 SUGISAKI, Ryouka	品質管理 Quality Control	元三井化学(株) Former Mitsui Chemicals, INC.
浦 塚 精 Uratsuka, Tadashi	電気工学基礎 Basic Electrical Engineering	ユニバーサル造船(株) Universal Shipbuilding Corporation
上 村 敏 雄 UEMURA, Toshio	機械工学基礎 Basic Mechanical Engineering	(株)エムシー・オペレーションサポート MC Operation Support
大 坪 一 成 OOTSUBO, Kazunari	化学工学特論 Topics of Chemical Engineering	元出光興産(株) Former Idemitsu Kosan Co., Ltd.
石 橋 弘 志 ISHIBASHI, Hiroshi	環境化学 Environmental Chemistry	尚綱大学短期大学部准教授 Associate Professor of Shokei University Junior College
正 本 博 士 MASAMOTO, Hiroshi	化学工学Ⅰ Chemical Engineering I	福岡大学工学部助教 Assistant Professor of Fukuoka University
濱 口 智 彦 HAMAMOTO, Tomohiko	分析化学 Analytical Chemistry	福岡大学理学部助教 Assistant Professor of Fukuoka University



▲生物学実験

Experiments in Biological Engineering



▲物理化学実験

Experiments in Physical Chemistry



## 主な実験・実習設備 Educational and Research Equipment

物質棟	
室名	主な設備
第1 機器分析実験室	核磁気共鳴吸収スペクトル装置, X線回折装置, 熱分解ガスクロマトグラフィー, ガスクロマトグラフィー質量分析装置, 電子天秤, 原子吸分光光度計, TOC分析装置, 紫外可視分光光度計
第2 機器分析実験室	走査型電子顕微鏡, 熱分析, フーリエ変換赤外分光光度計, 電子天秤
無機・分析化学実験室	分光吸光度計, 電導度計, 電池放電自動記録装置
物理化学実験室	電子冷却恒温槽, 電気炉, 回転真空ポンプ, 反応熱測定装置, 精密直流電流計, アッペ屈折計
有機化学実験室	蒸留水製造装置, 乾燥器
反応工学実験室	熱伝導率測定装置, ボールミル粉碎装置, 多点記録計, 粉体粒度分布測定装置, ブレーン空気透過粉末度測定器
第1 卒業研究室	マイクロビッカース硬度計, 精密切断機, 自動研磨装置, 実体顕微鏡, 流動床造粒装置, デジタルメモリオシロスコープ, 超音波送受信装置, デジタル顕微鏡, 卓上遠心器

生物棟	
室名	主な設備
機器分析実験室	高速液体クロマトグラフィ装置, 時間分解蛍光分光光度計, 分光蛍光光度計, 分光光度計, 自動蛍光偏光解消測定装置, 電子天秤
生物工学実験室	純水製造装置, ドラフトチャンバ, ロータリエバポレータ, 精密蒸留装置, 恒温乾燥機, 卓上超遠心機, 電子天秤
微生物工学実験室	DNA シーケンサ, 遺伝子増幅装置, 凍結乾燥機, オートクレーブ
培養室	多機能超遠心機, 超低温フリーザ, クリーンベンチ, 正立蛍光顕微鏡, 振とう培養機, フラクションコレクター
生物反応工学実験室	生物顕微鏡, pHメータ, 乾熱滅菌器, クリーンベンチ, 電子天秤, ドラフトチャンバ, マルチラベルリーダー, 超低温フリーザー, 恒温振とう培養器

## 修学・進路選択に係る支援 Support of Study and Career Choice

就職は学科長, 進学は5年担任が主に担当しています。4年生では, 適性試験やSPI試験を行います。また, 4年生には, 卒業生による仕事に関する説明会および進学に関する説明会を随時開催しています。3年生には, コース分け等を通して進路選択についての導入を行っています。

## 卒業生の主な就職先（最近5年間） List of Principal Employment

旭化成(株), (財)有明環境整備公社, (株)エム・シー・エス, 京セラ(株), (株)クリタス, (株)再春館製薬所, 三洋化成工業(株), 触媒化成工業(株), 相互薬品, ソニーセミコンダクタ九州(株), 第一紡績(株), 大日精化工業(株), 田中貴金属工業(株), チッソ石油化学(株), 中外製薬工業(株), 東亜石油(株), (株)東洋新薬, 東レ(株), (株)トクヤマ, 日東電工(株), 日本ファインコーティングス(株), 日本ペイント(株), ニプロ(株), 日本化学産業(株), (株)日本触媒, (株)半導体エネルギー研究所, 三井金属鉱業(株), (株)室町ケミカル, 森永乳業(株), 山崎製パン(株), ユニチカ(株)。

※平成23年度卒業生の就職先はp57, 進学先はp56。



## 建築学科

## Department of Architecture

## 居心地のよさを求めて

建築技術者は、人間の社会生活をはぐくむ自然や風土に調和した、豊かな美しい生活空間を創造し、そのことによって文化の発展に寄与するという使命を担っています。また、最近の建物は都市化の進展に伴い巨大化・複合化し、そのためにCADシステムを利用した設計や最新の建設機械を導入した施工が行われるまでに至っています。また、一方では各種の文化的、歴史的、環境的な要因にも目を向け、新しい、より人間的な建築理念の確立への追及が活発となってきています。

建築学科では、このような幅広い専門分野を計画系、環境系、構造系、生産系の4つの系に整理して内容の資質向上を図り、これらによって建築学の基礎知識・技術を修得し、さらに芸術的センスの養成にまで力を注いでいます。具体的には、講義をはじめ、これらにかかわる実験・実習、設計演習、CAD演習、学外研修、さらには卒業研究と卒業設計など多彩なカリキュラムを編成して実践的な建築技術者の養成を目指しています。

Architectural engineers are charged with an important mission of creating a comfortable living space which harmonizes with nature and climate. They are also to make substantial contributions to the advance of culture by creativity. Present-day buildings have become massive and manifold with the growth of cities. Thus, CAD system and advanced construction machines have come into use. On the other hand, we see that architects are paying attention to various cultural, historical, and environmental factors in order to establish a new and more human architectural theory.

To achieve this goal, the department of architecture helps the students to master basic subjects in architecture which are organized into four main fields: planning, environment, structure, and production. In order to become practical engineers the department encourages the students to develop and cultivate their sensibility. In addition to many lectures, the department provides them with varied courses: experiments, design and drawing, drawing with CAD, off-campus research, graduation research, and graduation design.

## 教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 多様化する建築界において新しい技術や課題に対応するため基礎学力と幅広い専門知識を有する人材の育成
- (2) 人間の生活環境を豊かにするための創造力や社会で直面するさまざまな課題を解決する総合力・問題解決能力を有する人材の育成
- (3) 建築に対する興味や技術的関心、倫理観や向上心と自立心に支えられた建築技術者としての資質を持った人材の育成

- (1) To develop persons with both basic knowledge and a wide range of technical knowledge to deal with new technology and issues in the diversifying world of architecture.
- (2) To develop persons equipped with creativity to improve people's living environment, and comprehensive problem-solving ability to deal with diverse issues in society.
- (3) To develop persons equipped with essential qualities such as interest in architecture and technique, ethics, aspiration and independence.

## アドミッションポリシー（求める学生像） Admission Policy

建築学科では、豊かで生活しやすく美しい空間、地震や台風にも耐える建物をつくるために、建物の計画や設計、強さ、つくり方について学習します。そのため、本学科では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 数学や理科はもちろんのこと社会や芸術など、いろんな分野に興味を持ち、勉強している人
- 2) 家づくりやまちづくりに興味を持っている人
- 3) 建築の仕事をとおして、社会に貢献しようと考えている人

In this department, you have an opportunity to learn about design, strength and construction of architecture in order to make a superior, comfortable living space as well as buildings resistant to big earthquakes and typhoons. The students who enter this department are expected:

- 1) to be interested in studying various academic fields including social science and fine arts, as well as mathematics and science
- 2) to be interested in how to dwell and community planning
- 3) to be willing to contribute to society through architectural career





## 教育課程（専門科目） Curriculum

授 業 科 目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
必修 Required Subjects	単独開講 Elective Subjects Offered Separately	工学基礎 Basic Subjects	工学基礎Ⅰ Basic Engineering I	1	1				
			工学基礎Ⅱ Basic Engineering II	1	1				
			工学基礎Ⅲ Basic Engineering I II	2	2				
			情報処理基礎 Basic Computer Science	2	2				
			応用物理学 Applied Physics	3			3		
		計画系 Planning	応用数学Ⅰ Applied Mathematics I	2			2		30H+15H/単位
			応用数学Ⅱ Applied Mathematics II	2			2		30H+15H/単位
			住環境計画 Dwelling Environment Planning	2		2			
			日本建築史Ⅰ History of Japanese Architecture I	1		1			
			西洋建築史 History of European Architecture	1			1		30H+15H/単位
		環境系 Environment	都市計画 City Planning	1			1		30H+15H/単位
			建築計画Ⅰ Architectural Planning I	2			2		30H+15H/単位
			建築環境工学Ⅰ Environmental Engineering in Architecture I	2		2			
			構造力学Ⅰ Structural Mechanics I	2		2			
			構造力学Ⅱ Structural Mechanics II	2			2		30H+15H/単位
		構造系 Structure	材料力学 Strength of Materials	2		2			
			鉄筋コンクリート構造 Reinforced Concrete Structure	2			2		30H+15H/単位
			鋼構造 Steel Structures	2			2		30H+15H/単位
		生産系 Production	建築構法Ⅰ Building Construction I	1	1				
			建築材料 Building Materials	1		1			
			建築材料実験 Experiment of Building Materials	1			1		45H+0H/単位
		総合 Composition	建築設計演習Ⅰ Architectural Design and Drawing I	1	1				
			建築設計演習Ⅱ Architectural Design and Drawing II	3	3				
			建築設計演習Ⅲ Architectural Design and Drawing III	3		3			
			建築設計演習Ⅳ Architectural Design and Drawing IV	6			6		30H+15H/単位
			建築実験実習Ⅰ Architectural Experiment and Practice I	1			1		45H+0H/単位
		並列開講 Elective Subjects Offered Simultaneously	建築実験実習Ⅱ Architectural Experiment and Practice II	1				1	45H+0H/単位
			卒業設計 Graduation Design	4				4	この中から 1科目選択
			設備設計演習 Exercises in Building Equipment Design	4				4	
			構造設計演習 Exercises in Structural Design	4				4	
			卒業研究 Graduation Research	10			1	9	
		小計 Subtotal		72	5	6	16	23	22
選択 Elective Subjects	単独開講 Elective Subjects Offered Separately	工学基礎 Basic Subjects	コンピュータリテラシー演習 Computer Literacy	1	1				
			プログラミング演習 Computer Programming	1			1		30H+15H/単位
			造形 Basic Design	2	2				
		計画系 Planning	建築デザインⅠ Architectural Design I	1	1				
			建築デザインⅡ Architectural Design II	1			1		15H+30H/単位
			建築計画Ⅱ Architectural Planning II	1				1	30H+15H/単位
			都市設計 Urban Design	1				1	30H+15H/単位
			日本建築史Ⅱ History of Japanese Architecture II	1			1		30H+15H/単位
		環境系 Environment	近代建築史 History of Modern Architecture	1				1	30H+15H/単位
			建築環境工学Ⅱ Environmental Engineering in Architecture II	2			2		30H+15H/単位
			建築設備Ⅰ Building Equipment I	2				2	15H+30H/単位
		構造系 Structure	構造計画 Structural Design	1				1	30H+15H/単位
			基礎構造 Foundation Structures	1				1	30H+15H/単位
			建築法規 Building Code	1				1	30H+15H/単位
			建築構法Ⅱ Building Construction II	1		1			
			建築生産 Building Production	2				2	15H+30H/単位
		生産系 Production	建築創造演習 Creative Exercises in Architecture	1		1			
			建築設計演習Ⅴ Architectural Design and Drawing V	3				3	30H+15H/単位
			小計 Subtotal	24	2	2	2	5	13
		並列開講 Elective Subjects Offered Simultaneously	建築設計論 Theory of Architectural Design	1				1	30H+15H/単位 この中から 3科目選択
			建築設備Ⅱ Building Equipment II	1				1	
			建築デザイン演習 Exercises in Architectural Design	1				1	
			構造力学特論 Advanced Structural Mechanics	1				1	
			建築塑性解析 Plastic Analysis of Building Structures	1				1	
		構造系 Structure and Production	建築振動学 Structural Dynamics	1				1	
			小計 Subtotal	6	0	0	0	0	6
		開設単位数 Total of Credits Offered		102	7	8	18	28	41
		修得可能単位数 Earnable Credit		91	7	8	18	28	30
授業外科目			学外実習 Extramural Practice	1(2)				1(2)	
			課題研究 Exercises on Engineering	1			1		
			特別講義 Special Lecture	1				1	
			小計 Subtotal	3(4)					

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



## 常勤教員 Educational Personnel

職名 Title	氏名 Name	生年度 YOB	担当教科目 Subjects	専門分野 Research Fields
教授 Professor (博士 (人間環境学))	北岡 敏郎 KITAOKA, Toshiro	1951	建築計画, 建築デザイン Architectural Planning, Architectural Design	建築計画学 Architectural Planning
教授 Professor (博士 (情報工学))	鳶 敏和 TOBI, Toshikazu	1951	建築環境工学, 建築設備 Architectural Environmental Engineering, Building Equipment	建築環境工学 Architectural Environmental Engineering
教授 Professor (博士 (工学))	上原 修一 UEHARA, Shuichi	1955	鉄筋コンクリート構造 Reinforced Concrete Structures	建築構造学 Structural Engineering
教授 Professor (工学博士)	松岡 高弘 MATSUOKA, Takahiro	1960	建築史 (日本・西洋), 建築設計演習 History of Architecture (Japan, Europe), Architectural Design and Drawing	建築史学 History of Architecture
准教授 Associate Professor (博士 (工学))	小野 聡子 ONO, Satoko	1966	構造力学, 建築振動学 Structural Mechanics, Structural Dynamics	建築力学 Structural Mechanics
准教授 Associate Professor (博士 (工学))	鎌田 誠史 KAMATA, Seishi	1972	建築計画, 建築設計演習 Architectural Planning, Architectural Design and Drawing	建築計画学 Architectural Planning
准教授 Associate Professor (博士 (工学))	加藤 浩司 KATO, Koji	1973	都市計画, 建築設計演習 City Planning, Architectural Design and Drawing	都市計画学 City Planning
准教授 Associate Professor (博士 (工学))	岩下 勉 IWASHITA, Tsutomu	1975	鋼構造, 材料力学 Steel Structures, Strength of Materials	建築構造学 Structural Engineering
准教授 Associate Professor (博士 (工学))	下田 誠也 SHIMODA, Seiya	1976	建築材料, 建築材料実験 Building Materials, Architectural Material Experiment	建築材料学 Building Material
助教 Assistant Professor (博士 (工学))	岡本 則子 OKAMOTO, Noriko	1976	建築環境工学, 建築設計演習 Architectural Environmental Engineering, Architectural Design and Drawing	建築環境工学 Architectural Environmental Engineering

## 非常勤教員 Part-time Instructors

氏名 Name	担当教科目 Subjects	備考 Notes
池田 美和 IKEDA, Yoshikazu	建築生産 Building Production	(株)竹中工務店九州支店 TAKENAKA CORPORATION, Kyushu Branch Office
中野 博 NAKANO, Hiroshi	建築測量 Surveying for Building Construction	中野土地家屋調査士事務所 所長 President, NAKANO Land and House Surveyor Office
未定	建築法規 Building Code	
内記 英文 NAIKI, Hidefumi	建築設計演習 Architectural Design and Drawing	内記英文建築設計室 代表 Officer, NAIKI Architectural Design Room
廣瀬 正人 HIROSE, Masato	建築設計演習 Architectural Design and Drawing	廣瀬建築研究所 代表 Officer, Hirose Architect Workshop
加治屋 理愛 KAJIYA, Yoshie	造形 Basic Design	明光学園中学校・高等学校 美術講師 Meiko Gakuen Junior & Senior High School
北村 惇 KITAMURA, Atsushi	建築生産システム工学 Building Materials and Production Management Systems Engineering	元 清水建設(株) Former SHIMIZU Construction



## 主な実験・実習設備 Educational and Research Equipment

室名	主な設備
材料実験室	ボール盤、乾燥機、ウルトラソニースコープ、工作台、各種作業工具
製図室	製図台（平行定規）
木工室	万能丸鋸盤、測量機器
構造実験室	アムスラー型万能試験機（2000kN, 300kN）、500kN構造物試験機、疲労試験機（200kN, 50kN）、油圧サーボ式材料試験機、電磁型振動台、光弾性実験装置、電気抵抗ひずみ計、各種記録器、輝度計、照度計、騒音計、高速度レベル記録機、日射計
CAD 室	コンピュータ、プリンタ、プロッタ、プロジェクタ
設計演習室	石膏像、ビデオ装置、スライド映写機、製図台（平行定規）
コンクリート実験室	電気溶接機、ガス溶断機、切断機、可搬傾胴型ミキサー
マルチメディア室	サーバ、コンピュータ、プリンタ、プロジェクタ

## 修学・進路選択に係る支援 Support of Study and Career Choice

就職は学科長，進学は5年担任が主に担当します。4年生の12月から学科内面接やSPI試験を行います。4年生が卒業生の仕事等の話を聞く機会や，3・4年生が5年生の就職・進学の取組等の話を聞く機会を設けています。

## 卒業生の主な就職先（最近5年間） List of Principal Employment

(株)あい設計，上村建設(株)，(株)縁，(株)NTT ファシリティーズ九州，(株)大林組，鹿島クレス(株)，九州大学施設部，九州旅客鉄道(株)，九鉄工業(株)，(株)鴻池組，五洋建設(株)，三機工業(株)，清水建設(株)，新菱冷熱工業(株)，住友不動産(株)，(株)総合設備コンサルタント，ダイダン(株)，大和ハウス工業(株)，高砂熱学工業(株)，(株)竹中工務店，(株)TAK-QS，東レ建設(株)，戸田建設(株)，西松建設(株)，日本オーチス・エレベータ(株)，(有)福井構造設計，(有)福岡構造，(株)フジタ，松尾建設(株)，(株)松尾設計，三菱化学エンジニアリング(株)，山本設備工業(株)。

※平成23年度卒業生の就職先は p57，進学先は p56。



▲建築設計演習  
Architectural Design and Drawing



▲建築設計演習  
Architectural Design and Drawing



▲コンクリート打設  
Concrete Casting



▲材料実験  
Experiment of Building Materials





## 専攻科

## Advanced Engineering Course

専攻科では、高専の卒業生を主な対象として2年間の工業教育を行い、21世紀の高度科学技術時代、高度情報化時代を担い得る創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目指しています。本校では機械工学、電気工学および電子・情報工学が密接に関与する「生産情報システム工学専攻」、物質工学と生物工学に関する「応用物質工学専攻」及び「建築学専攻」の3コースを設けています。

本専攻科の修了時には大学評価・学位授与機構の認定を得て、学士「工学」の学位を取得できます。

Our Advanced Engineering Course aims to nurture, through our two-year engineering education of graduates mainly from colleges of technology, highly educated practical professional engineers full of creativity, multiplicity, interdiscipline and internationalism who have the ability of playing the leading role in the age of the 21st century of highly advanced science, technology and information. Our Course has three courses: Advanced Production and Information Systems Engineering Course, closely related to mechanical engineering, electrical engineering, and electronics and information engineering; Advanced Chemical Science and Engineering Course, closely related to chemical science and engineering, and biological engineering; Advanced Architecture Course.

Students who have passed through our Course are at the same time able to receive a bachelor's degree in engineering from the National Institution for Academic Degrees

## アドミッションポリシー(求める学生像) Admission Policy

有明高専専攻科は、豊かな教養と幅広い専門知識、学際的・複合的視野と論理観、創造性と実践力を身につけた、ものづくりのための技術者を育成することを目指しています。そのため、本専攻科では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 工学の基礎を実践的に修得した人
- 2) 自ら課題を探究し、創造的な解決能力を身につけたいと考えている人
- 3) 工学のさまざまな分野に興味を持ち、学際的な領域についても勉強する意欲のある人
- 4) 技術を通じて、社会に貢献したいと考えている人

なお、実社会で活躍しながらキャリアアップしたいと考えている人なども歓迎します。

Ariake National College of Technology Advanced Engineering Course aims to develop ingenious and practical engineers who are able to manufacture quality products, taking advantage of their high culture and extensive expertise supported by interdisciplinary and manifold visions. The students who enter our advanced engineering course are expected:

- 1) to have mastered basic engineering practically
- 2) to be interested in learning how to work out new solutions to the problems they have found
- 3) to be interested in diverse engineering disciplines and motivated to study interdisciplinary academic areas
- 4) to be determined to contribute to society through technology

We also welcome working adult students who are planning to expand their academic and professional backgrounds.



▲共通科目の授業風景  
Applied Analysis Class



▲合同特別実験  
Advanced Experiments Combination



## 生産情報システム工学専攻

## Advanced Production and Information Systems Engineering Course

現代の工業生産において相互に強く関連し合う機械工学、電気工学、電子情報工学の3分野からなる複合された専攻です。情報化された生産システムを主テーマに学生各人の明確な学習目的のもとに、必要な学識と共同研究や実験により幅広い創造力を養成し、学際的、総合的な課題解決能力を有する技術者の育成を目指しています。

The aim of this course is to foster an understanding of basic subjects and research approaches in the field of mechanical engineering, electrical engineering and electronics and information engineering, thereby enhancing the research capability of students in these fields that are closely related to each other in recent technology. This course also aims to provide an opportunity for students to understand the interdisciplinary implication of their research, by experimental studies and interdisciplinary collaborations with universities and companies.

### アドミッションポリシー(求める学生像) Admission Policy

生産情報システム工学専攻では、本科5年間で修得した各々の専門分野をさらに深く勉強します。それに加えて、広く工学分野一般についても見識を深め、複眼的な見方のできる技術者を目指します。そのため、本専攻では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 機械・電気・情報いずれかの専門分野をすでに修め、さらに深く専門分野を勉強する意欲のある人
- 2) 工学の広い分野に興味があり、学際的な領域についても勉強する意欲のある人
- 3) 与えられたテーマの中で、自分の研究を自ら計画し実践していく意欲のある人

In this advanced engineering course, you aim to further pursue the academic fields you have already studied in the five-year regular course. In addition, with a view to broadening your horizon, you should have a deeper understanding of technical engineering in general. The students who enter this advanced engineering course are expected:

- 1) to be motivated to explore their own disciplines after having studied one of the following three fields : mechanical engineering, electrical engineering and electronics and information engineering
- 2) to be interested in studying various fields of engineering and interdisciplinary academic areas as well
- 3) to be motivated to independently plan and pursue their projects within their academic scope, to be willing to make efforts to acquire real-world knowledge

### 教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 高度科学技術社会、国際的なエネルギー問題、環境問題に対応できる論理的思考能力と解決能力を備えた実践的技術者の育成
- (2) 準学士課程での機械、電気、情報工学の基礎的な知識と技術を基に、より高度に融合された機械・電気・情報分野の幅広い専門科目を修得した学際性を備えた実践的技術者の育成
- (3) 高い倫理観を持ち、幅広い視野と国際性を備えた実践的技術者の育成
- (1) To develop practical engineers equipped with critical thinking skills that they can apply to high technology, global energy problems and environmental problems.
- (2) To develop practical engineers with interdisciplinary knowledge who studied technical subjects in the fields of mechanical, electrical and information engineering, based on fundamental knowledge in these fields in a five-year regular course.
- (3) To develop practical engineers equipped with high professional ethics, a wide view, and international mind.

### 修学・進路選択に係る支援 Support of Study and Career Choice

各系に関わる学科長と特別研究指導教員が支援し、特に大学院進学に関しては、申し込みのあった各大学院の説明会を全て本校で開催し支援しています。

### 修了生の主な進路 Employment or Academic Position of Graduates

(株)RKK コンピューターサービス, NEC マイクロシステム(株), (株)NTT PC コミュニケーションズ, オムロン阿蘇(株), 関東化学(株), キャノンシステムアンドサポート(株), 協和機工(株), 航空自衛隊, (株)コマツ, JFE スチール(株)西日本, シャープ(株), (株)SUMCO, (株)ソニー・コンピュータエンタテインメント, ソニーセミコンダクタ九州(株), ダイハツ工業(株), 日本 IBM(株), トヨタ自動車九州(株), (株)ニコン, 日本鋳鍛鋼(株), (株)荏原九州, 富士ダイス(株), 村田機械(株), (株)明電舎, (株)安川電機, ユニバーサル造船(株), リコーテクノシステムズ(株).

九州大学大学院, 九州工業大学大学院, 熊本大学大学院, 大阪大学大学院, 東北大学大学院, 奈良先端科学技術大学院大学, 北九州市立大学大学院.

※平成23年度修了生の就職先は p57, 進学先は p56.



## 応用物質工学専攻 Advanced Chemical Science and Engineering Course

本専攻科では、5年間の教育課程で習得した基礎学力を基盤として、化学技術やバイオ関連技術の進展に対応しうる高度な知識と技術を有する技術者を育成します。また、学際領域にわたる幅広い専門的知識を有し、高い独創力や解析力をもつ科学技術者の人材育成を目指します。

In this advanced course, based on the fundamental knowledge received in the five-year curriculum, students are going to study on highly advanced knowledge and expertise sufficient to deal with the progress of chemical technology and biotechnology. This course also aims to educate students to be chemical engineers of highly creative and analytic abilities with a wide range of interdisciplinary knowledge.

### アドミッションポリシー(求める学生像) Admission Policy

応用物質工学専攻では、高専本科5年間の教育課程で修得した基礎学力を基盤として、化学技術やバイオ関連技術の進展に対応しうる高度な知識と技術を有する技術者の養成を目指しています。そのため、本専攻では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 化学や生物などの自然科学について基本の知識をもち、それを身近な問題に応用できる人
- 2) 学際領域にわたる幅広い専門的知識を修得し、高い独創力や解析能力を身につける意欲のある人
- 3) グローバルな視点で物事を考えることができ、倫理観のある人

In this advanced course based on the fundamental knowledge acquired in the five-year regular course, you aim to be engineers with knowledge and skills highly developed to keep up with the progress of chemical technology and biotechnology. The students who enter this advanced engineering course are expected:

- 1) to be equipped with basic knowledge of natural science including chemistry and biology, and be able to apply it to phenomena in daily life
- 2) to be motivated to acquire extensive expertise of interdisciplinary fields, ingenuity and analytic ability
- 3) to be equipped with global visions and a high ethical sense

### 教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 化学技術やバイオテクノロジーの進展に対応しうる知識と技術をもち、これを化成品、材料、食品、医薬品などの開発、製造などに展開する能力を有する実践的技術者の育成
- (2) 基礎的・専門的学力と学際領域にわたる幅広い知識を活用して、環境に配慮したものづくりができる実践的技術者の育成
- (3) 工業生産活動におけるニーズとシーズを的確に捉える能力を持ち、国際性を備えた実践的技術者の育成

- (1) To develop practical and innovative engineers with knowledge and skills in chemical engineering and biotechnology to be applied to development and production of chemical, materials, foods and medicine.
- (2) To develop practical engineers who can produce goods conserving the natural environment, using basic and technical expertise and a wide range of interdisciplinary knowledge.
- (3) To develop practical engineers with international mind and the ability to adequately grasp market needs and technical "seeds" in industrial production activities.

### 修学・進路選択に係る支援 Support of Study and Career Choice

学科長と特別研究指導教員が支援し、特に大学院進学に関しては、申し込みのあった各大学院の説明会を全て本校で開催し支援しています。

### 修了生の主な進路 Employment or Academic Position of Graduates

旭化成(株)、(株)九検、九州化学工業(株)、三西開発(株)、サントリーホールディングス(株)、昭栄化学工業(株)、田中貴金属工業(株)、中外テクノビジネス(株)、(株)東洋新薬日立化成工業(株)、ニシヨリ(株)、日東電工(株)、ヤマハ発動機(株)。

九州大学大学院、九州東海大学大学院。

※平成23年度修了生の就職先は p57、進学先は p56。





## 建築学専攻

## Advanced Architecture Course

高専の5年間の課程で習得した実践的技術力を基礎に、高度な専門性や優れた創造性に加えて幅広い工学知識をもった建築技術者の育成を目指しています。すなわち 1) 計画・環境系あるいは構造・生産系のいずれかの領域に重点をおいた高度な実践的技術を教授し、2) 研究活動を中心に設計コンペ応募や企業研修等を通して論理的思考能力や実践的技術センスを育成するとともに、3) 学際領域の専門知識を習得させます。

The curriculum provides the students either of planning and environment of architecture or of structural engineering and production of architecture with the subjects on advanced practical technology based on the basic knowledge acquired during the regular five-year course of Kosen. It also provides the opportunities for obtaining wide interdisciplinary knowledge in advanced class, for training their ability to think logically and for obtaining practical knowledge of technology by means of researches, entry for design competitions, and training at companies, so that the students may be able engineers with wide interdisciplinary and much expert knowledge, and ability to create.

### アドミッションポリシー(求める学生像) Admission Policy

建築学専攻では、本科で修得した一般および専門の基礎学力を土台として、創造性に富み、かつ実践的技術力の高い建築技術者の育成を目指しています。そのため、本専攻では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 豊かな生活空間の創造に意欲的に取り組める人
- 2) 建築の計画・構造・設備などの基礎的知識を習得している人
- 3) 学際的な幅広い専門知識と設計演習や実験・実習を通じた実践的技術を修得したいと考えている人

In this advanced course, based on the general and discipline-specific knowledge acquired during the five-year regular course, you aim to be architectural engineers with high creativity and practical skills. The students who enter this advanced course are expected:

- 1) to be motivated to create superior and comfortable living space
- 2) to have acquired basic knowledge of planning, structure and facilities in architecture
- 3) to be interested in acquiring extensive interdisciplinary expertise and skills through design exercises, experiments and laboratory studies

### 教育上の目的 Educational Purposes

- (1) 計画・環境系あるいは構造・生産系のいずれかに重点を置いた高度な実践的技術を有する人材の育成
- (2) 建築界における諸問題を捉え、解決に導くための論理的思考能力や実践的技術センスを有する人材の育成
- (3) 建築分野のみならず、建築分野以外の領域にまたがる課題に対しても対応できる資質を有する人材の育成

- (1) To develop persons who have highly developed practical skills focusing on either planning / environment or structure / production.
- (2) To develop persons who have critical thinking and the practical skills necessary to understand and solve diverse problems in architectural fields.
- (3) To develop persons who have qualities to deal with issues within architecture and its related fields.

### 修学・進路選択に係る支援 Support of Study and Career Choice

学科長と特別研究指導教員が支援し、特に大学院進学に関しては、申し込みのあった各大学院の説明会を全て本校で開催し支援しています。

### 修了生の主な進路 Employment or Academic Position of Graduates

映像システム(株)、(株)NTT ファシリティーズ、(株)大林組、(株)奥谷組、(株)セブティク建築研究所、大和ハウス工業(株)、(株)TAK-QS、高砂熱学工業(株)、(株)西日本建設。  
熊本大学大学院、千葉大学大学院、早稲田大学芸術学校都市デザイン科。  
※平成23年度修了生の就職先は p57, 進学先は p56.



## 専攻科教育課程

## Curriculum

## 一般科目(各専攻共通) General Education

授業科目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades				備考 Notes
				1年 1st		2年 2nd		
				前期	後期	前期	後期	
一般科目 General Subjects	必修 Required Subjects	英語講読Ⅰ Advanced English Reading I	2	2				
		英語講読Ⅱ Advanced English Reading II	2		2			
		技術者倫理 Engineering Ethics	2		2			
		必修科目修得単位数計 Total of Credits on Required Subjects	6	2	4			
	選択科目 Elective Subjects	日本語の表現技法 Advanced Writing and Speaking in Japanese	2				2	
		英語コミュニケーション English Communication	2			2		
		科学技術英語 Technical and Scientific English	2	2				
		地域特性と人間生活 Regional Features and Human Life	2			2		
		地球環境と人間 The Environment of the Earth and Human	2		2			
		選択科目開設単位数計 Total of Credits on Elective Subjects	10	2	2	4	2	
一般科目開設単位数計 Total of Credits Offered on General Subjects		16	4	6	4	2		
専門基礎科目 Basic Subjects for Engineering	選択科目 Elective Subjects	応用解析Ⅰ Applied Analysis I	2	2				
		応用解析Ⅱ Applied Analysis II	2	2				
		応用数理Ⅰ Applied Mathematics I	2		2			
		応用数理Ⅱ Applied Mathematics II	2			2		
		現代物理 Modern Physics	2		2			
		現代化学 Modern Chemistry	2	2				
		環境科学 Environmental Science	2			2		
		専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered on Basic Subjects for Engineering	14	6	4	4		
	一般科目及び専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered		30	10	10	8	2	

## 専門科目(生産情報システム工学専攻) Advanced Production and Information Systems Engineering Course

授業科目 Subjects		単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades				備考 Notes	
			1 年 1st		2 年 2nd			
			前期	後期	前期	後期		
Required Subjects 必修科目	生産情報システム特別研究 Thesis Research	12	3	3	3	3		
	生産情報システム技術英語 Advanced English for Engineers	2	2					
	合同特別実験 Advanced Experiments Combination	1	1					
	生産情報システム特別実験 Advanced Experiments	1		1				
	基礎設計特別演習 Advanced Exercise for Design Fundamentals	2	1	1				
	創造設計特別演習 Advanced Exercise for Creative Designing	2			2			
	創造設計合同演習 Practice of Creative Design in Interdisciplinary Teams	2		2				
	特別実習Ⅰ Advanced Extramural Practice I	2	2					
	必修科目修得単位数計 Total of Credits on Required Subjects	24	9	7	5	3		
	Basic Subjects 基礎工学	工業基礎力学 Dynamics and Design	2		2			E, I 系に開講
材料科学 Materials Science		2				2	M, I 系に開講	
実用情報処理 Advanced Computer Literacy		2	2				M, E 系に開講	
設備設計 Design of Air-Conditioning		2			2			
環境調整学 Environment Control Engineering		2			2			
環境工学 Environmental Engineering		2			2			
機械システム要素 Mechanical Systems Elements		2	2				E, I 系に開講	
メカトロニクス概論 Introduction to Mechatronics		2		2			E, I 系に開講	
熱力学概論 Introduction to Thermo Dynamics		2			2		I 系に開講	
電気機器概論 Introduction to Electric Machinery		2			2		M, I 系に開講	
Interdisciplinary Subjects 複合的・学際的資質育成	情報システム Information System	2	2				M, E 系に開講	
	情報ネットワーク概論 Introduction to Information Networks	2				2	M, E 系に開講	
	材料工学概論 Introduction to Materials Engineering	2				2		
	分子生物学 Molecular Biology	2				2		
	建築生産システム工学 Building Materials and Production Management Systems Engineering	2			2			
	ユニバーサルデザイン Universal Design	2				2		
	地域協働特論 Topics in Community Collaboration	1		1			これらの科目の単位数は、※の欄の学年別配当には含まれていない	
	地域協働演習Ⅰ Exercise in Community Collaboration I	1		1				
	地域協働演習Ⅱ Exercise in Community Collaboration II	1		1				
	特別実習Ⅱ Advanced Extramural Practice II	1~4		1~4				
Technical Subjects 専門科目	Discipline Specific Subjects 深い専門性	エネルギー変換工学 Energy Conversion Engineering	2		2			
		応用流体工学 Applied Fluid Engineering	2		2			
		精密加工工学 Engineering of Precision Manufacturing	2	2				
		塑性加工工学 Theory of Plastic Working	2			2		
		自動生産システム Automatic Production Systems	2				2	
		機械システム制御 Mechanical System Control	2	2				
		デジタル制御 Digital Control	2			2		
		パルスパワー工学 Pulsed Power Engineering	2				2	
		機能デバイス工学 Functional Devices	2			2		
		画像処理工学 Image Processing	2			2		
	パワーエレクトロニクス特論 Advanced Power Electronics	2	2					
	応用電子回路工学 Applied Electronic Circuits	2				2		
	電子物性工学 Material Science for Electronics	2	2					
	システム情報モデル Modeling for Information Processes	2		2				
	デジタル回路設計 Digital Systems Design	2			2			
	アルゴリズム論 Advanced Course of Algorithms	2	2					
	ソフトウェア開発管理論 Advanced Software Engineering	2			2			
	応用情報工学 Advanced Information Engineering	2			2			
	光応用工学 Applied Optics	2		2				
	情報通信工学 Information Network Engineering	2				2		
	選択科目開設単位数計 Total of Credits on Elective Subjects	76~79	16	12	26	18	※	
	専門科目開設単位数計 Total of Credits Offered on Technical Subjects		100~103	25	19	31	21	※
	一般科目及び専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered on General Subjects		30	10	10	8	2	
	開設単位数総計 Total of Credits Offered		130~133	35	29	39	23	※
	修得単位数総計 Total of Credits Required		62 以上					



## 専門科目(応用物質工学専攻) Advanced Chemical Science and Engineering Course

授業科目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades				備考 Notes
				1年 1st		2年 2nd		
				前期	後期	前期	後期	
専門科目 Technical Subjects	必修科目 Required Subjects	応用物質工学特別研究 Thesis Research	12	3	3	3	3	
		応用物質工学技術英語 Advanced English for Engineers	2	2				
		合同特別実験 Advanced Experiments Combination	1	1				
		応用物質工学特別実験Ⅰ Advanced Exercises I	1	1				
		応用物質工学特別実験Ⅱ Advanced Exercises II	1			1		
		創造設計合同演習 Practice of Creative Design in Interdisciplinary Teams	2		2			
		応用物質工学特別演習 Advanced Exercise for Creative Designing	2	1	1			
		特別実習Ⅰ Advanced Extramural Practice I	2	2				
	必修科目修得単位数計 Total of Credits on Required Subjects		23	10	6	4	3	
	基礎工学 Basic Subjects	工業基礎力学 Dynamics and Design	2		2			
		材料科学 Materials Science	2				2	
		実用情報処理 Advanced Computer Literacy	2	2				
		設備設計 Design of Air-Conditioning	2			2		
		環境調整学 Environment Control Engineering	2			2		
		環境工学 Environmental Engineering	2			2		
		機械システム要素 Mechanical Systems Elements	2	2				
		熱力学概論 Introduction to Thermo Dynamics	2			2		
		電気電子工学概論 Introduction to Electrical and Electronic Engineering	2		2			
		情報システム Information System	2	2				
	複合的・学際的 資質育成 Interdisciplinary Subjects	情報ネットワーク概論 Introduction to Information Networks	2				2	
		分子生物学 Molecular Biology	2				2	
		建築生産システム工学 Building Materials and Production Management Systems Engineering	2			2		
		ユニバーサルデザイン Universal Design	2				2	
		地域協働特論 Topics in Community Collaboration	1			1		これらの科目の単位数は、※の欄の学年別配当には含まれていない
		地域協働演習Ⅰ Exercise in Community Collaboration I	1			1		
		地域協働演習Ⅱ Exercise in Community Collaboration II	1			1		
		特別実習Ⅱ Advanced Extramural Practice II	1~4			1~4		
	深い専門性 Discipline Specific Subjects	応用物理化学 Applied Physical Chemistry	2	2				
		無機構造化学 Structures in Inorganic Chemistry	2			2		
		有機合成化学 Synthetic Organic Chemistry	2	2				
		応用分析化学 Applied Analytical Chemistry	2		2			
		無機材料化学 Inorganic Material Chemistry	2			2		
		応用化学工学 Applied Chemical Engineering	2			2		
		遺伝子工学 Genetic Engineering	2				2	
		環境生物工学 Environmental Bioengineering	2				2	
		選択科目開設単位数計 Total of Credits on Elective Subjects		48~51	10	6	16	12
専門科目開設単位数計 Total of Credits Offered on Technical Subjects		71~74	20	12	20	15	※	
一般科目及び専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered on General Subjects		30	10	10	8	2		
開設単位数総計 Total of Credits Offered		101~104	29	23	28	17	※	
修得単位数総計 Total of Credits Required		62以上						

これらの科目の単位数は、※の欄の学年別配当には含まれていない

## 専門科目(建築学専攻) Advanced Architecture Course

授業科目 Subjects		単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades				備考 Notes	
			1年 1st		2年 2nd			
			前期	後期	前期	後期		
専門科目 Technical Subjects	Required Subjects 必修科目	建築学特別研究 Thesis Research	12	3	3	3	3	
		建築学技術英語 Advanced English for Engineers	2	2				
		合同特別実験 Advanced Experiments Combination	1	1				
		建築設計特別演習Ⅰ Advanced Architectural Design and Drawing I	2	2				
		建築設計特別演習Ⅱ Advanced Architectural Design and Drawing II	2		2			
		創造設計合同演習 Practice of Creative Design in Interdisciplinary Teams	2		2			
		特別実習Ⅰ Advanced Extramural Practice I	2	2				
		必修科目修得単位数計 Total of Credits on Required Subjects	23	10	5	5	3	
	Basic Subjects 基礎工学	材料科学 Materials Science	2				2	
		実用情報処理 Advanced Computer Literacy	2	2				
		環境調整学 Environment Control Engineering	2			2		
		環境工学 Environmental Engineering	2			2		
		機械システム要素 Mechanical Systems Elements	2	2				
		熱力学概論 Introduction to Thermo Dynamics	2			2		
		電気電子工学概論 Introduction to Electrical and Electronic Engineering	2		2			
		情報システム Information System	2	2				
		情報ネットワーク概論 Introduction to Information Networks	2				2	
		材料工学概論 Introduction to Materials Engineering	2				2	
	Interdisciplinary Subjects 複合的・学際的資質育成	分子生物学 Molecular Biology	2				2	
		建築生産システム工学 Building Materials and Production Management Systems Engineering	2			2		
		ユニバーサルデザイン Universal Design	2				2	
		地域協働特論 Topics in Community Collaboration	1		1			これらの科目の単位数は、※の欄の学年別配当には含まれていない
		地域協働演習Ⅰ Exercise in Community Collaboration I	1		1			
		地域協働演習Ⅱ Exercise in Community Collaboration II	1		1			
		特別実習Ⅱ Advanced Extramural Practice II	1~4		1~4			
		建築防災システム工学 Disaster Prevention Systems Engineering	2		2			
		居住地計画論 Planning of Community Housing	2	2				
		Discipline Specific Subjects 深い専門性	都市・空間デザイン論 Urban and Space Design	2		2		
	景観設計論 Landscape Design		2			2		
	近代化建築史論 History of Japanese Modernization Period Monuments		2			2		
	建築保存再生論 Preservation and Reproduction Historic Buildings		2				2	
	構造解析学 Structural Analysis		2	2				
	鉄筋コンクリート構造耐震設計論 Seismic Design of Reinforced Concrete Structures		2		2			
	鋼構造設計論 Design of Steel Structures		2			2		
	建築構造設計論 Structural Article for Architecture		2			2		
	選択科目開設単位数計 Total of Credits on Elective Subjects		50~53	10	8	16	12	※
	専門科目開設単位数計 Total of Credits Offered on Technical Subjects		73~76	20	13	21	15	※
	一般科目及び専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered on General Subjects		30	10	10	8	2	
	開設単位数総計 Total of Credits Offered		103~106	30	26	29	17	※
	修得単位数総計 Total of Credits Required	62以上						

これらの科目の単位数は、※の欄の学年別配当には含まれていない





## 「複合生産システム工学」プログラム Production System Engineering Program

本校では平成13年度に専攻科が設置されたことに伴い、「幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性・多様性・学際性・国際性に富む実践的な高度技術者の育成をめざす」という教育理念を踏まえ、本科4年次から専攻科2年次までの4年間の学習・教育に対して、技術者教育プログラムとして「複合生産システム工学」プログラムを設け、社会のさまざまな要請にこたえられる技術者教育を行っています。

本校では平成16年度に本プログラムのJABEE<sup>※1)</sup> 認定審査を受け、社会の要求水準を満たしているプログラムとして認定されました。

Along with the establishment of the Advanced Engineering Course in 2001, Production System Engineering Program has been launched as an engineering education program for our four-year education for the upper grade students of the regular course and advanced course students. This program, with the aim of providing distinguished engineers who meet the diverse needs of society, is designed in harmony with our regular course education principle that our students should be educated to be technological engineers characterized by creativity, diversification, interdisciplinarity and internationality, on the basis of extensive knowledge of basic technology as well as high culture.

In 2004, our program had been examined for accreditation by JABEE<sup>※1)</sup> and accredited as the program which reaches the levels expected by society.

### ※1) JABEEとは

JABEEとは日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering Education）の略称です。これは1999年に設立され、技術系学協会と密接に連携しながら技術者教育プログラムの審査・認定を行う非政府団体です。

JABEE認定制度とは大学・高専など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかを外部機関が公平に評価し、要求水準を満たしている教育プログラムを認定する制度で、わが国の技術者教育の国際的な同等性を確保することを目的としています。すなわち教育プログラムの質が満足すべきレベルにあることと、またその教育成果が技術者として活動するために必要な最低限度の知識や能力の養成に成功していることが認定されることになります。

### ※1) About JABEE

Established in 1999, the Japan Accreditation Board for Engineering Education (JABEE) is a nongovernmental organization that examines and accredits programs in engineering education in close cooperation with engineering associations and societies. In their accreditation system, an outside organization can fairly evaluate whether programs in engineering education conducted by institutions of higher education such as universities reach the levels expected by society and accredit those programs that reach such levels, ensuring the international equivalency of engineering education programs in Japan. The accreditation by JABEE certifies the quality of the program accredited has a satisfactory level and has successfully provided the students with enough knowledge and capacities to work as professional engineers.



▲ 特別研究（応用物質工学専攻）  
Thesis Research



▲ 設計演習（建築学専攻）  
Design and Drawing



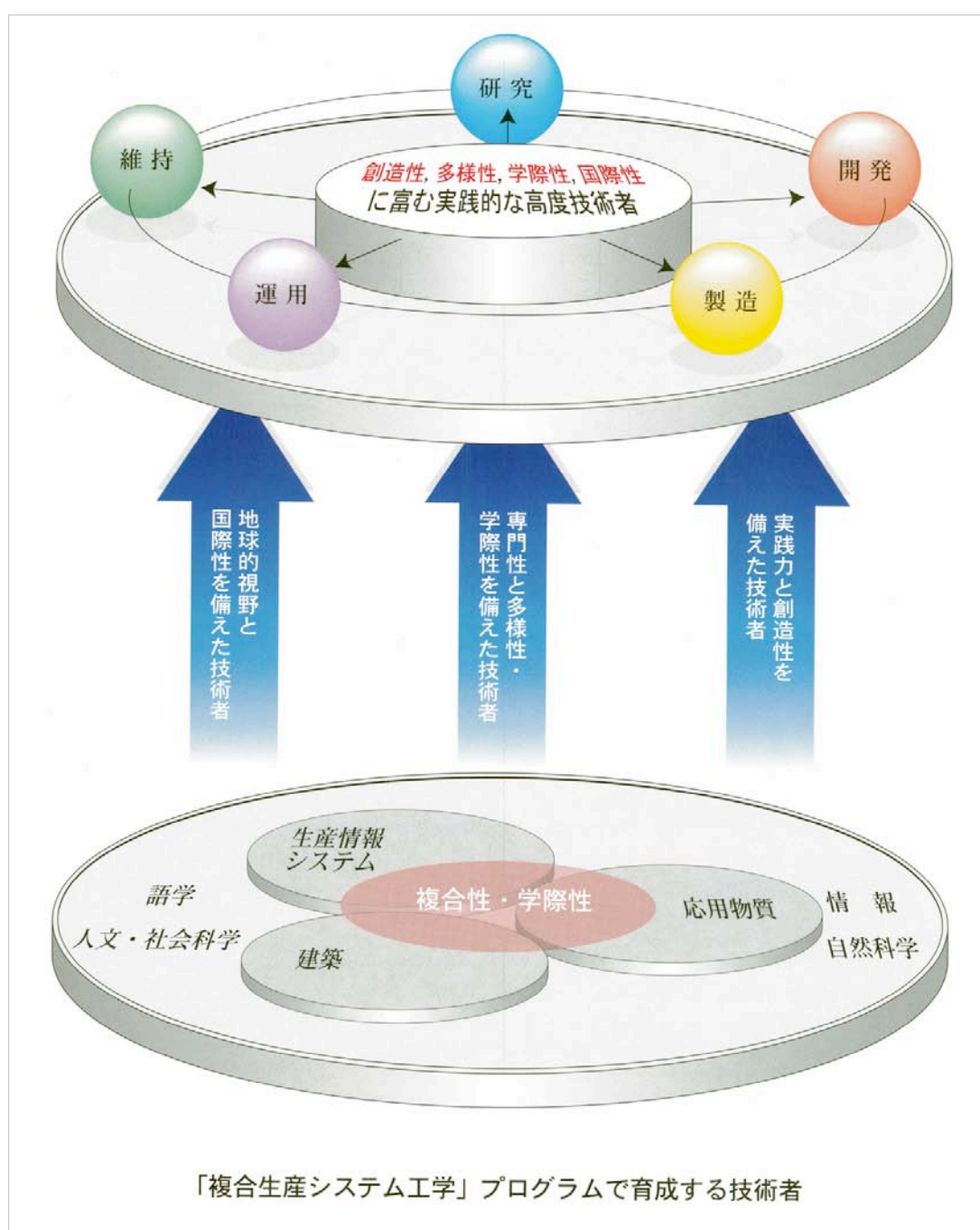
## 本プログラムで育成する技術者像 The Image of Engineers to Be Developed

本プログラムでは、工業生産活動（機械、電気、電子・情報、物質、建築）における諸課題を自ら発掘し、多角的な視点から解決するため、ものづくりに重点をおき、工学の専門知識と学際的知識を総合した判断力と問題解決能力を備えた技術者の育成を目指しています。さらにはこれらの教育を通じて、人々に優しく、自然と共存できる技術の開発に携わり、環境問題・食糧問題・エネルギー問題など今日的な諸課題について柔軟に対応できる技術者を育成することを目的としています。

本プログラムを修了することで、前記の学習・教育目標を達成することができます。

This program aims to develop practical engineers in industrial production activities, including in mechanical, electrical, electronic and information, chemical science, and architectural engineering. They should be able to find out issues in their own fields and address them from multiple visions, with an emphasis on design and manufacturing. They should also be equipped with a good sense to synthesize discipline-specific knowledge and interdisciplinary knowledge. Another aim of the program is to foster engineers who are ready to be involved in developing technology friendly both to humans and the environment, and flexibly deal with the current problems of the environment, food supply and energy.

By completing this program, the (previous) educational goals will be reached.





## 図書館（マルチメディアセンター図書情報管理部）

## Library

図書館には、現在（平成24年3月末）56,236冊の図書が収蔵されています。閲覧室は、学習閲覧室と研究閲覧室に分けられ、それぞれ様々な分野の学習や調査・研究に必要な図書や専門雑誌、その他の資料を配置しています。図書や専門雑誌の他に、利用者は一般雑誌や新聞、DVD、その他の授業に関連した資料を利用できます。

図書館は、夜間（夜8時まで）および土曜日（午前10時から午後4時まで）も開館し、学生や教職員の学習や調査・研究を支援しています。また、一般市民にも開放され、資料の閲覧だけでなく、貸出も行っています。

図書館には、視聴覚室やセミナー室が設備されている他、1階ロビーには、美術ギャラリーが開設され、地元画家の絵画など約30点展示しています。

The Library now contains as many as 56,236 volumes. On the second floor are an independent study hall and a reading room for study and research, each section houses books, journals and other materials needed for research and investigation in various subjects. In addition to books and journals, the students will find magazines, newspapers, DVDs and other aids related to class assignments.

The Library opens from 8:30 a.m. to 8 p.m. on weekdays, from 10 a.m. to 4 p.m. on Saturdays in order to support students and other visitors for their studies, investigation and research. The Library is also open to the people outside the college and they can borrow materials as well as read books.

An audio-visual facility and a seminar room are available. And a gallery was opened in the lobby on the first floor. About thirty paintings painted by local artists are exhibited.

## 蔵書構成 Collection of Books

分類 Classification		000	100	200	300	400	500	600	700	800	900	合計 Total
		総記 General Works	哲学 Philosophy	歴史 History	社会科学 Social Science	自然科学 Natural Science	工学 Engineering	産業 Industry	芸術 Arts	語学 Language	文学 Literature	
冊数 Number of books	洋書 Foreign	340	123	291	167	742	762	8	57	529	2,442	5,461
	和書 Japanese	4,860	1,523	4,569	3,856	7,772	14,932	311	1,972	1,681	9,299	50,775
	計 Total	5,200	1,646	4,860	4,023	8,514	15,694	319	2,029	2,210	11,741	56,236



▲美術ギャラリー  
Art Gallery



▲閲覧室  
Reading Room





## 情報処理センター（マルチメディアセンター情報化推進部） Information Processing Center

情報処理センター（マルチメディアセンター情報化推進部）は、本校のコンピュータリテラシを中心とした情報基礎教育の支援や情報通信技術を用いた一般教育科・専門学科・専攻科の教育研究の推進と、校内LANシステムの維持管理を行います。

教育用コンピュータ演習室には、ネットワークで管理されたコンピュータを備えています。これらは、コンピュータリテラシ・語学教育・情報処理教育などのコンピュータを利用した教育に利用されます。

校内LANシステムは、Gigabitの高速ネットワークで構築されており、教職員や学生の間での情報交換に盛んに利用されています。また、高速回線でインターネットへ接続されており、電子メールやWWW（World Wide Web）などのサービスも行っています。

The information processing center does the support of the education of the information basics, the promotion of the education and the research with information and communication technology, and the maintenance and the management of the campus LAN(Local Area Network) system.

In the computer room for the education, it is equipped with the computer which was managed by the network. These are used for the education which used the computer of the computer literacy, the language education and the information processing education and so on.

Campus LAN system is constructed on the high-speed network of Gigabit Ethernet and is used for the communication between the staff and the student. The campus LAN is connected to the Internet with the high-speed line and provides the service of the E-mail and WWW(World Wide Web) and so on.

### 校内 LAN 機器

装 置 名	型 名
センタースイッチ	Cisco Catalyst3750
フロントスイッチ	Cisco Catalyst2960G
エッジスイッチ	Cisco Catalyst2960G Cisco Catalyst3512 Cisco Catalyst3524 Cisco Catalyst2950
サーバ類	DELL PowerEdge 他

### 教育用コンピュータ機器

装 置 名	型 名
クライアントPC	DELL OptiPlex
レーザープリンタ	Xerox DocuPrint
液晶プロジェクタ	CASIO XJ-450
ネットワークカメラ	Panasonic BB-HCM511



▲演習室での英語の授業

Education of English at the Personal Computer Room



▲演習室での情報処理の授業

Education for Computer Literacy  
at the Personal Computer Room



## 地域共同テクノセンター

## Regional Collaboration Center

地域共同テクノセンターは、高専におけるものづくり基盤技術の教育・研究・開発機能を高めて、中小企業等を対象とした技術相談や共同研究機能等を強化し、地域における産学官連携・協力を通じて地域の活性化を図ることを目的としています。また、当センターでは、地域の子供達および社会人向けの公開講座も企画・運営しています。

The Regional Collaboration Center was founded for the purpose of activating the community through our college's active collaboration with local industries and local governments. It also aims at performing the functions of education, research, and development in basic technology for manufacturing products as well as holding consultations with small businesses in the areas concerning technological problems and conducting joint research.

Moreover, this center plans and manages extension lectures for area children and adults.



▲分科会  
Subcommittee

## 教育研究技術支援センター Technical Support Center for Education and Research

高専は、実践的技術者の育成という教育目標を掲げていますので、カリキュラムにはかなりの時間の実験・実習が組み込まれています。学生の実験・実習には技術職員の指導が不可欠であり、技術職員は本校教育の重要な役割を担っています。

近年、技術職員もさらなる技術の向上そして研究が求められるようになり、さらに他学科への支援も不可欠になることが見込まれ、教育研究技術支援センターが組織されました。

センターでは、技術職員の技術力の向上を図るため、外部での技術研修に積極的に参加すると共に、学内でも各班が輪番で技術研修会を計画実施しています。また教員と共同研究をする技術職員も増えつつあり、着実に技術力を向上させています。

Our college sets a goal of training the students to be practical engineers, and therefore, the curriculum asks them to spend a lot of time performing experiments and having practical training. The guidance by technical staff is indispensable to the students' experiments and practical exercises, so this plays a very important role in their education.

Nowadays, technical staff is asked to attain proficiency in their skills to perform researches themselves and to give technical assistance to the other departments. Under these circumstances the Technical Support Center for Education and Research has been organized.

In order to reach higher technological levels, the Center's technical staff attends many workshops outside the college. Some groups of them regularly discuss how to innovate their skills. More and more technical staff has come to perform joint research with the educational staff, thus their technical skills are steadily improving.



▲旋盤実習指導  
Laboratory work for using lathes



▲朝礼  
Morning Meeting





## 学生相談室

## Student Counseling Room

平成 11 年 4 月にスタートした学生相談室は、修己館に、愛称『七福神の部屋』として開室し、教員 4 名に、看護師、非常勤カウンセラー 2 名（臨床心理士）を加えた 7 名のスタッフで対応しています。

『いきいきと豊かな学生生活を送るために』をキャッチフレーズに、悩みや心配事などの相談に応じながら、自己の確立、社会性の育成を目標とし多彩な催しを織り込んだ活動を行っています。

Our counseling system for the students started in April, 1999, at the Student Counseling Room nick-named "Shichifukujin-no-heya"-the Room of the Seven Deities of Good Luck on the first floor of the Shuko-kan (Students' Hall), with the staff of four teachers, a nurse and two part-time counselors.

In order to realize the motto "For the Active and Fruitful Campus Life", we are all ready to listen to the students and share their worries and trouble, offering appropriate advice and suggestions. Moreover, we would like to function as a supporter for the students to establish themselves and learn how to maintain a harmonious relationship in the society.



▲相談室スタッフ  
Staff



▲学生相談室  
Counseling Room

## 進路支援室

## Career Support Office

平成 18 年に開設された進路支援室は、室長・学科長・学年主任・学生課長・学生支援係によって構成され、各種進路セミナーや進路適性テストなどの全学科を対象にした進路支援活動を企画し、実施します。このような活動を通して、低学年のうちから職業観の高揚を図り、学生のキャリア育成を支援していくことを目的としています。

1 年生の後半に実施するキャリアコンサルタントによる最初のセミナーを皮切りに、年を追うごとに、それぞれの年次に見合った進路セミナーや各種啓発活動を実施していきます。

Career Support Office (CSO) was established in 2006 in order to make plans and promote activities to help the students choose better future career. Our activities are expected to contribute to forming their view of career useful to them not only on graduation, but continue to be helpful even at later stages of life. As the initial event, career seminars are being planned.



▲ 1 年生に対する進路セミナー  
Career Seminar for 1st Year Students



▲進路情報コーナー  
Career Information Corner



## 修己館

## Shuko-Kan (Students' Hall)

昭和57年度に学生のための福利施設が建設され、昭和58年4月から使用しています。この福利施設は、延面積888㎡の一部2階建鉄筋コンクリート造で「修己館」と称しています。修己館には、1階に食堂、売店、保健室、カウンセリング室、学生相談室、2階に展示ホール、吹奏楽練習場、学生会室などを設けています。

The Shuko-Kan was built in April 1983 as welfare facility for the students. The two-story building with a floor space of 888m<sup>2</sup> includes a cafeteria, a health room, a counseling room, and a school store on the first floor. It also houses various students, service rooms on the second floor; an exhibition hall, a rehearsal room for the brass band club, and a room for the student council.



▲売店  
School Store



▲食堂  
Cafeteria

## 総合研究棟

## General Research Building

総合研究棟は、専攻科の拠点と地域連携のための共用実験室等からなる研究・教育のための施設で、平成15年3月に竣工しました。1階に展示場にも使えるロビー、地域共同テクノセンター事務室、大型機械を持ち込める総合研究室1、2階に専攻科講義室および総合研究室2、3階・4階に専攻科各分野の実験研究室、専攻科生の学習室、および電子情報工学科棟との連結部にリフレッシュコーナーがあります。

リフレッシュコーナーは共用施設でミニキッチン等も備え、学生が勉強の間にくつろぐ空間として利用されます。建物の構造は、地震に対してより強くするため、低降伏点鋼ダンパーを架構に装着し、3・4階は吊り構造にするなどの工夫をしています。また、地中の冷熱利用と太陽光発電装置を備え、室内空調の動力の一部を補っています。

The General Research Building was completed in March in 2003, which is the institute for research and education composed of the building for the advanced engineering course and the joint laboratories for the Regional Collaboration Center. The 1st floor has an exhibition hall, a Regional Collaboration Center office and a joint laboratory which has capacity of large machines. The 2nd floor has a joint laboratory and lecture rooms for advanced engineering course students. The 3rd and 4th floors have laboratories exclusively for each major and study rooms for the students.

There are lounges at the connections with the Electronics and Information Engineering Faculty Building. The lounge, a common facility provided with a mini-kitchen, offers a space for the students to relax at recess. The frames are equipped with the low-yield-point hysteretic steel dampers for seismic response control and the 3rd and 4th floors have suspension structure. Moreover, the utilization of the cold heat storage in underground and photovoltaic power generation system installed on the building serve as supplementary energy for room air conditioners.



▲リフレッシュコーナー  
Lounges



▲総合研究棟（左）と電子情報工学科棟  
General Research Building(left),  
Electronics and Information Engineering Faculty Building





## 学寮

## Dormitory

緑深い台地の校舎地区から坂を下ると、国指定文化財で6世紀の装飾古墳の一つである萩ノ尾古墳を経て、県境を隔てて、隣接する形で関川のほとりに「岱明寮」があります。

“若者”の健全な成長を象徴して「若葉」「青葉」「紅葉」「銀杏」「桜」と名付けられた5つの寮舎に近県からの学生272名が起居をともにし、教員指導のもとに規律正しい集団生活の中でマナーと連帯感を身につけながら、豊かな人間性を養う教育の場として、寮生活を送っています。

また、寮生が自主的に決めた日課の中にあるおいと変化のある多彩な年中行事を織り込み、生活の楽しさのなかに信頼と協調の精神を学びとっています。

Past the national cultural asset Hagi-no-o Old Tomb, one of the ornamental old tombs in the 6th century, which lies far down the slope in front of the college on the green height, there stand the “Taimei” Dormitories located just across the prefectural border along the Seki River.

In the five living houses named “wakaba (young leaves)”, “aoba (green leaves)”, “momiji (maple leaves)”, “ginnan (gingko)” and “sakura (cherry)”, which are symbolic of the healthy growth of young boys and girls. 272 students from Fukuoka and nearby prefectures live together, and lead their dormitory lives training themselves to acquire manners and sense of solidarity in an orderly group life for the purpose of fostering generous human nature under the leadership of the teachers.

The students also cultivate their spirit of trust and cooperation while enjoying their everyday lives and taking various annual events into their voluntary routines.



▲桜棟（女子寮）

Sakura Dorm. (for the female student)

### 岱明寮入寮定員・現員 Admission Capacity, Present Number

棟名 Name of Dorm.	区分 Classification	入寮学生 Borders	室数 Number of Rooms	定員 Admission Capacity		現員 Present Number
				一室当り Per Room	合計 Total	
若葉棟 Wakaba Dorm.		1～3 学年 1st, 2nd	28	2 / 3	2 / 81	79
青葉棟 Aoba Dorm.		1・2 学年 2nd	22	1 / 2 / 3	3 / 32 / 9	44
紅葉棟 Momiji Dorm.		2・3 学年 3rd	22	1 / 2 / 3	3 / 32 / 9	44
銀杏棟 Ginnan Dorm.		2～5 学年, 男子留学生 4th, 5th	75	1 / 2	72 / 6	71
桜棟 Sakura Dorm. (for the female student)		1～5 学年, 女子留学生 1st – 5th	42	1 / 2 / 3	35 / 12 / 3	49
5 棟合計 Total					299	287

※平成 24 年 4 月 6 日現在 As of April 6, 2012

## 有友情報室

## You-You Information Office

有友情報室は、従来の同窓会組織とは別に、学校と卒業生とが相互に情報交換を図る目的から、平成 18 年度に開設されました。有友情報室の具体的な活動としては、例えば、卒業生の Uターン情報などを含む転職・求人情報提供などを行います。逆に、卒業生からは、学校教育への有用な情報提供・人的支援などを頂くものです。同じく平成 18 年度に開設されました進路支援室とも連携しながら、学生のためのキャリア教育を含む進路支援への有効な情報提供も図っていきます。

You-You Information Office (YYIO) was established in 2006, separately from the alumni association, in order to promote mutual information exchange between ANCT and the graduates. As its specific activities, the office offers employment information to the graduates who plan to change jobs, or to return from the city to home to work. In return, we can get their useful information or human support for the college education. In collaboration with Career Support Office (CSO) also founded in the same year, this office also aims to offer students useful information on their future course including career education.



## 年間行事

## College Calendar

4月	始業式 <a href="#">Opening Ceremony</a> 入学式 <a href="#">Entrance Ceremony</a> 定期健康診断 <a href="#">Periodical Physical Checkup</a> 新入生歓迎行事 <a href="#">Event to Welcome New Students</a> 開校記念日（20日） <a href="#">College Foundation Day</a>
5月	新入生オリエンテーション <a href="#">Orientation for Freshmen</a> 授業参観 <a href="#">An Open Classroom</a> 研修旅行（4年生） <a href="#">Visit to Factories for Study</a> 春季球技大会 <a href="#">Inter-Class Tournament</a>
6月	前期中間試験 <a href="#">Mid-Term Examination of 1st Semester</a> 専攻科入学試験（推薦） <a href="#">Entrance Examination for Advanced Engineering Course</a> 工業高校系編入学試験（推薦） <a href="#">Entrance Examination into 4th Grade for Technical High School Students</a>
7月	専攻科入学試験（学力前期） <a href="#">Entrance Examination for Advanced Engineering Course</a> 九州沖縄地区高専体育大会 <a href="#">Inter-Collegiate Athletic Meet in the Kyushu-Okinawa Area</a> 工業高校系編入学試験（学力） <a href="#">Entrance Examination into 4th Grade for Technical High School Students</a>
8月	前期末試験 <a href="#">Term Examination of 1st Semester</a> 夏季休業（8/13～9/30） <a href="#">Summer vacation</a> 全国高専体育大会 <a href="#">All Japan Inter-Collegiate Athletic Meet</a> 九州沖縄地区英語弁論大会 <a href="#">Kyushu-Okinawa Kosen English Speech &amp; Recitation Contest</a> オープンカレッジ <a href="#">Open Campus</a> ロボットJリーグ <a href="#">Robot J League</a>
9月	保護者懇談会 <a href="#">Parent-Teacher Meeting</a> 入試説明会・校内見学会 <a href="#">Explanatory Meeting on Entrance Examination</a>
10月	全国高専プログラミングコンテスト <a href="#">All Japan Programming Contest</a> ロボットコンテスト九州沖縄地区大会 <a href="#">Robot Contest in the Kyushu-Okinawa Area</a> キャンパスクリーン作業 <a href="#">Clean Campus Day</a> 入学説明懇談会 <a href="#">College Visit by Junior High School Students</a>
11月	高専祭 <a href="#">College Cultural Festival</a> 専攻科入学試験（学力後期） <a href="#">Entrance Examination for Advanced Engineering Course</a> 九州沖縄地区高専ラグビー大会 <a href="#">Inter-College Rugby Football Meet in Kyusyu-Okinawa Area</a> ロボットコンテスト全国大会 <a href="#">All Japan Robot Contest</a> 後期中間試験 <a href="#">Mid-Term Examination of 2nd Semester</a>
12月	普通高校系編入学試験（学力） <a href="#">Entrance Examination into 4th Grade for High School Students</a> 冬季球技大会 <a href="#">Inter-Class Tournament</a> 冬季休業（12/25～1/7） <a href="#">Winter Vacation</a>
1月	専攻科ポスターセッション <a href="#">Poster Session of Advanced Engineering Course</a> 吹奏楽部定期演奏会 <a href="#">Brass Band Concert</a> 入学者選抜試験（推薦） <a href="#">Entrance Examination</a>
2月	学年末試験 <a href="#">Final Examination</a> 入学者選抜試験（学力） <a href="#">Entrance Examination</a> 終業式 <a href="#">Closing Ceremony</a>
3月	卒業式・修了式 <a href="#">Graduation Ceremony</a> 学年末・春季休業（3/20～3/31） <a href="#">Year-End Vacation</a>



## 教員の研究活動

## Research

### 研究活動の目的 Research Goals

- 1) 高度な実践的技術者を育成するための教育活動に必要な教育水準の維持向上を図ること。
  - 2) 地域企業との共同研究を通して、地域の活性化に貢献すること。
  - 3) それぞれの専門分野へ学術的な貢献をすること。
- 1) to raise an educational level necessary to develop highly practical engineers.
  - 2) to contribute to the activation of the community through collaborative research with local businesses.
  - 3) to make an academic contribution to specific technical fields.

### 科学研究費助成事業（平成23年度） Grants-in-Aid for Scientific Research (2011)

基盤研究（B）			
食品成分機能性・安全性評価用in vivoスクリーニング法の開発 Development of In Vivo Function and Safety Screening Method for Food Ingredients	物質工学科 教授 Department of Chemical Science and Engineering Professor	9,750 千円	
沖縄の固有文化が持つ環境観と空間形成技術から見る集住環境の構成原理に関する研究 A study on the village space of Okinawa seen from the environmental idea which the peculiar culture of Okinawa has, and space formation technology	建築学科 准教授 Department of Architecture Associate Professor	3,250 千円	
基盤研究（C）			
パルスパワーの新応用技術開発 -極短高電圧パルスによる受精卵への物質導入- Development of New Application Using Pulsed Power Technology - Material Introduction into Fertilized Egg by Ultra-Short High Voltage Pulse -	電気工学科 准教授 Department of Electrical Engineering Associate Professor	780 千円	
挑戦的萌芽研究			
メダカ卵への新たな物質導入法による化学物質の発生影響評価法 Chemical Developmental Toxicity Test Using A New Material Introducing Technique for Medaka Egg	物質工学科 教授 Department of Chemical Science and Engineering Professor	2,470 千円	
若手研究（B）			
線-平行平板型電気流体ガスポンプの最適化と多段化 Optimization of Wire - Parallel Plate Type EHD Gas Pump and Study of the Multistage	機械工学科 准教授 Department of Mechanical Engineering Associate Professor	650 千円	
衝撃弾性波法による床版下の検査が可能な壁面検査ロボットの開発 Development of Testing Machine for Concrete Slab and Vertical Concrete Wall Using Impact Echo Method	機械工学科 講師 Department of Mechanical Engineering Lecturer	2,470 千円	
住宅における熱中症対策のための台所空間温熱環境の設計法 Design Method for Thermal Environment in Kitchen to avoid Heat Stroke in Residential Buildings	建築学科 助教 Department of Architecture Assistant Professor	3,380 千円	
次世代研究環境整備のための在九州戯作文献データベースの構築 Construction of the reference database of the light literature in Edo period in Kyushu for next-generation researchers	一般教育科 講師 Department of General Education Lecturer	2,080 千円	
奨励研究			
基本制御が理解できるソーラーボートをモデルとしたパワー制御実験装置の設計・試作 Improvement of Power-Control Experimental Equipment Based on a Solar Boat for the Understanding of Basic Control	教育研究技術支援センター技術専門職員 Technological Support Center for Education and Research Specialist for Technical Affairs	400 千円	

### 科学研究費助成事業 Grants-in-Aid for Scientific Research

区分 Classification	年度 Year	平成 20 年度 2008		平成 21 年度 2009		平成 22 年度 2010		平成 23 年度 2011	
		件数 Number	交付額 Funds	件数 Number	交付額 Funds	件数 Number	交付額 Funds	件数 Number	交付額 Funds
基盤研究（B） Scientific Research (B)		1	3,900					2	13,000
基盤研究（C） Scientific Research (C)		2	1,690	2	2,600	3	4,550	1	780
萌芽研究(挑戦的萌芽研究) Exploratory Research				1	2,300	1	800	1	2,470
若手研究（B） Young Scientists (B)		2	2,340	2	4,420	2	2,340	4	8,580
奨励研究 Encouragement of research						1	540	1	400
合計 Total		5	7,930	5	9,320	7	8,230	9	25,230



## 地域との交流（平成23年度）

## Regional Interchange (2011)

## 小・中学生対象講座

連携協力推進会議事業（大牟田市教育委員会）			
太宰府天満宮と菅原道真	9/15	大牟田市立上内小学校	14 名
科学と工作をペットボトルから学ぼう	9/16		21 名
液体窒素で遊んでみよう	11/5	大牟田市立笹原小学校	34 名
クリップモーターをつくり回転競争をしよう	11/22	大牟田市立玉川小学校	19 名
クリップモーターをつくり回転競争をしよう	12/19	大牟田市立平原小学校	33 名
液体窒素で遊んでみよう	1/19		38 名
液体窒素で遊んでみよう	11/10	大牟田市立大正小学校	120 名
液体窒素で遊んでみよう	1/26	大牟田市立船津中学校	31 名
犯人を捜せ！－いろいろな化学分析を体験してみよう－	1/27		31 名
連携協力推進会議事業（荒尾市教育委員会）			
見えない危険を科学しよう	12/20	荒尾市立第三中学校	35 名
理科実験	12/21		33 名
出前講座			
模擬授業、学科・学校説明	9/30	基山町立基山中学校	15 名
液体窒素で遊んでみよう	12/4	玉名市立八嘉小学校	45 名
ものづくり講座			
LEGO ロボ大作戦 2011 ～Mr.N からの挑戦状～	8/3・4・5	電気工学科主催事業	9 名
ロボット J リーグ有明ステージ 2011	8/28	オープンカレッジ実行委員会	85 名
ボンボン船を作って、エネルギーを学ぼう	12/20・21	SPP 事業(荒尾第三中学校)	35 名
ボンボン船を作って、エネルギーを学ぼう	1/26・27	SPP 事業(船津中学校)	29 名
「女子中学生のものづくりチャレンジ！ ～世界に一つだけのシルバーアクセサリ作り～」	12/10・11	SPP 事業(機械工学科主催事業)	28 名
第 6 回エレクトロニクスものづくり体験教室	12/10	電子情報工学科主催事業	7 名
その他依頼事項			
笹原小学校ロボット製作指導	9 月～11 月	大牟田市立笹原小学校	40 名
夏休み実験教室	7/30	荒尾総合文化センター	70 名
八女まつり「ロボット操縦体験」	9/25	八女まつり実行委員会	Free
エコタウンフェア 2011「ロボット実演・操縦体験・展示」	11/6	大牟田市地域活性化センター	Free
環境フェア 2011「エコランカーの展示・デモ」	11/6	大牟田市環境保全課	Free
勝立地区公民館文化祭 in 子供文化体験「ロボット操縦体験」	11/12	勝立地区公民館	Free
「おもしろ科学実験(折り紙建築)」	11/12		Free
平井フェスタ 2011	11/13	荒尾市立平井小学校	130 名
マナビランド・こどもフェスティバル「ふれあい理工学工作展」	11/13	えーるピア久留米	Free
体験コーナー大集合 「ロボット操縦と実演」	1/29	大牟田市石炭科学館	Free

## 一般市民対象講座

市民大学講座「映像で学ぶインドのお祭り」	11/4		30 名
市民大学講座「炭坑技術は地元の宝『知れば応援したくなる炭坑遺産』」	11/18	大牟田市生涯学習 まちづくり推進本部	25 名
市民大学講座「友」を詠む ～菅原道真と中国の詩人たち～	3/24		35 名

## 小中学校教員対象講座

大牟田市中学校・特別支援学校教育講座(技術)「ロボット制御」	7/25		11 名
大牟田市中学校・特別支援学校教育講座(理科)「放射線について」	7/29		20 名
大牟田市小学校・特別支援学校教育講座「電流のはたらきについて」	7/29	有明工業高等専門学校	37 名
荒尾市小・中学校教育講座「電気の利用について」	8/24		42 名
荒尾市学校保健会養護教諭研修会	11/15		14 名





## オープンカレッジ公開講座（8/21・22、有明高専校内）

機械は奇怪、なんだこりゃ！	300名
はじめての電子回路講座	100名
楽しい電子情報技術（電子ホタルをつくろう！）	300名
暑さをぶっ飛ばせ!!～すずしくなる実験～	300名
ドロドロに溶けた鉄を見てみよう	300名
楽しい折り紙建築	200名
やってみよう！楽しい理科実験	300名

これがロボットの世界だ！	80名
クリップモーターで回転競争だ！	230名
プログラミングを体験しよう！	80名
中学生必見！？ワクワク科学実験	300名
体験授業～高専生を体験してみよう～	40名
模型でつくる“憧れのマイハウス”	90名

## 女子中学生の理系進路選択事業

夏休み自由研究お助け教室	8/3	女子中高生理系進路選	30名
理系ゴコロのススメ探検隊「女性エンジニア・研究者の素敵な生き方」	12/10	応援援プロジェクト	19名



▲ロボット操縦体験



▲ロボットJリーグ



▲大牟田市教育講座

## 外部審議会等委員

- ◎大牟田市環境リサイクル産業振興協議会委員
- ◎大牟田市環境審議会委員
- ◎大牟田市公共事業評価監視委員会委員
- ◎大牟田市産業活性化推進協議会委員
- ◎大牟田市自動車関連産業振興会委員
- ◎大牟田市生涯まちづくり推進本部委員
- ◎大牟田スタートアップセンター評議委員会委員
- ◎大牟田市生活排水対策推進協議会委員
- ◎大牟田市都市計画審議会委員
- ◎大牟田市入札監視委員会委員
- ◎大牟田市保健福祉ネットワーク協議会委員
- ◎大牟田市まちづくり基金事業審査委員会委員
- ◎大牟田市産業振興ビジョン策定委員会
- ◎大牟田市下水処理場等の包括的維持管理業務委託審査委員会委員
- ◎大牟田市公共事業評価監視委員会
- ◎大牟田市旧市民会館跡地活用提案審査委員会委員
- ◎旧長崎税関三池税関支署庁舎修復委員会委員

- ◎荒尾カートピア構想推進協議会委員
- ◎荒尾市公民館運営審議会委員
- ◎荒尾市子どもの読書活動推進実行委員会委員
- ◎荒尾市都市計画審議会委員
- ◎荒尾市立図書館協議会委員
- ◎荒尾市環境審議会委員
- ◎財団法人荒尾産炭地域振興センター助成事業審査会審査員
- ◎財団法人荒尾産炭地域振興センター評議員
- ◎財団法人大牟田市地域活性化センター理事
- ◎柳川市総合評価技術委員会委員
- ◎飯塚市文化財保護審議会委員
- ◎久留米市伝統的町並み保存審議会委員
- ◎財団法人福岡県産炭地域振興センター評議員



## 学生会

## Student Council

## 学生会組織 Chart of Student Council





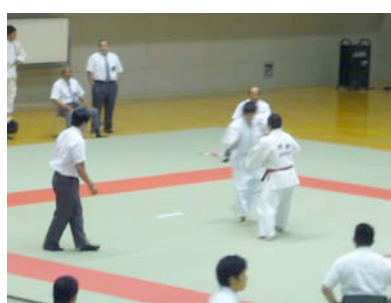
## 高専体育大会成績（主なもの） The Principal Records of Athletic Meets in Colleges of Technology

### 地区大会（団体の部） Kyushu Athletic Meets

大会名 The Number of Athletic Meets	開催年 Year	種目 Event	成績 Record
第42回九州沖縄地区高専体育大会 The 42st Meet	平成17年 2005	バスケットボール(女子) Basketball(female),	優勝 The 1st Prize
第43回九州沖縄地区高専体育大会 The 43rd Meet	平成18年 2006	卓球(男子) Table Tennis(male)	優勝 The 1st Prize
第44回九州沖縄地区高専体育大会 The 44th Meet	平成19年 2007	卓球(男子) Table Tennis(male)	優勝 The 1st Prize
第45回九州沖縄地区高専体育大会 The 45th Meet	平成20年 2008	卓球(男子)・水泳 Table Tennis(male), Swimming	優勝 The 1st Prize
第46回九州沖縄地区高専体育大会 The 46th Meet	平成21年 2009	バドミントン(男子)・卓球(男子) ・バスケットボール(女子)・テニス(女子) Badminton(male), Table Tennis(male), Basketball(female), Tennis(female)	優勝 The 1st Prize
第47回九州沖縄地区高専体育大会 The 47th Meet	平成22年 2010	硬式野球・バスケットボール(女子) 卓球(男子)・バドミントン(男女) Baseball, Basketball(female), Table Tennis(male) Badminton(male,female)	優勝 The 1st Prize
第48回九州沖縄地区高専体育大会 The 48th Meet	平成23年 2011	ソフトテニス・卓球(男女)・バドミントン(女子) Soft Tennis, Table Tennis(male,female), Badminton(female)	優勝 The 1st Prize

### 全国大会（団体の部） All Japan Athletic Meets

大会名 The Number of Athletic Meets	開催年 Year	開催地 Place	種目 Event	成績 Record
第40回全国高専体育大会 The 40th Meet	平成17年 2005	甲信越 Koshinetsu	バドミントン(男子) Badminton(male)	3位 The 3rd Prize
第41回全国高専体育大会 The 41st Meet	平成18年 2006	近畿 Kinki	バドミントン(男子) Badminton(male)	3位 The 3rd Prize
第42回全国高専体育大会 The 42nd Meet	平成19年 2007	四国 Shikoku	バドミントン(男子)・卓球(男子) Badminton(male), Table Tennis(male)	3位 The 3rd Prize
第43回全国高専体育大会 The 43rd Meet	平成20年 2008	北海道 Hokkaido	バドミントン(男子)・卓球(男子) Badminton(male), Table Tennis(male)	3位 The 3rd Prize
第44回全国高専体育大会 The 44th Meet	平成21年 2009	九州・沖縄 Kyushu, Okinawa	バドミントン(男子)・バスケットボール(女子) Badminton(male), Basketball(female)	優勝・3位 The 1st, 3rd Prize
第45回全国高専体育大会 The 45th Meet	平成22年 2010	東海・北陸 Toukai, Hokuriku	バドミントン(男子)・バスケットボール(女子) Badminton(male), Basketball(female)	優勝・3位 The 1st, 3rd Prize
第46回全国高専体育大会 The 46th Meet	平成23年 2011	関東信越 kantoushinetsu	ソフトテニス・バドミントン(男子) Soft Tennis, Badminton(male)	準優勝 The 2nd Prize







## コンテスト等成績（主なもの） The Principal Records of Contests in Colleges of Technology

### ロボットコンテスト全国大会 Robot Contest

(開催年)大会名 (Year)The Name of Event	ロボット名 Robot Name	成績 Record
第 11 回大会(1998)「生命上陸」 Life Landing	スーカーパートウンダ	ベスト 8
第 16 回大会(2003)「鼎」 KANAE	まちっと遠くまで	1 回戦敗退
第 18 回大会(2005)「大運動会」 DAI-UNDOUKAI	Heavy 級	2 回戦敗退
第 19 回大会(2006)「ふるさと自慢特急便」 FURUSATO-JIMAN Express	Centi-Pede	ベスト 8
第 24 回大会(2011)・「ロボ・ボウル」 ROBO・BALL	おおむたん	安川電機賞

### プログラミングコンテスト Programming Contest

開催年 場所 Year place	部門 Category	成績 Record
第 16 回大会(2005) 米子 The 16th Meet Yonago	自由 Free	敢闘賞
第 17 回大会(2006) 茨城 The 17th Meet Ibaraki	自由 Free	審査委員特別賞
第 20 回大会(2009) 木更津 The 20th Meet Kisaradu	自由 Free	敢闘賞
第 21 回大会(2010) 高知 The 21th Meet Kouchi	競技 Competition	敢闘賞
第 22 回大会(2011) 舞鶴 The 22th Meet Miduru	競技 Competition	第 3 位

### デザインコンペティション Design Competition

開催年 場所 Year place	参加コンペティション Competition	成績 Record
平成 18 年度(2006) 都城 Miyakonojo	プロポーザル	会場審査賞
平成 20 年度(2008) 高松 Takamatsu	構造デザイン	4 位
平成 21 年度(2009) 豊田 Takamatsu	空間デザイン・構造デザイン	審査員特別賞・4 位
平成 22 年度(2010) 八戸 Hachinohe	構造デザイン	本戦出場
平成 23 年度(2011) 釧路 Kushiro	構造デザイン	本戦出場

### 英語プレゼンテーションコンテスト English Presentation Contest

開催 Year	部門 Category	成績 Record
第 1 回大会(2007) The 1st Meet	スピーチの部 Speech	優勝



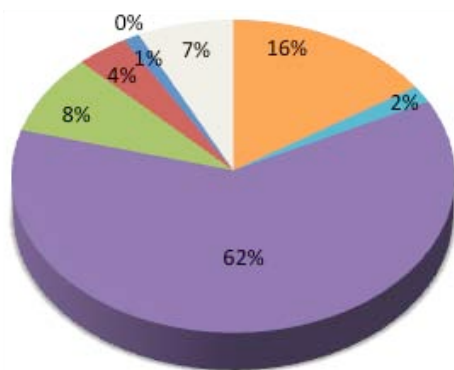




## 収入・支出決算額(平成23年度)

## Situation of Finance (2011)

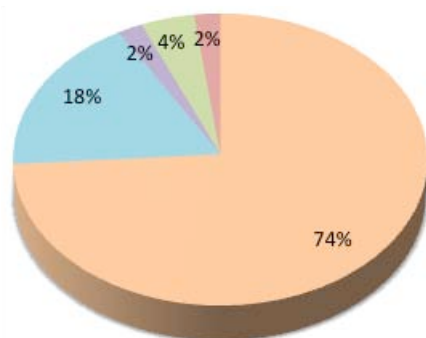
## 収入 Revenue



収入 Revenue	金額(単位:千円) Amount in Thousands Yen
運営費交付金 Grants-in-aid for Operational Expenditure	65,911
設備整備費補助金 Facilities Improvement Expenditure	7,528
授業料収入 Tuition Fees	256,628
入学科、検定料、雑収入 Entrance Fees, Exam Fees, Miscellaneous	34,979
産学連携等研究収入 Industry-Academia Collaborative Research Expenses	16,254
科研費間接経費 Grants-in-Aid for Scientific Research	5,112
施設費交付事業費 Facility Expense Subsidy	0
寄附金収入 Endowments	30,302
計 Total	416,717

※ 産学連携等研究収入及び寄附金収入については前年度からの繰越額を含む

## 支出 Expenditures



支出 Expenditures	金額(単位:千円) Amount in Thousands Yen
教育研究費 Education and Research Expenses	276,700
一般管理費 General Management Expenditure	66,085
設備整備費補助金 Facilities Improvement Expenditure	7,528
産学連携等研究経費 Industry-Academia Collaborative Research Expenses	16,200
寄附金事業費 Endowments	7,900
計 Total	374,415

## 外部資金

## External Fund

区分 Classification	年度 Year	平成 20 年度 2008		平成 21 年度 2009		平成 22 年度 2010		平成 23 年度 2011	
		件数 Number	交付額 Funds	件数 Number	交付額 Funds	件数 Number	交付額 Funds	件数 Number	交付額 Funds
奨学寄附金 Scholarship Endowments		22	13,265	11	8,565	14	9,378	12	7,335
共同研究 Collaborative Research		18	14,597	11	9,240	6	3,887	6	3,825
受託研究 Commission Research		5	5,426	5	8,255	4	1,850	5	3,690
受託試験 Commission Test		12	6,992	12	5,475	12	6,321	12	7,016
合計 Total		57	40,280	39	31,535	36	21,436	35	21,866

※ 交付額単位：千円 Thousands Yen



## 学生

## Students

## 学科別学生定員・現員 Admission Capacity and Present Number of Students

学科 Department	区分 Classification	学級数 Class	入学定員 Admission Capacity	総定員 Total of Capacity	在学生数 Present Number of Students					合計 Total
					1 学年 1st	2 学年 2nd	3 学年 3rd	4 学年 4th	5 学年 5th	
機械工学科 Mechanical Engineering		1	40	200	44 (3)	45 (2)	45 (1) [1]	46 (2)	33 (0)	213 (8) [1]
電気工学科 Electrical Engineering		1	40	200	40 (1)	40 (3)	48 (1)	40 (1)	44 (3)	212 (9)
電子情報工学科 Electronics and Information Engineering		1	40	200	41 (7)	43 (9)	40 (10)	34 (10)	32 (8) [1]	190 (44) [1]
物質工学科 Chemical Science and Engineering		1	40	200	44 (14)	41 (17)	42 (13) [1]	40 (19)	32 (9) [1]	199 (72) [2]
建築学科 Architecture		1	40	200	40 (14)	42 (18)	40 (14)	37 (11) [1]	43 (15)	202 (72) [1]
合計 Total		5	200	1,000	209 (39)	211 (49)	215 (39) [2]	197 (43) [1]	184 (35) [2]	1016 (205) [5]

※平成 24 年 4 月 20 日現在。( )内は女子で内数, [ ]内は留学生で内数 As of April 20, 2012 (female students), [overseas students]

## 専攻科学生定員・現員 Admission Capacity and Present Number of Students (Advanced Engineering Course)

専攻名 Course	区分 Classification	入学定員 Admission Capacity	総定員 Total of Capacity	在学生数 Present Number of Students		
				1 学年 1st	2 学年 2nd	合計 Total
生産情報システム工学専攻 Advanced Production and Information System Engineering		12	24	20 (1)	20 (0)	40 (1)
応用物質工学専攻 Advanced Chemical Science and Engineering		4	8	7 (3)	7 (2)	14 (5)
建築学専攻 Advanced Architecture		4	8	5 (1)	7 (4)	12 (5)
合計 Total		20	40	32 (5)	34 (6)	66 (11)

※平成 24 年 4 月 20 日現在。( )内は女子で内数 As of April 20, 2012 (female students)

## 入学志願者数・倍率 Number of Applicants and Competitive Ratio of Entrance Examination

平成年度 Year	機械工学科 Mechanical Engineering	電気工学科 Electrical Engineering	電子情報工学科 Electronics and Information Engineering	物質工学科 Chemical Science and Engineering	建築学科 Architecture	合計 Total
24 2012	78(2.0)	54(1.4)	90(2.3)	70(1.8)	66 (1.7)	358 (1.8)
23 2011	65(1.6)	68(1.7)	91(2.3)	96(2.4)	63 (1.6)	383 (1.9)

志願者数（倍率） Applicant (Rate)



## 平成24年度新入生の出身地 Hometown Classification of Students (2012)

出身地 Area	人数
<b>福岡県 Fukuoka Prefecture</b>	147
福岡市 Fukuoka City	15
北九州市 Kitakyushu City	1
大牟田市 Omuta City	37
太宰府市 Dazaifu City	2
久留米市 Kurume City	11
嘉麻市 Kama City	1
古賀市 Koga City	2
柳川市 Yanagawa City	8
八女市 Yame City	5
筑後市 Chikugo City	2
大川市 Okawa City	9
小郡市 Ogori City	7
筑紫野市 Chikushino City	4
春日市 Kasuga City	4
大野城市 Onojo City	1
直方市 Noogata City	1
みやま市 Miyama City	14
糸島市 Itoshima City	1
三井郡 Mitsui District	2
三潞郡 Mizuma District	4

出身地 Area	人数
八女郡 Yame District	1
糟屋郡 Kasuya District	13
朝倉郡 Asakura District	2
<b>熊本県 Kumamoto Prefecture</b>	43
熊本市 Kumamoto City	3
荒尾市 Arao City	10
玉名市 Tamana City	15
山鹿市 Yamaga City	8
菊池市 Kikuchi City	2
阿蘇市 Aso City	1
玉名郡 Tamana District	4
<b>佐賀県 Saga Prefecture</b>	13
佐賀市 Saga City	9
鳥栖市 Tosu City	1
多久市 Taku City	1
唐津市 Miyaki District	2
<b>長崎県 Nagasaki Prefecture</b>	1
島原市 Simabara City	1
<b>宮崎県 Miyazaki Prefecture</b>	1
延岡市 Nobeoka City	1
<b>合計 Total</b>	205

## 学生通学状況 Students' Residence

学年 Grade	1 学年 1st	2 学年 2nd	3 学年 3rd	4 学年 4th	5 学年 5th	合計 Total
<b>区分 Classification</b>						
寄宿舎 Dormitory	83 (14)	69 (14)	50 (5)	46 (10)	37 (5)	285 (48)
下宿 Lodging	0 (0)	2 (0)	3 (0)	10 (2)	9 (4)	24 (6)
自宅通学 Home	126 (25)	140 (35)	162 (34)	141 (31)	138 (26)	707 (151)
<b>合計 Total</b>	209 (39)	211 (49)	215 (39)	197 (43)	184 (35)	1,016 (205)

※平成 24 年 4 月 20 日現在, ( )内は女子で内数 As of April 20, 2012, (female students)

## 徴収費用一覧 List of Collection Expenses

項 目	金 額	備 考
入学料	84,600 円	
授業料	半期分 117,300 円	(年額 234,600 円)
教科書等購入費	約 80,000 円	(教材等を含む)
学生会入会金・会費	6,000 円	(入会金 2,000 円, 会費年額 4,000 円)
学生傷害保険掛金	10,000 円	(5 年間一括納入)
その他の経費	約 53,000 円	
日本スポーツ振興センター保護者負担金	半期分 1,520 円	
寮生のみ	寄宿料 (一人部屋)	半期分 4,800 円 (年額 9,600 円)
	寄宿料 (複数人部屋)	半期分 4,200 円 (年額 8,400 円)
	寮費	月額 約 34,000 円 (食費を含む)



## 卒業生

## Graduates

## 卒業生数 Number of Graduates

機械工学科 Mechanical Engineering	電気工学科 Electrical Engineering	電子情報工学科 Electronics and Information Engineering	物質工学科 Chemical Science and Engineering 工業化学科 Industrial Chemistry	建築学科 Architecture	計 Total
1,599	1,565	691	493 1,017	1,432	6,797

## 平成23年度卒業生の進路状況 Employment or Academic Position of Graduates(2011)

学科 Department 区分 Classification		機械工学科 Mechanical Engineering	電気工学科 Electrical Engineering	電子情報工学科 Electronics and Information Engineering	物質工学科 Chemical Science and Engineering	建築学科 Architecture	計 Total
卒業生数 Number of Graduates		44	35	39	44	31	193
就職希望者数 Number of Applicants for Employment		32	23	24	29	19	127
就職者数 Number of Employed		32	22	24	29	19	126
進学者数 Number of Admissions into Universities		12	12	15	15	11	65
その他（含む自営業） Others(including independent enterprises)		0	1	0	0	1	2
地域 Regions	県外 Other Prefectures	22	17	12	19	10	80
	県内 Fukuoka Prefecture	10	5	12	10	9	46
求人会社数 Number of Companies Concerned		464	485	422	242	268	1,881
求人倍率 Rate of Posts Offered		14.5	22.0	17.5	8.3	14.1	14.8

## 平成24年度大学編入学・高専専攻科進学状況 Entrance into Universities (2012)

大学等名 Names	人数 Entrances	大学等名 Names	人数 Entrances
有明高専専攻科 Ariake National College of Technology Advanced Course	32	宮崎大学 Miyazaki Univ.	1
広島商船高専専攻科 Hiroshima National College of Maritime Technology	1	琉球大学 Ryukyu Univ.	1
豊橋技術科学大学 Toyohashi Univ. of Technology	8	久留米工業大学 Kurume Institute of Technology	1
九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	5	島根大学 Shimane Univ.	1
九州大学 Kyushu Univ.	4	千葉大学 Chiba Univ.	1
鹿児島大学 Kagoshima Univ.	3	秋田大学 Akita Univ.	1
熊本大学 Kumamoto Univ.	2	大谷大学 Otani Univ.	1
長岡技術科学大学 Nagaoka Univ. of Technology	1	武蔵野美術大学 Musashino Art Univ.	1
大分大学 Oita Univ.	1	計 Total	65

## 平成24年度大学大学院進学状況 Entrance into Graduate Schools (2012)

大学等名 Names	人数 Entrances	大学等名 Names	人数 Entrances
九州大学大学院 Kyushu Univ.	3	奈良先端科学技術大学院大学 Nara Institute of Science and Technology	1
豊橋技術科学大学大学院 Toyohashi Univ. of Technology	1	佐賀大学大学院 Saga Univ.	1
		計 Total	6





## 就職状況一覧表 List of Employment (2011)

学科名 会社名	機械工学科	電気工学科	電子情報工学科	物質工学科	建築学科	専攻科	合計
(株)RKK コンピューターサービス						1	1
アイシン精機(株)		1					1
旭化成(株)	1			1		1	3
旭化成ケミカルズ(株)			1				1
(株)アドバンテスト						1	1
アドバンテック(株)			1				1
アライドテレシス(株)		1					1
有明ビジネス・サポート(株)			1				1
(株)飯田設計	1						1
出光興産(株)				1			1
(株)上野製作所		1					1
(株)衛星都市計画					1		1
(株)栄電舎			1				1
(株)縁				1			1
NEC フィールディング(株)			1				1
NHK			1				1
(株)NTT データ		1					1
(株)NTT ネオメイト			2				2
大阪ガス(株)		1		1	1		3
(株)大林組					1		1
(株)オーレック						1	1
オムロンフィールドエンジニアリング九州(株)			1				1
オムロンリレーアンドデバイス(株)	1						1
花王(株)	1						1
関西電力(株)	1	1	1		1		4
キャノン(株)	1						1
九州電力(株)	1	1	1				3
(株)キューハウ				1			1
京セラ(株)			1				1
キリンビール(株)	1						1
(株)KDDI テクニカルエンジニアリングサービス		1					1
(株)鴻池組					1		1
国立印刷局	1						1
五洋建設(株)				1			1
(株)コンピュータ利用技術研究所			1				1
(株)再春館製薬所				1			1
佐藤工業(株)					1		1
三興グループ			1				1
(株)サン電工社		1					1
(株)三松	1						1
JFE スチール(株)	1					1	2
(株)シマノ	1						1
清水建設(株)					1		1
シャープ(株)						1	1
シャープビジネスコンピュータソフトウェア(株)			1				1
昭和電工(株)				1			1
信号電材(株)			1				1
新日鐵化学(株)					1		1
セイコーエプソン(株)	1						1
ソニーセミコンダクタ九州(株)						2	2
(株)ソフトサービス			1				1
(株)第一コンピュータリソース			1				1
ダイキン工業(株)				1			1
(株)大設計					1		1
ダイダン(株)					1		1
大日精化工業(株)				1			1
大和製罐(株)			1				1
大和ハウス工業(株)						1	1
学科名 会社名	機械工学科	電気工学科	電子情報工学科	物質工学科	建築学科	専攻科	合計
(株)高巢設計事務所						1	1
タキロンポリマー(株)					1		1
竹田設計工業(株)	1						1
武田薬品工業(株)	1						1
立山化成(株)					1		1
田中貴金属工業(株)					1		1
(株)中央エンジニアリング	1					1	2
中外製薬工業(株)		1					1
中部電力(株)		1					1
TDC ソフトウェアエンジニアリング(株)			1				1
電気化学工業(株)		2		5			7
東海旅客鉄道(株)	1		1				2
(株)東芝		1					1
東燃化学(株)				1			1
東燃ゼネラル石油(株)		1		1			2
(株)東洋新薬	1	1		1			3
東レ(株)			1				1
TOTO(株)	1						1
ドコモエンジニアリング九州(株)						1	1
鳥栖キューピー(株)		1					1
(株)トヨタ・プロダクション・エンジニアリング	1					1	2
(株)ニコン		1				1	2
西松建設(株)					1		1
日東電工(株)	1						1
日本オーチス・エレベータ(株)					1		1
(株)日本触媒				1			1
日本たばこ産業(株)	1						1
原田木材(株)					1		1
パンパシフィック・カップー(株)				1			1
日立化成工業(株)						1	1
福岡市役所					1		1
(株)福岡多田精機						1	1
福岡日信電子(株)			1				1
富士重工業(株)	1						1
富士精工(株)	1						1
不二製油(株)	1						1
(株)富士通九州システムズ			1				1
富士通ファシリティーズ(株)	1						1
不二ライトメタル(株)						1	1
本田技研工業(株)	1						1
マツダ(株)			1	1			2
三池通信(株)				1			1
三井化学(株)				1			1
(株)三井三池製作所	1						1
三菱ガス化学(株)				1			1
三菱電機(株)		2					2
(株)室町ケミカル	1						1
(株)ヤクルト本社		1		1			2
安川コントロール(株)				1			1
(株)山武		1					1
ヤンマー建機(株)	1						1
雪印メグミルク(株)	1						1
ユニチカ(株)				1			1
(株)ユニバーサル造船	1					1	2
夢和詩生伝統建築研究所					1		1
(株)リコー			1				1
リコーテクノシステムズ(株)						1	1
合計	32	22	24	29	19	19	145



## 施設

## Facilities

区分		所在地	福岡県大牟田市	熊本県荒尾市	合計
土地 (m <sup>2</sup> )	校舎地区		83,125		83,125
	寄宿舎地区			23,339	23,339
	職員宿舎敷地		8,353	5,228	13,581
	合計		91,478	28,567	120,045
建物 (延面積) (m <sup>2</sup> )	校舎等		25,508		25,508
	寄宿舎等			5,611	5,611
	職員宿舎	戸数(戸)	16	16	32
		面積	929	1,016	1,945
	合計		26,437	6,627	33,064

## 校舎等建物明細 Details of College Buildings

棟別	構造※1	延面積(m <sup>2</sup> )
校舎地区 College Area		
管理棟 Administration Office Building	RC2	832
学生課棟 Administration Office Building	RC1	140
図書館 Library	RC3	1,572
情報処理センター Information Processing Center	RC3	406
一般教育北棟 North Building for General Education	RC3	2,506
一般教育南棟 South Building for General Education	RC3	1,305
共通専門棟 Building for Common Technical Course Education	RC3	319
物質工学科棟 Department of Chemical Science and Engineering	RC3	1,625
物質工学科生物棟 Building for Biological Engineering	S2	547
電気工学科棟 Department of Electrical Engineering	RC3	1,484
機械工学科棟 Department of Mechanical Engineering	RC2	869
建築学科棟 Department of Architecture	RC3	1,484
電子情報工学科棟 Department of Electronics and Information Engineering	RC5	2,224
総合研究棟 General Research Building	S4	1,602
合同教育北棟 North Multipurpose Building for Education	RC3	513
合同教育南棟 South Multipurpose Building for Education	RC3	602
実習工場棟 Workshop	RC1・S1	1,770※2
共同研究棟 General Research Building	S1	350
福祉施設棟 Students' Hall (Shuko-Kan)	RC2	888
第1体育館 1st Gymnasium	S1	1,075
第2体育館 2nd Gymnasium	S1	908
武道場 Kendo and Judo Hall	S1	324
環境開発棟	RC2	263
サークル室	RC1	168
その他	RC1・S	1,732
小計 Subtotal		25,508
寄宿舎地区 Dormitory Area		
若葉棟 Wakaba(Living House)	RC3	1,358
青葉棟 Aoba(Living House)	RC3	648
紅葉棟 Momiji(Living House)	RC3	648
銀杏棟 Ginnan(Living House)	RC3	1,258
桜棟 Sakura(Living House)	RC4	953
食堂等その他(浴室) Dining Room (Bathroom)	RC1・B1	746
小計 Subtotal		5,611
合計 Total		31,119
野外体育施設(校舎地区)		
陸上競技場 Play Ground	400mトラックコース	
野球場 Baseball Field	1面(7,441 m <sup>2</sup> )	
プール Swimming Pool	25m(7コース)	
弓道場 Kyudo Field	3人立	
ハンドボールコート Handball Court	2面(3,156 m <sup>2</sup> )	
テニスコート Tennis Court	5面(3,790 m <sup>2</sup> )	

※1 RC:鉄筋コンクリート, S:鉄骨, B:ブロック, 数字は階数

※2 機械工学科実験室 808 m<sup>2</sup>を含む







## アクセスマップ

## Location

## 有明工業高等専門学校 アクセス MAP

交通機関

大牟田駅から西鉄バス15番 有明高専行

所要時間 約20分・約5Km



## 連絡先

## Contact Us

独立行政法人国立高等専門学校機構  
Institute of National Colleges of Technology

有明工業高等専門学校

Ariake National College of Technology

所在地	校舎地区	〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町 150
Address	(College)	150 Higashihagio-Machi, Omuta Fukuoka, Japan 836-8585
	寄宿舎地区	〒864-0011 熊本県荒尾市下井手 2
	(Dormitory)	2 Shimoide, Arao, Kumamoto, Japan 864-0011
e-mail	www-admin@ariake-nct.ac.jp	
URL	http://www.ariake-nct.ac.jp/	

総務課	TEL 0944-53-8611
General Affairs Division	(FAX 0944-53-1361)
学生課	TEL 0944-53-8622
Student Affairs Division	(FAX 0944-53-8862)
機械工学科	TEL 0944-53-8865 (FAX 兼用)
Department of Mechanical Engineering	
電気工学科	TEL 0944-53-8867 (FAX 兼用)
Department of Electrical Engineering	
電子情報工学科	TEL 0944-53-8873 (FAX 兼用)
Department of Electronics and Information Engineering	
物質工学科	TEL 0944-53-8869 (FAX 兼用)
Department of Chemical Science and Engineering	

建築学科	TEL 0944-53-8871 (FAX 兼用)
Department of Architecture	
一般教育科	TEL 0944-53-8876 (FAX 兼用)
Department of General Education	
図書館	TEL 0944-53-8613 (FAX 兼用)
Library	
学生相談室	TEL 0944-53-8657 (FAX 兼用)
Student Counseling Room	
寄宿舎	TEL 0944-53-8630 (FAX 兼用)
Dormitory	



## 校章の由来

## Origin of College Emblem



「有明海」の古来神秘の火と呼ばれる不知火（しらぬひ）は、旧暦大晦日の夜、当地の四山（よつやま）の丘から望むことができます。校章は、この燃える不知火の炎で「有明」の文字をデザインして、「高専」の文字の両側に配し、師弟の燃える情熱と学校的发展を表わしたものです。

The college name is crowned with Ariake in the Ariake Sea. The college emblem derives its origin from Shiranui in the Ariake Sea, mysterious sea fire, seen from the top of the mountain of Yotsuyama on the evening of the lunar New Year's Eve. The letters of 有明 (Ariake) are designed to signify the fire of Shiranui and arranged separately on both sides of the letters of 高専 (Kosen). It symbolizes both a passionate fire for truth and the future development of the college.

## ロゴマーク

## Logo Mark



Ariake National College of Technology の頭文字 ANCT を図案化したもので、NCT の色は独立行政法人国立高等専門学校機構のシンボルカラーです。

A の横線は、入学者が本校で学び、スパイラルアップして実力を身につけ、社会に出ていくことを、本校のスクールカラーの枠線で、3 次元的に表しています。

This mark is the design for the initials of Ariake National College of Technology, with the blue symbol color of Institute of National Colleges of Technology, Japan.

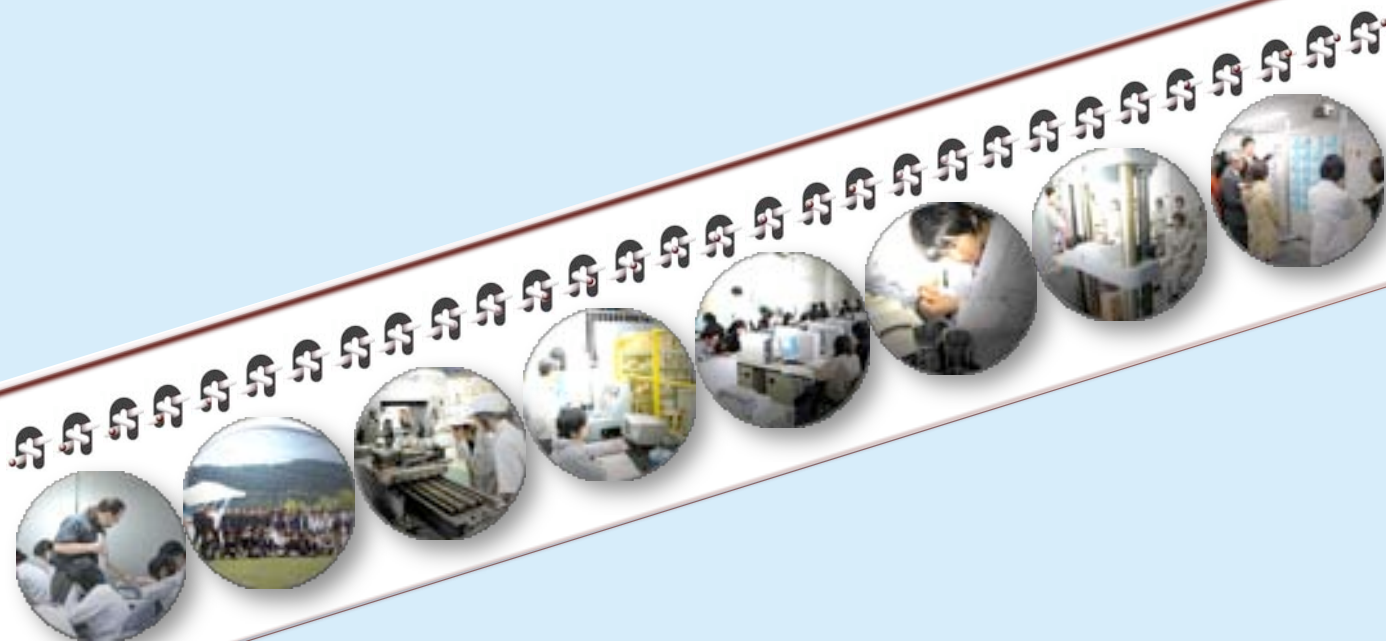
The white line with dark red, our school color, in frame tied to the letter A illustrates a three-dimensional image the way students enter ANCT, and start out as engineers spiraling up their ability.

## 校歌

## College Song

竜 英二 作詞／下川 博省 作曲

- |   |   |  |
|---|---|--|
| 1. 見はるかす 山脈晴れて<br>いのち澄む 丘のさみどり<br>みよここに建学の 理想も高く<br>聳えたつ われらが母校<br>若き眉 真理めざして<br>誇りあり われら有明高専 | 2. 流れ寄る 諏訪川清く<br>たゆみなき 琢磨ささやく<br>ああここに工業の 技術磨きて<br>炬と燃ゆる 進取の気魄<br>若き胸 友愛あつく<br>抱負あり われら有明高専 | 3. 不知火の 海はかがやき<br>雲仙に あがる青雲<br>いざここに大いなる 明日を夢みて<br>鍛えなん 雄飛の力<br>若き腕 世紀にかざし<br>栄えあり われら有明高専 |
|---|---|--|



有明工業高等専門学校  
Ariake National College of Technology

〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町150 総務課総務係  
General Affairs Division, 150 Higashihagio-Machi, Omuta Fukuoka, Japan 836-8585  
TEL 0944-53-8611, FAX 0944-53-1361, MAIL www-admin@ariake-nct.ac.jp, HP <http://www.ariake-nct.ac.jp/>



花咲く技術を  
Here are Lights



**有明工業高等専門学校**

Ariake National College of Technology

〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町150

<http://www.ariake-nct.ac.jp/>